



HP Officejet 6200 series all-in-one

ユーザガイド



HP Officejet 6200 series all-in-one



ユーザー ガイド



出版番号：Q5800-90154

Second edition

注意

HP 製品およびサービスに適用される保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明記されています。本書の記載事項を追加保証として解釈してはなりません。HP は本書の内容に関する技術上または編集上の誤記または脱落について責任を負わないものとします。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

「**ご注意**」規制情報は本ガイドの「技術情報」という章に記載されています。



多くの地域において、次のもののコピーを作成することは法律で禁じられています。疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書：
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙：

  郵便切手

  食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- 紙幣、トラベラーズ チェック、郵便為替'
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

安全に関する情報



警告　発火や感電を防止するために、本製品を雨やその他の水分にさらさないよう注意してください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。



警告　感電の危険性があります

1 セットアップ ポスターに記述されている指示すべてをお読みの上、内容を理解するようにしてください。
2 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。
6 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。
7 電源コードを踏みつけたりつまずいたりすることのない、また電源コードが損傷することのない、安全な場所に本製品を設置してください。
8 本製品が正常に動作しない場合については、オンライン ヘルプのトラブルシューティングの項を参照してください。
9 お客様ご自身で分解修理しないでください。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
10 風通しのよいところでご使用ください。

目次

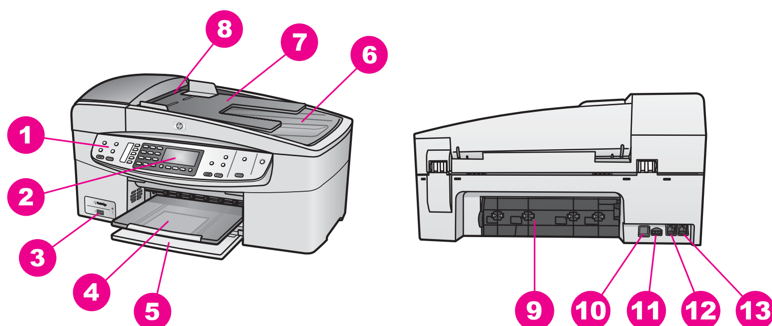
1 HP all-in-one の概要

ほとんどの HP all-in-one の機能は、コンピュータに接続しなくても使用できます。コピー、ファクスの送信などのタスクは、HP all-in-one 上で簡単かつすぐに実行できます。

ここでは、HP all-in-one のハードウェアの機能、コントロール パネルの機能、および 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの利用方法について説明します。本書に記載されている機能の一部は、HP all-in-one に搭載されていないことがあります。

ヒント 最初のセットアップでインストールするソフトウェア 「**HP Image Zone**」 を利用すると、HP all-in-one をさらに活用することができます。このソフトウェアでは、トラブルシューティングのヒント、製品ごとのヘルプ、高画質コピー、スキャン機能などを利用できます。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 および HP Image Zone による HP all-in-one のフル活用 を参照してください。

HP all-in-one の概要



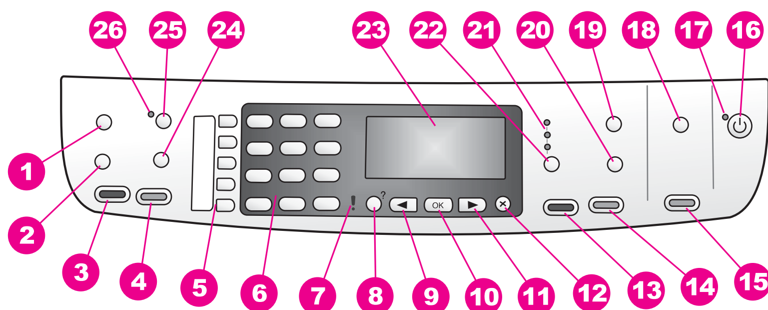
番号	説明
「1」	コントロール パネル
「2」	コントロール パネル ディスプレイ
「3」	カメラ ポート
「4」	排紙トレイ
「5」	給紙トレイ
「6」	カバー

(続き)

番号	説明
「7」	ドキュメント フィーダ トレイ
「8」	自動ドキュメント フィーダ
「9」	後部アクセスドア
「10」	後部 USB ポート
「11」	電源コネクタ
「12」	ファクス ポート (1-LINE)
「13」	電話ポート (2-EXT)

コントロール パネルの機能

次の図および関連の表で、HP all-in-one のコントロール パネルの機能について説明します。



「番号」	「名前と説明」
「1」	**「メニュー」**：[ファクス] で **「メニュー」** ボタンを押して、**「解像度」** および **「薄く/濃く」** などのファクス オプションを選択します。
「2」	**「短縮ダイヤル」**：短縮ダイヤルを選択します。
「3」	**「ファクス スタート - モノクロ」**：モノクロ ファクスの送信を開始します。
「4」	**「ファクス スタート - カラー」**：カラー ファクスの送信を開始します。
「5」	**「ワンタッチ短縮ダイヤル ボタン」**：最初の 5 つの短縮ダイヤル番号にアクセスします。
「6」	**「キーパッド」**：ファクス番号や値、文字を入力します。

「7」	**「警告ランプ」**：警告ランプが点滅している場合は、注意が必要なエラーが発生していることを示します。
「8」	**「セットアップ」**：レポートの印刷やファクス設定、メンテナンスを行うためのメニュー システムを呼び出します。また、製品のヘルプにアクセスします。
「9」	**「左向き矢印」**：コントロール パネル ディスプレイ上の値を小さくします。
「10」	**「OK」**：メニューを選択するか、またはコントロール パネル ディスプレイの設定を選択します。
「11」	**「右向き矢印」**：コントロール パネル ディスプレイ上の値を大きくします。
「12」	**「キャンセル」**：ジョブの停止、メニューの終了、設定の終了を行います。
「13」	**「コピー スタート - モノクロ」**：モノクロ コピーを開始します。
「14」	**「コピー スタート - カラー」**：カラー コピーを開始します。
「15」	**「スキャン スタート」**：スキャン ジョブを開始し、**「スキャン to」** ボタンで選択したスキャン先に画像を送信します。
「16」	**「On」**：HP all-in-one の電源をオン/オフにします。HP all-in-one の電源をオフにしていても、本体には必要最小限の電力が供給されています。HP all-in-one の電源との接続を完全に切断するには、プリンタをオフにし、電源コードを抜きます。
「17」	**「On ランプ」**：On ランプが点灯している場合は、HP all-in-one が稼働していることを示します。ジョブの実行中は、このランプが点滅します。
「18」	**「スキャン to」**：スキャンの送信先を選択します。
「19」	**「メニュー」**：[コピー] の **「メニュー」** ボタンを押して、**「トレイ選択」**、**「用紙の種類」**、**「用紙サイズ」** などのコピー オプションを選択します。
「20」	**「縮小/拡大」**：印刷する写真またはコピーのサイズを変更します。
「21」	**「コピー品質ランプ」**：選択したコピー品質を示します。
「22」	**「品質」**：コピーの速度と品質を調整します。
「23」	**「コントロール パネル ディスプレイ」**：メニューおよびメッセージを表示します。

「24」	「**リダイヤル/ポーズ**」：最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。または、ファクス番号に 3 秒間のポーズを挿入します。
「25」	「**自動応答**」：ファクスが機器に送信されたときに自動的に応答するようにファクス機能を設定します。
「26」	「**自動応答ランプ**」：点灯している場合は、自動的にファクスを受信するように HP all-in-one が設定されています。

メニューの概要

次の図は、HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイに表示されるメニューの一覧です。

コピー メニュー

コピー メニュー
1. コピー枚数
2. コピー用紙サイズ
3. 用紙の種類
4. 薄く/濃く
5. 強調
6. 色の濃さ
7. 新しいデフォルトの設定

スキャン to メニュー

「**スキャン to**」 メニューには、スキャン画像の送信先 (コンピュータにインストールされているアプリケーション名を含む) リストが表示されます。

注記　コンピュータにインストールされているアプリケーションによって、実際の 「**スキャン to**」 メニューはここに示されている一覧と異なる場合があります。

スキャン to (USB - Windows)
1. HP Image Zone
2. Microsoft PowerPoint
3. Adobe Photoshop
4. HP Instant Share

スキャン to (USB - Macintosh)
1. JPEG を HP ギャラリへ
2. Microsoft Word
3. Microsoft PowerPoint
4. HP Instant Share

ファクス メニュー

ファクス メニュー
1. ファクス番号
2. 解像度
3. 薄く/濃く
4. ファクス方法
5. 新しいデフォルトの設定

セットアップ メニュー

「セットアップ メニュー」 から 「ヘルプ メニュー」 を選択すると、重要なヘルプ トピックをすばやく見つけることができます。ほとんどの情報は、接続されている Windows コンピュータまたは Macintosh コンピュータの画面に表示されます。

セットアップ メニュー
1. ヘルプ メニュー
2. レポートの印刷
3. 短縮ダイヤルの設定
4. ファクスの基本設定
5. ファクスの詳細設定
6. ツール
7. プリファレンス

「HP Image Zone」 による HP all-in-one のフル活用

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアは、HP all-in-one をセットアップするときにコンピュータにインストールされます。詳細については、本体に付属の『ソフトウェア ガイド』 を参照してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの利用方法は、オペレーティング システム (OS) によって異なります。たとえば、Windows を搭載した PC をご使用の場合、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのエントリ ポイントは 「**HP ディレクタ**」 です。OS X V10.1.5 以降を搭載した Macintosh をご使用の場合、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのエントリ ポイントは 「**HP Image Zone**」 画面です。どちらの場合も、エントリ ポイントが 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアおよびサービスのランチャーの役割を果たします。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、HP all-in-one の機能の拡張をすばやく簡単に行うことができます。本書全体を通して、このボックスからは、トピック別のヒントやプロジェクトに役立つ情報が得られます。

「HP Image Zone」 ソフトウェアへのアクセス (Windows)

デスクトップ アイコン、システム トレイ アイコン、または 「**スタート**」 メニューから 「**HP ディレクタ**」 を開きます。「**HP ディレクタ**」 に 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの機能が表示されます。

注記 HP JetDirect 175x を使用している場合は、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの機能を使用できません。詳細については、接続情報 を参照してください。

「HP ディレクタ」 を開くには

1 以下のいずれかを実行してください。
   – Windows のデスクトップで、「**HP ディレクタ**」 アイコンをダブルクリックします。
   – Windows タスクバーの右端のシステム トレイにある 「**Hewlett-Packard Digital Imaging Monitor**」 アイコンをダブルクリックします。
   – タスクバーで、「**スタート**」 をクリックした後、「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」 をポイントし、次に、「**HP**」 を選択して、「**HP ディレクタ**」 をクリックします。
2 「**デバイス選択**」 ボックスで、インストールされているデバイスの一覧を、クリックして表示します。
3 HP all-in-one を選択します。

注記 下記の 「**HP ディレクタ**」 のグラフィックに表示されるアイコンは、コンピュータによって異なります。「**HP ディレクタ**」 は、選択したプリンタに関連付けられているアイコンを表示するようにカスタマイズされています。選択したプリンタに特定の機能が搭載されていない場合は、その機能のアイコンが 「**HP ディレクタ**」 に表示されないこともあります。

ヒント コンピュータ上の 「**HP ディレクタ**」 にアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。そのような状況を修正するには、Windows のコントロール パネルを使用して、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを

完全にアンインストールしてから、ソフトウェアを再インストールします。詳細は、HP all-in-one に付属の「セットアップ ガイド」を参照してください。

ボタン	名前と用途
	「**画像のスキャン**」：写真、図、絵をスキャンして、「**HP Image Zone**」 に表示します。
	「**ドキュメント スキャン**」：テキストまたはテキストとグラフィックスの両方が含まれている文書をスキャンし、選択したプログラムに表示します。
	「**コピーの作成**」：[コピー] ダイアログ ボックスを表示して、画像または文書のハード コピーを作成します。コピー品質、コピー枚数、カラー、サイズを選択できます。
	「**HP Image Zone**」：「**HP Image Zone**」 を表示し、次の操作を可能にします。 ● 画像の表示と編集 ● 複数のサイズでの写真の印刷 ● フォト アルバム、ポストカード、広告の作成と印刷 ● 電子メールまたは Web サイトでの画像の共有

注記　ソフトウェアの更新、クリエイティブ アイデア、および HP Shopping など、その他の機能の詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

メニュー項目やリスト項目を選択することで、使用するプリンタの選択、プリンタの状態の確認、ソフトウェア設定の調整、オンスクリーン ヘルプの利用などが可能です。次の表で、これらの項目を説明します。

機能	用途
ヘルプ	「**HP Image Zone ヘルプ**」 を利用して、HP all-in-one のソフトウェア ヘルプやトラブルシューティングを入手することができます。
デバイス選択	インストールされているプリンタの一覧から、使用するプリンタを選択することができます。
設定	印刷、スキャン、コピーなど、HP all-in-one の各種設定の表示および変更ができます。
状態	HP all-in-one の現在の状態が表示されます。

「HP Image Zone」 ソフトウェアの起動 (Macintosh OS X v10.1.5 以降)

注記 Macintosh OS X v10.2.0、v10.2.1 および v10.2.2 ではサポートされていません。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアをインストールすると、「**HP Image Zone**」 のアイコンがドックに表示されます。

注記 種類の異なる HP all-in-one を 2 台以上設置すると、ドックにはプリンタごとに 「**HP Image Zone**」 のアイコンが表示されます。たとえば、HP スキャナと HP all-in-one を 1 台ずつ設置している場合、「**HP Image Zone**」 のアイコンが 2 つ (デバイスごとに 1 つずつ) ドックに表示されます。ただし、同じ種類のプリンタを 2 台設置した場合 (HP all-in-one を 2 台設置した場合など)、「**HP Image Zone**」 のアイコンはドックに 1 つしか表示されず、同じ種類のプリンタはすべてそのアイコンで表現されます。

次のいずれかの方法で、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアにアクセスできます。

- 「**HP Image Zone**」 画面から
- 「**HP Image Zone**」 ドック メニューから

「HP Image Zone」 画面を開く

「**HP Image Zone**」 アイコンを選択して、「**HP Image Zone**」 画面を開きます。「**HP Image Zone**」 画面は、主に次の 2 つの領域で構成されています。

- 「**製品/サービス**」 タブの表示領域
  - 「**製品**」 タブを使用すると、インストールされている製品のポップアップ メニューや、現在の製品で利用可能なタスクの一覧など、HP イメージング製品の多くの機能にアクセスすることができます。この一覧には、コピー、スキャン、またはファクスなどのタスクが含まれることがあります。タスクをクリックすると、そのタスクに関連付けられているアプリケーションが開きます。
  - 「**サービス**」 タブを使用すると、画像の表示、編集、管理および共有に利用可能なデジタル イメージング アプリケーションにアクセスすることができます。
- 「**HP Image Zone ヘルプの検索**」 テキスト エントリ フィールド
  「**HP Image Zone ヘルプの検索**」 テキスト エントリ フィールドを使用すると、「**HP Image Zone ヘルプ**」 からキーワードまたはフレーズを探すことができます。

「HP Image Zone」 画面を開くには

➔ ドックの 「**HP Image Zone**」 アイコンをクリックします。
「**HP Image Zone**」 画面が表示されます。

「**HP Image Zone**」 画面には、選択したデバイスに適した 「**HP Image Zone**」 の機能だけが表示されます。

注記　下の表に示されているアイコンは、コンピュータによって異なります。「**HP Image Zone**」 画面は、選択したデバイスに関連付けられている機能のアイコンを表示するようにカスタマイズされています。選択したデバイスに特定の機能が搭載されていない場合、その機能は 「**HP Image Zone**」 画面に表示されません。

製品	
アイコン	**機能と用途**
	「**画像のスキャン**」 : 画像をスキャンして、「**HP ギャラリ**」 に表示することができます。
	「**スキャン to OCR**」 : テキストをスキャンし、選択したテキスト編集ソフトウェア プログラムで表示することができます。 注記　日本語版ではこの機能は搭載されておりません。
	「**コピーの作成**」 : モノクロまたはカラーでコピーを作成できます。

サービス	
アイコン	**機能と用途**
	「**HP ギャラリ**」 : 「**HP ギャラリ**」 を表示すると、画像の表示および編集を行うことができます。
	「**HP Image Print**」 : 利用可能なテンプレートを使用してアルバムから画像を印刷することができます。
	「**HP Instant Share**」 : 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアを開くことができます。クライアント アプリケーション ソフトウェアの場合、「**HP Instant Share E-mail**」 を使用して家族や知人と写真を共有したり、オンライン フォト アルバムやオンライン写真仕上げサービスに写真をアップロードしたりすることが可能です。

機能アイコンの他に、メニュー項目やリスト項目を選択することで、使用するプリンタの選択、ソフトウェア設定の調整、オンスクリーン ヘルプの利用などが可能です。次の表で、これらの項目を説明します。

機能	用途
デバイス選択	インストールされているデバイスから使用するデバイスを選択できます。
設定	印刷、スキャン、コピーなど、HP all-in-one の各種設定の表示および変更ができます。
「HP Image Zone ヘルプ」 の検索	**「HP Image Zone ヘルプ」** を検索して、HP all-in-one のソフトウェア ヘルプやトラブルシューティング情報を入手することができます。

「HP Image Zone」 ドック メニューの表示

「HP Image Zone」 ドック メニューは、**「HP Image Zone」** サービスへのショートカットとして使用されます。ドック メニューには、**「HP Image Zone」** 画面の **「サービス」** タブの一覧で利用可能なアプリケーションがすべて自動的に含まれます。**「HP Image Zone」** プリファレンスを設定すると、**「製品」** タブの一覧または **「HP Image Zone ヘルプ」** のタスクなど、その他の項目をメニューに追加することもできます。

「HP Image Zone」 ドック メニューを表示するには

➔ 以下のいずれかを実行してください。
  – **「HP ギャラリ」** または **「iPhoto」** をフォト マネージャとして設定します。
  – フォト マネージャに関連付ける追加オプションを設定します。
  – **「HP Image Zone」** ドック メニューに表示される項目の一覧をカスタマイズします。

「HP Image Zone」 ソフトウェアへのアクセス (X v10.1.5 以前の Macintosh OS)

注記　Macintosh OS X v10.0 および v10.0.4 はサポートされていません。

「HP ディレクタ」 が **「HP Image Zone」** ソフトウェアのエントリ ポイントです。ご使用の HP all-in-one に搭載されている機能に応じて、**「HP ディレクタ」** では、スキャン、コピー、ファクスなどのデバイス機能を開始できます。**「HP ディレクタ」** を使用すると、**「HP ギャラリ」** を開いて、コンピュータ上で画像を表示、変更、および管理することもできます。

「HP ディレクタ」 は、以下のいずれかの方法で開きます。この方法は Macintosh OS 専用です。

● Macintosh OS X：**「HP ディレクタ」** は、**「HP Image Zone」** ソフトウェアのインストール時に自動的に起動し、デバイスに対応した **「HP デ**

ィレクタ」 のアイコンがドックに作成されます。「**HP ディレクタ**」 メニューを表示するには

ドックで、デバイスに対応した 「**HP ディレクタ**」 アイコンをクリックします。

「**HP ディレクタ**」 メニューが表示されます。

注記　種類の異なる HP デバイスを複数接続している場合 (たとえば、HP all-in-one、カメラ、および HP スキャナ)、ドックには、それぞれのデバイスに対応した 「**HP ディレクタ**」 アイコンが表示されます。しかし、同じ種類のデバイス 2 台に接続する場合 (たとえば、1 台のラップトップ コンピュータを職場と自宅でそれぞれの HP all-in-one デバイスに接続する場合など)、ドックには 「**HP ディレクタ**」 アイコンが 1 つだけ表示されます。

- Macintosh OS 9 : 「**HP ディレクタ**」 はスタンドアロン アプリケーションであるため、その機能を利用するには、起動する必要があります。「**HP ディレクタ**」 は、以下のいずれかの方法で起動します。
  - デスクトップの 「**HP ディレクタ**」 エイリアスをダブルクリックします。
  - 「**Applications:Hewlett-Packard:HP Photo and Imaging Software**」 フォルダの 「**HP ディレクタ**」 エイリアスをダブルクリックします。
    「**HP ディレクタ**」 には、選択したデバイスに関連するタスク ボタンのみが表示されます。

注記　下の表に示されているアイコンは、コンピュータによって異なります。「**HP ディレクタ**」 メニューは、選択したデバイスに関連付けられている機能のアイコンを表示するようにカスタマイズされています。選択したデバイスに特定の機能が搭載されていない場合、その機能のアイコンは表示されません。

デバイスのタスク

アイコン	用途
	「**画像のスキャン**」 : 画像をスキャンして、「**HP ギャラリ**」 に表示することができます。
	「**ドキュメント スキャン**」 : テキストをスキャンし、選択したテキスト編集ソフトウェア プログラムで表示することができます。 注記　日本語版ではこの機能は搭載されておりません。

デバイスのタスク	
アイコン	用途
	「コピーの作成」：モノクロまたはカラーでコピーを作成できます。

ソフト	
アイコン	用途
	「HP ギャラリ」：**「HP ギャラリ」**を表示すると、画像の表示および編集を行うことができます。

「HP ギャラリ」機能の他に、アイコンのないメニュー項目を使用することで、コンピュータ上の他のアプリケーションの選択、HP all-in-one の機能設定の変更、オンスクリーン ヘルプの利用などが可能です。次の表で、これらの項目を説明します。

ソフト	
機能	用途
その他のソフト	コンピュータ上で他のアプリケーションを選択することができます。
HP サイト	HP の Web サイトを選択できます。
HP ヘルプ	HP all-in-one に関するヘルプを選択することができます。
設定	印刷、スキャン、コピーなど、HP all-in-one の各種設定の表示および変更ができます。

2 情報の参照先

HP all-in-one のセットアップ方法および使用方法については、豊富なリソースが印刷物とオンスクリーンで提供されています。

	「セットアップ ガイド」 『セットアップ ガイド』 には、HP all-in-one のセットアップとソフトウェアのインストールに関する指示が記載されています。必ず記載されている手順に従ってください。 セットアップの際に問題が生じた場合は、『セットアップ ガイド』 の最終章「トラブルシューティング」、または本書の「トラブルシューティング」に関する章を参照してください。
	「ユーザー ガイド」 『ユーザー ガイド』には、トラブルシューティングのヒントやステップごとの手順など、HP all-in-one の使用方法に関する情報が記載されています。
	「HP Image Zone ツアー」 HP Image Zone ツアーは、HP all-in-one に付属のソフトウェアの概要をインタラクティブな形で楽しく紹介します。「**HP Image Zone**」 を利用して、写真を編集、整理、および印刷する方法を学ぶことができます。
	「HP ディレクタ」 HP ディレクタを使用すると、ご使用の HP デバイスに対応する、ソフトウェア アプリケーション、デフォルト設定、状態、オンスクリーン ヘルプに簡単にアクセスすることができます。「**HP ディレクタ**」 を起動するには、デスクトップの 「**HP ディレクタ**」 アイコンをダブルクリックします。
	「HP Image Zone ヘルプ」

	HP Image Zone ヘルプでは、HP all-in-one 用ソフトウェアの使用方法が詳しく説明されています。 ● **「手順を 1 ステップずつ」** トピックでは、HP デバイスに関連する **「HP Image Zone」** ソフトウェアの使用方法が説明されています。 ● **「何ができるかな」** トピックでは、**「HP Image Zone」** ソフトウェアと HP デバイスで可能な実用的かつ創造的なことについて説明します。 ● もっと詳しく知る必要がある場合または HP ソフトウェアの更新について調べる場合、**「トラブルシューティングとサポート」** トピックを参照してください。
	「本体のオンスクリーン ヘルプ」 本体にはオンスクリーン ヘルプが表示され、選択したトピックに関する追加情報が表示されます。オンスクリーン ヘルプはコントロール パネルから利用できます。 コントロール パネルで、**「?」** の横にある **「セットアップ」** ボタンを押し、**「1」** を押します。▶ を押して、アクセス可能なトピックの一覧をスクロールします。対応するトピックを選択し、**「OK」** を押します。
	「Readme」 Readme ファイルには、その他の印刷物に記載されていない最新情報が収録されています。 CD 上の Readme ファイルをお読みください。
www.hp.com/jp/hho	インターネットにアクセス可能な場合は、HP Web サイトからヘルプとサポートを入手することができます。この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。

3 接続情報

HP all-in-one には USB ポートが装備されているため、USB ケーブルを使用して、コンピュータに直接接続することができます。外部プリント サーバ (HP JetDirect 175x) を使用してアクセスすることも可能です。HP JetDirect は HP all-in-one のアクセサリとして購入することができます。既存の Ethernet ネットワークを利用すると、本体を簡単に共有することができます。

サポートされる接続の種類

説明	接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)	サポートされるソフトウェア機能	セットアップ方法
USB 接続	USB ケーブルでコンピュータ 1 台を本体に接続します。 USB ポートは、HP all-in-one の後部に付いています。	すべての機能がコンピュータからサポートされます。	詳しい手順については、『セットアップ ガイド』に従ってください。
プリンタ共有 (Windows)	最大 5 つ。 ホスト コンピュータがオンでなければ、ホスト以外のコンピュータから印刷を実行することはできません。	ホスト コンピュータでは、すべての機能がサポートされます。ホスト以外のコンピュータからは印刷のみがサポートされます。	下記の「Windows のプリンタ共有」のセットアップ手順を参照してください。
プリンタ共有 (Macintosh)	最大 5 つ。 ホスト コンピュータがオンでなければ、ホスト以外のコンピュータから印刷を実行することはできません。	ホスト コンピュータでは、すべての機能がサポートされます。ホスト以外のコンピュータからは印刷のみがサポートされます。	下記の「プリンタ共有」のセットアップ手順を参照してください。

説明	接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)	サポートされるソフトウェア機能	セットアップ方法
HP JetDirect 175x (J6035C) を使用したネットワーク経由 HP JetDirect 製品の入手の可否は、国/地域に応じて異なります。	最大でネットワーク接続コンピュータ 5 台。	コンピュータからは、印刷と Web スキャンのみがサポートされます (詳細については、Web スキャンの使用 を参照)。 HP all-in-one のコントロール パネルからは、コピー、ファクス、印刷がサポートされます。	セットアップ手順については、HP JetDirect 175x のセットアップ を参照してください。

USB ケーブルによる接続

USB ケーブルでコンピュータを HP all-in-one に接続する手順は、本体に付属の 『セットアップ ガイド』 に記載されています。

Windows のプリンタ共有の使用

ご使用のコンピュータがネットワークに接続されており、ネットワーク上の別のコンピュータが USB ケーブルで HP all-in-one に接続されている場合、Windows のプリンタ共有を使用して、そのプリンタをご自分のプリンタとして使用することができます。この場合、HP all-in-one に直接接続されているコンピュータがプリンタのホストの役割を果たし、すべての機能を使用することができます。ご自分のコンピュータは、クライアントと呼ばれ、プリンタ機能のみを利用することができます。その他の機能はすべてホスト コンピュータから実行する必要があります。

Windows のプリンタ共有を有効にするには

→ ご使用のコンピュータに付属の『ユーザー ガイド』または Windows オンスクリーン ヘルプを参照してください。

プリンタ共有の使用 (Macintosh OS X)

ご使用のコンピュータがネットワークに接続されており、ネットワーク上の別のコンピュータが USB ケーブルで HP all-in-one に接続されている場合、プリンタ共有を使用して、そのプリンタをご自分のプリンタとして使用することができます。この場合、HP all-in-one に直接接続されているコンピュー

接続情報

タがプリンタのホストの役割を果たし、すべての機能を使用することができます。ご自分のコンピュータは、クライアントと呼ばれ、プリンタ機能のみを利用することができます。その他の機能はすべてホスト コンピュータから実行する必要があります。

プリンタ共有を有効にするには

1 ホスト コンピュータでドックから 「**システム環境設定**」 を選択します。
「**システム環境設定**」 画面が表示されます。
2 「**共有**」 を選択します。
3 「**サービス**」 タブから 「**プリンタ共有**」 をクリックします。

HP JetDirect 175x のセットアップ

HP all-in-one では、JetDirect 175x をネットワーク上のすべてのコンピュータのプリント サーバとして使用する場合、ローカル エリア ネットワーク (LAN) 上で最大 5 台のコンピュータによる共有が可能です。HP JetDirect をご使用の HP all-in-one およびルータまたはハブに接続し、HP JetDirect インストール CD を実行してください。必要なプリンタ ドライバ (INF ファイル) は HP all-in-one のインストール CD にあります。

注記 HP JetDirect 175x では、Web スキャンを使用してクライアントのコンピュータからスキャンを印刷および送信できます。HP all-in-one のコントロール パネルからコピーの作成、ファクスの送信、および印刷が可能です。

HP JetDirect 175x で HP all-in-one をネットワーク接続するには (Windows)

1 ネットワークに接続する前に、以下の作業を行ってください。
   – HP all-in-one が USB ケーブルでコンピュータに接続されており、HP JetDirect を使用してネットワークに接続する場合は、コンピュータから 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアをアンインストールします。詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストール を参照してください。
   – HP all-in-one をはじめてインストールする場合は、HP all-in-one の『セットアップ ガイド』 を使用して、ハードウェアのセットアップ手順に従ってください。
2 HP JetDirect 175x のセットアップ手順に従って、プリント サーバを LAN に接続します。
3 HP JetDirect を HP all-in-one の後部にある USB ポートに接続します。
4 HP JetDirect に付属するインストール CD をご使用のコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
この CD を使用して、ネットワーク上で HP JetDirect を検索します。
5 「**インストール**」 を選択して、HP JetDirect インストーラを実行します。
6 画面の指示に従って、HP all-in-one インストール CD を挿入します。

注記　HP all-in-one および HP JetDirect 175x をはじめてインストールする場合、HP all-in-one セットアップ ウィザードを実行しないでください。以下の手順に従って、ドライバのみをインストールしてください。

ネットワーク接続の設定をした後に、HP all-in-one を USB ケーブルでの接続に変更する場合、HP all-in-one インストール CD を挿入して、セットアップ ウィザードを実行してください。

7　以下のうち、ご使用のオペレーティング システムに適した手順に従ってください。

Windows XP または 2000 を使用している場合

a　CD のルート ディレクトリを参照して、ご使用の HP all-in-one に対応した driver .inf を選択します。
ルート ディレクトリにあるプリンタ ドライバ ファイルは、hpoprn08.inf です。

Windows 98 または ME を使用している場合

a　CD から [Drivers] フォルダを探して、適切な言語のサブフォルダを見つけます。
たとえば、日本語を使用するユーザーの場合、\jpn\drivers\win9x_me ディレクトリを選択します。ここでは、jpn がの日本語のディレクトリで、win9x_me が Windows ME です。プリンタ ドライバ ファイルは、hpoupdrx.inf です。

b　必要な個々のドライバについて、手順を繰り返します。

8　インストールを終了します。

注記　あとで USB ケーブルを使用して PC に接続する場合は、HP JetDirect を HP all-in-one から取り外し、コンピュータから HP プリンタ ドライバをアンインストールして、HP all-in-one に付属の『セットアップガイド』に記載されている指示に従います。

HP JetDirect 175x で HP all-in-one をネットワーク接続するには (Macintosh)

1　HP JetDirect 175x のセットアップ手順に従って、プリント サーバを LAN に接続します。
2　HP JetDirect を HP all-in-one の後部にある USB ポートに接続します。
3　以下のいずれかを実行してください。
　–　HP all-in-one をはじめてインストールする場合、HP all-in-one インストール CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入し、HP all-in-one セットアップ ウィザードを実行してください。
この時点で、ご使用のコンピュータに対応したネットワーク サポート ソフトウェアがインストールされます。

接続情報

インストールが完了したら、コンピュータに 「**HP All-in-One 設定アシスタント**」 が表示されます。

– すでにインストールしている場合は、ディスク ドライブの次の場所から 「**HP All-in-One 設定アシスタント**」 を開きます。[Applications: Hewlett-Packard:HP Photo & Imaging Software:HP AiO Software]
コンピュータに 「**HP All-in-One 設定アシスタント**」 が表示されます。

4 画面上の指示に従い、要求される情報を入力します。

注記 接続画面で 「**TCP/IP ネットワーク**」 をクリックしてください。

Web スキャンの使用

Web スキャンを使用すると、HP JetDirect 175x により Web ブラウザだけで基本的なスキャンを実行することができます。さらに、コンピュータにプリンタのソフトウェアがインストールされていなくても、HP all-in-one からスキャンを実行することができます。Web ブラウザに HP JetDirect の IP アドレスを入力し、HP JetDirect の埋め込まれた Web サーバおよび Web スキャンにアクセスします。

Web スキャンのユーザー インタフェースは、HP JetDirect 専用であり、「**HP Image Zone**」 スキャン ソフトウェアのようなスキャン送信先の機能はサポートしません。

Web スキャンを使用するには

1 HP JetDirect 175x の後部にあるテスト ボタンを押して離します。
HP all-in-one で、HP JetDirect ネットワーク構成ページが印刷されます。
2 コンピュータの Web ブラウザで、HP JetDirect の IP アドレス (ネットワーク構成ページに表示されている値) を入力します。
ブラウザのウィンドウに、HP JetDirect Web サーバーが表示されます。
3 [スキャン] を選択します。
4 画面上の指示に従って操作してください。

4 写真の活用

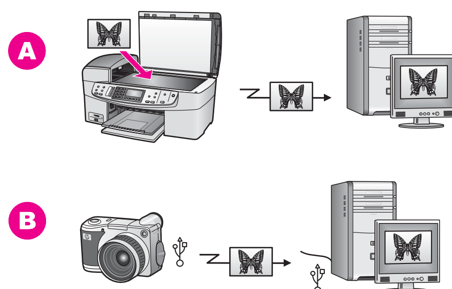
HP all-in-one では、さまざまな方法で写真を転送、編集、共有、および印刷することができます。ここでは、ユーザーの好みとコンピュータのセットアップに応じて、それぞれのタスクに用意されているオプションを簡単に説明します。それぞれのタスクの詳細については、本書の各章またはオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

写真の転送

写真の転送には、複数のオプションが用意されています。HP all-in-one またはコンピュータに写真を転送できます。詳細については、以下の説明の中から、ご使用のオペレーティング システムに該当する記述を参照してください。

Windows PC による写真の転送

以下の図は、Windows PC に写真を転送する方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。

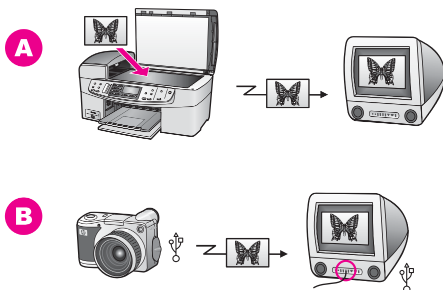


A	HP all-in-one で写真をスキャンし、HP Instant Share で直接 Windows に転送します。
B	デジタル カメラから Windows PC に写真を転送します。

注記　HP all-in-one の正面にある PictBridge カメラ ポートは、写真の印刷のみに使用します。HP all-in-one PictBridge カメラ ポートを使用して、カメラからコンピュータに写真を転送することはできません。

Macintosh による写真の転送

以下の図は、Macintosh に写真を転送する方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。



A	HP all-in-one で写真をスキャンし、HP Instant Share で直接 Macintosh に転送します。
B	デジタル カメラから Macintosh に写真を転送します。

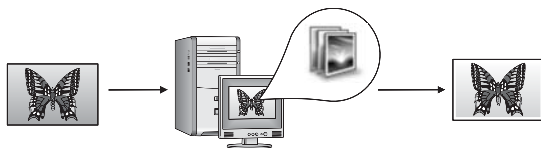
注記　HP all-in-one の正面にある PictBridge カメラ ポートは、写真の印刷のみに使用します。HP all-in-one PictBridge カメラ ポートを使用して、カメラからコンピュータに写真を転送することはできません。

写真の編集

写真の編集には、複数のオプションが用意されています。詳細については、以下の説明の中から、ご使用のオペレーティング システムに該当する記述を参照してください。

Windows PC による写真の編集

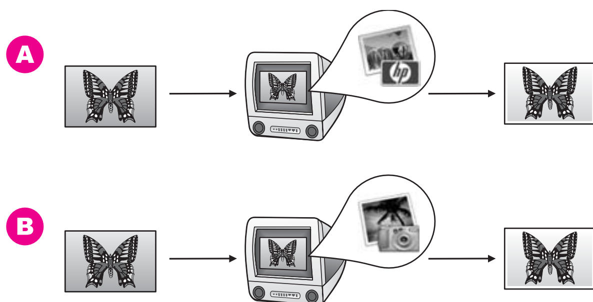
以下の図は、Windows PC で写真を編集する方法を示しています。詳細については、図の下の説明を参照してください。



Windows PC 上で 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して写真を編集します。

Macintosh による写真の編集

以下の図は、Macintosh で写真を編集する方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。



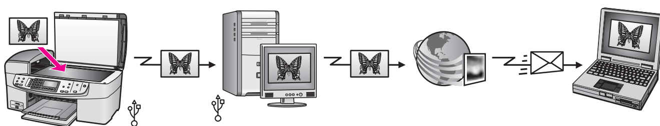
A	Macintosh で 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して写真を編集します。
B	Macintosh で iPhoto ソフトウェアを使用して写真を編集します。

写真の共有

友人や家族と写真を共有するために複数のオプションが用意されています。詳細については、以下の説明の中から、ご使用のオペレーティング システムに該当する記述を参照してください。

Windows PC による写真の共有

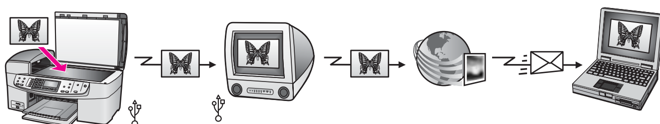
以下の図は、Windows PC で写真を共有する方法を示しています。詳細については、図の下の説明を参照してください。



HP Instant Share サービスを使用して、USB 接続されている HP all-in-one から写真を共有します。写真をスキャンし、HP Instant Share のスキャン先に送信します。スキャンされた画像は、「**HP Image Zone**」 ソフトウェア内の HP Instant Share タブに送信されます。そこから電子メールなどのサービスを選択し、HP Instant Share サービスを介して友人や家族に写真を送信できます。

Macintosh による写真の共有

以下の図は、Macintosh で写真を共有する方法を示しています。詳細については、図の下の説明を参照してください。



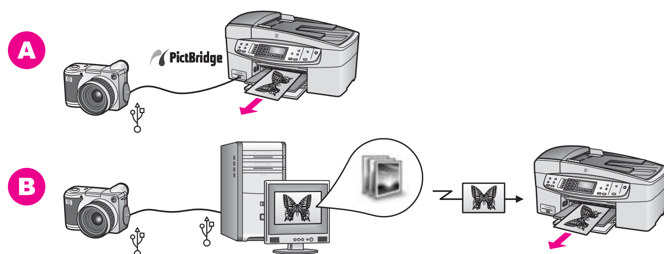
HP Instant Share サービスを使用して、USB 接続されている HP all-in-one から写真を共有します。写真をスキャンし、HP Instant Share のスキャン先に送信します。スキャンされた画像は、HP Instant Share クライアント アプリケーション ソフトウェアに送信されます。そこから電子メールなどのサービスを選択し、HP Instant Share サービスを介して友人や家族に写真を送信できます。

写真の印刷

写真の印刷には、複数のオプションが用意されています。詳細については、以下の説明の中から、ご使用のオペレーティング システムに該当する記述を参照してください。

Windows PC による写真の印刷

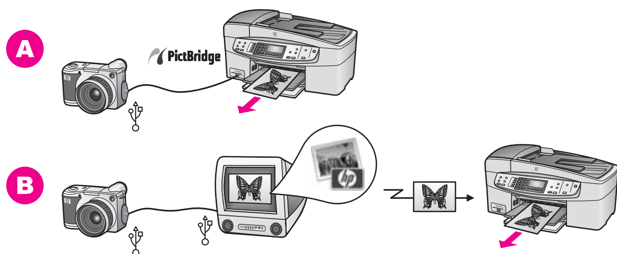
以下の図は、Windows PC で写真を印刷する方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。



A	PictBridge 対応のデジタル カメラからの写真の印刷
B	コンピュータのソフトウェア アプリケーション (「**HP Image Zone**」など) を使用して、カメラの写真を印刷します。

Macintosh による写真の印刷

以下の図は、Macintosh で写真を印刷する方法を示しています。詳細については、図の下に記載されている一覧を参照してください。



A	PictBridge 対応のデジタル カメラからの写真の印刷
B	コンピュータのソフトウェア アプリケーション (「**HP Image Zone**」など) を使用して、カメラの写真を印刷します。

写真の活用

5 原稿および用紙のセット

ここでは、コピー、スキャン、またはファクスを行う場合に自動ドキュメント フィーダまたはガラス板に原稿をセットする方法、実行するジョブに適した用紙の種類を選択する方法、給紙トレイに用紙をセットする方法、および紙詰まりを防止する方法について説明します。

原稿のセット

コピー、ファクス、またはスキャン ジョブ用に、自動ドキュメント フィーダ内またはガラス板上に原稿をセットできます。自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿は、自動的に HP all-in-one に給紙されます。

自動ドキュメント フィーダへの原稿のセット

ドキュメント フィーダ トレイでは、最大 20 ページの A4、レター、またはリーガル サイズの文書をコピー、スキャン、ファクスすることができます。

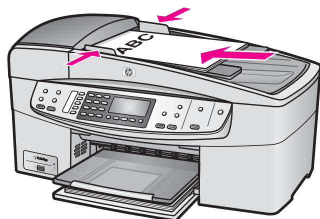
警告 自動ドキュメント フィーダに写真をセットしないでください。写真が損傷するおそれがあります。

注記 自動ドキュメント フィーダに原稿をセットした場合、「ページに合わせる」 および 「ページ全体に印刷」 などのコピー機能は機能しません。詳細については、ガラス板への原稿のセットを参照してください。

自動ドキュメント フィーダに原稿をセットするには

1 原稿の表を上にし、ページの先頭を左側にして、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。用紙を左側に寄せて自動ドキュメント フィーダ内に差し込み、ビープ音が聞こえるまで奥に挿入します。このビープ音は、セットした用紙が HP all-in-one によって検知されたことを示します。
自動ドキュメント フィーダには、最大で 20 枚の普通紙をセットできます。

ヒント 自動ドキュメント フィーダへの原稿のセット方法については、ドキュメント フィーダ トレイにある図を参照してください。



2 用紙ガイドを、用紙の左右の端に当たって止まるまでスライドさせます。

ガラス板への原稿のセット

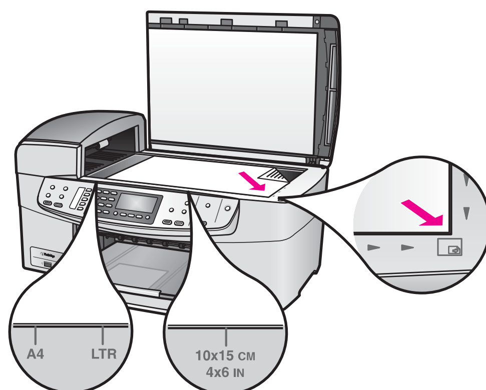
次の説明に従って、ガラス板に原稿をセットすると、最大で A4 またはレター用紙までの原稿を 1 枚ずつコピー、スキャン、ファクスすることができます。原稿が複数ページにわたる場合は、自動ドキュメント フィーダにセットします。詳細については、自動ドキュメント フィーダへの原稿のセット を参照してください。

注記 ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、ほとんどの特殊機能が正常に機能しなくなる可能性があります。詳細については、HP all-in-one のクリーニング を参照してください。

ガラス板に原稿をセットするには

1 ドキュメント フィーダからすべての原稿を取り除き、HP all-in-one のカバーを持ち上げます。
2 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

ヒント 原稿のセット方法については、 ガラス板の正面と右側に示されているガイドを参照してください。



3 カバーを閉じます。

印刷およびコピー用紙の選択

HP all-in-one ではさまざまな種類とサイズの用紙を使用することができます。印刷またはコピーを美しく仕上げるために、次の推奨事項をお読みください。用紙の種類またはサイズを変更する場合、必ず設定を変更してください。

推奨されている用紙

写真や画像の印刷をより美しく仕上げるには、印刷するプロジェクトの種類に最も適した HP 用紙を使用することをおすすめします。たとえば、写真を印刷する場合、光沢またはつや消しのフォト用紙を給紙トレイにセットしてください。カタログまたはプレゼンテーション用資料を印刷する場合、用途に応じた種類の用紙を使用してください。

HP 用紙の詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 または www.hp.com/support を参照してください。

使ってはいけない用紙

薄すぎる用紙、表面が光沢の用紙、伸縮性のある用紙などを使用すると、紙詰まりが起こりやすくなります。表面がでこぼこの用紙やインクをはじく用紙を使用すると、印刷された画像がにじんだり、かすれたりすることがあります。

次のような用紙は印刷に使用しないでください。

- 切り抜きやミシン目のある用紙 (HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されている場合を除く)。
- リネンなど、肌触りの粗い紙。均等に印刷できず、インクがにじむ恐れがあります。
- HP all-in-one で使用するように設計されていない、極端になめらかな用紙や光沢のある用紙、あるいは極端なコーティングがされている用紙。HP all-in-one に紙詰まりが起きたり、インクが定着しないことがあります。
- 複写用紙 (2 枚重ねあるいは 3 枚重ねの複写用紙など)。しわになったり詰まったりする可能性があります。また、インクもこすれやすくなります。
- 留め具付きの封筒や窓付き封筒。

次のような用紙はコピーに使用しないでください。

- 切り抜きやミシン目のある用紙 (HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されている場合を除く)。
- 封筒。
- バナー用紙。
- プレミアム OHP フィルムまたはプレミアム プラス インクジェット OHP フィルム以外の OHP フィルム。
- 複写用紙やラベル用紙。

用紙のセット

コピー、印刷、ファクスができるように、HP all-in-one にさまざまな種類およびサイズの用紙をセットする手順を説明します。

ヒント　破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないように、用紙はすべてチャック付きの袋に入れ、平らな状態で保管してください。用紙を正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙が波打ち、HP all-in-one でうまく利用できないことがあります。

フルサイズ用紙のセット

HP all-in-one の給紙トレイには、A4 サイズ、レター サイズ、リーガル サイズなど、さまざまな種類の用紙をセットできます。

フルサイズ用紙を給紙トレイにセットするには

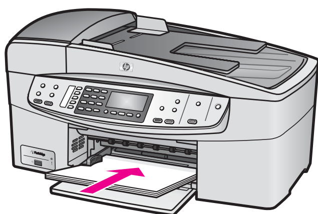
1　排紙トレイを取り外し、横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。



2　用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   – 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   – セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること

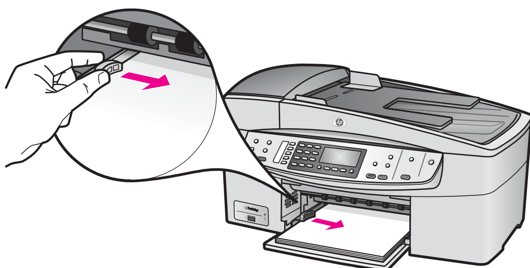
3　用紙の短辺を奥にし、印刷面を下にして給紙トレイに挿入します。用紙を奥にセットしてください。

   注記　用紙を給紙トレイにセットするときに、HP all-in-one が停止して静かになっていることを確認してください。HP all-in-one がインクカートリッジを動作させている場合、または作業を実行中の場合は、プリンタ内の用紙止めが正しい場所にないことがあります。用紙を奥に入れすぎると、何も印刷されずに排出されることがあります。

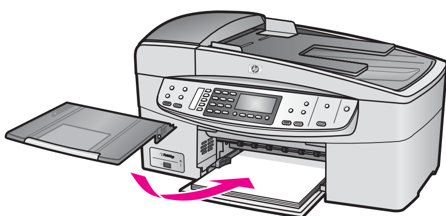


ヒント　レターヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

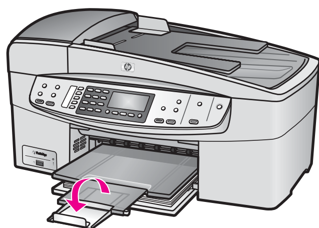
4　横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。



5　排紙トレイを元に戻します。



6　排紙補助トレイを止まるまで引き出します。排紙補助トレイの用紙止めを裏返して、補助トレイを完全に開きます。



L 判のフォト用紙のセット

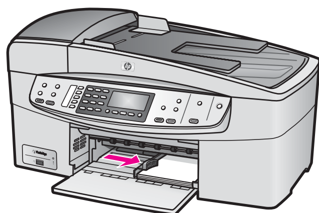
HP all-in-one の用紙トレイには L 判 のフォト用紙をセットすることができます。印刷を美しく仕上げるために、推奨タイプの L 判 フォト用紙を使用してください。詳細については、推奨されている用紙 を参照してください。

さらに、よりきれいに印刷するには、コピーまたは印刷する前に用紙の種類と用紙サイズを設定してください。用紙設定の詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

ヒント 破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないように、用紙はすべてチャック付きの袋に入れ、平らな状態で保管してください。用紙を正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙が波打ち、HP all-in-one でうまく利用できないことがあります。

L 判 のフォト用紙を給紙トレイにセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。
2. 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3. フォト用紙の短辺を奥にし、光沢面を下にして給紙トレイの右端に挿入します。フォト用紙を奥にセットしてください。
   ご使用のフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。
4. 横方向用紙ガイドを、フォト用紙に当たって止まるまでスライドさせます。
   給紙トレイにフォト用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。



5. 排紙トレイを元に戻します。

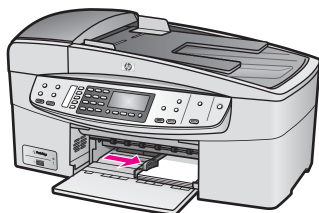
ポストカードやはがきのセット

HP all-in-one の給紙トレイには、ポストカードやはがきをセットすることができます。

より美しく仕上げるためには、印刷する前に用紙の種類と用紙サイズを設定してください。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

ポストカードまたははがきを給紙トレイにセットするには

1 排紙トレイを取り外します。
2 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3 ポストカードまたははがきの短辺を奥にし、印刷面を下にして給紙トレイの右端に挿入します。カードの束を奥にセットしてください。
4 横方向用紙ガイドを、カードに当たって止まるまでスライドさせます。
給紙トレイにカードを入れすぎないでください。 カードの束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。



5 排紙トレイを元に戻します。

封筒のセット

HP all-in-one の給紙トレイには、封筒をセットすることができます。光沢紙を使った封筒、エンボス加工された封筒、留め具付きの封筒、窓付き封筒などは使わないでください。

注記 文字を封筒に印刷するために書式設定する方法については、ご使用のワープロ ソフトのヘルプ ファイルを参照してください。印刷を美しく仕上げるために、封筒の差出人住所にはラベルの使用をおすすめします。

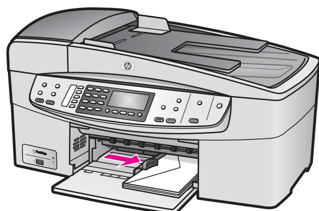
封筒をセットするには

1 排紙トレイを取り外します。
2 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3 給紙トレイの右端に封筒を入れ、封筒のふたを上に向け、ふた側を左側または奥側にしてセットします。封筒の束を奥にセットしてください。

ヒント 封筒のセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

4 横方向用紙ガイドを、封筒に当たって止まるまでスライドさせます。

給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。封筒の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。



5 排紙トレイを元に戻します。

その他の用紙のセット

特定の種類の用紙をセットするときのガイドラインを次の表に示します。美しく印刷を仕上げるために、用紙サイズまたは用紙の種類を変更するたびに用紙設定を調整してください。用紙設定の詳細については、オンスクリーン「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

注記 用紙の種類およびサイズの中には、HP all-in-one の一部の機能が対応していないものがあります。ソフトウェア アプリケーションの 「**印刷**」 ダイアログ ボックスから、印刷を実行する場合にのみ使用できる用紙の種類やサイズもあります。この設定は、コピーまたはファクスの際には使用できません。ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみに対応する用紙は、次の表に注記があります。

用紙	ヒント
HP 用紙	● プレミアム用紙 -用紙の非印刷面に表示されているグレーの矢印を見つけ、その矢印が表示されている側を上にして用紙を給紙トレイに挿入します。 ● プレミアム OHP フィルム -OHP フィルムの白い縦線 (矢印と HP のロゴが表示されている) が上になるように、縦線のあるほうから先に給紙トレイにフィルムを入れます。 注記 HP all-in-one では、自動的に OHP フィルムを検出できません。印刷を美しく仕上げるために、OHP フィルムに印刷またはコピーする前に、用紙の種類を OHP フィルムに設定してください。 ● アイロンプリント紙 -使用する前にアイロン プリント紙をきれいに伸ばしてください。 カールしたアイロン プリント紙はセットしないでください。(アイロン プリント紙がカールするのを防ぐには、使う直前までアイロン プリント紙を最初のパッケージに入れて封をしたままにしておきます。)

用紙	ヒント
	用紙の非印刷面に青い線があります。その線がある面を上にして、1 回に 1 枚ずつアイロン プリント紙を手動で給紙トレイに挿入します。
ラベル (ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみ)	A4 サイズまたはレターサイズのラベル紙で、製造日から 2 年以内のものを使用してください。古いシートの場合、排紙されるときにラベルがはがれて用紙詰まりを起こすことがあります。 1 ページどうしがくっつかないように、ラベルを広げます。 2 フルサイズの普通紙を給紙トレイにセットし、その上に印刷面を下にしたラベル シートの束をセットします。ラベルを 1 シートずつセットしないでください。

紙詰まりの防止

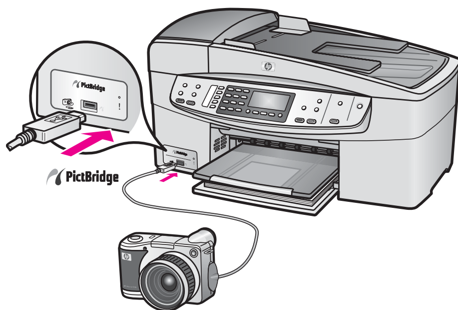
紙詰まりを防止するために、次のことに注意してください。

- 未使用の用紙はチャック付きの袋に平らに入れ、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないように保管してください。
- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- 給紙トレイには、異なる種類やサイズの用紙を一緒にセットしないでください。給紙トレイ内の用紙の束は、すべて同じサイズおよび同じ種類で統一します。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの横方向用紙ガイドを調整してください。横方向用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用の HP all-in-one で推奨している用紙の種類をお使いください。詳細については、印刷およびコピー用紙の選択 を参照してください。

紙詰まりの解消方法の詳細については、用紙のトラブルシューティング を参照してください。

6 PictBridge カメラの使用

HP all-in-one は PictBridge 規格をサポートしています。PictBridge 対応のデジタル カメラをカメラ ポートに接続すると、デジタル カメラのメモリ カードに記録されている JPEG 写真を印刷することができます。写真は、デジタル カメラから直接印刷されます。カメラからの印刷の詳細については、デジタル カメラに付属のマニュアルを参照してください。



PictBridge 対応のデジタル カメラから写真を印刷するには

1 HP all-in-one の電源がオンになっており、初期化処理が完了していることを確認します。
2 PictBridge 対応のデジタル カメラを、そのカメラに付属する USB ケーブルを使用して、HP all-in-one の正面にあるカメラ ポートに接続します。
3 カメラの電源をオンにして、PictBridge モードになっていることを確認します。

注記 カメラが正しく接続されている場合、カメラ ポートの横のステータス ランプが点滅し、カメラにアクセスしていることが示されます。カメラから印刷している間、ランプは点滅を停止し、点灯状態になります。

カメラが PictBridge 対応でないか、PictBridge モードになっていない場合、ステータス ランプがオレンジ色に点滅し、コンピュータのモニタにエラー メッセージが表示されます (HP all-in-one ソフトウェアをインストールしている場合)。カメラの接続ケーブルを外し、問題を解決した後、もう一度接続してください。PictBridge カメラ ポートのトラブルシューティングについては、「**HP Image Zone ヘルプ**」 の 「**6200 series トラブルシューティング**」 の章を参照してください。

PictBridge 対応のカメラを HP all-in-one に正しく接続すると、写真を印刷することができます。HP all-in-one にセットされている用紙のサイズが、カメラの設定と一致していることを確認します。カメラの用紙サイズ設定がデフォルトに設定されている場合、HP all-in-one では給紙トレイに現在セットさ

れている用紙が使用されます。カメラから直接印刷する方法については、カメラに付属するユーザー ガイドを参照してください。

7 コピー機能の使用

HP all-in-one を使用すると、高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、OHP フィルムを含め、さまざまな種類の用紙に作成できます。原稿のサイズを特定の用紙サイズに合わせて拡大/縮小したり、コピーの色の明るさや濃さを調整したり、特別なコピー機能を使用して写真の高品質コピーや L 判のフチ無しコピーを作成したりすることもできます。

ここでは、コピー速度およびコピー品質の変更方法、コピー枚数の設定方法、実行するジョブに適した用紙の種類およびサイズを選択するためのガイドライン、およびアイロン プリント紙への印刷方法について説明します。

ヒント　通常のコピーを美しく仕上げるには、用紙サイズを 「レター」 または 「A4」 に設定し、用紙の種類を 「普通紙」、コピー品質を 「きれい」 に設定してください。

用紙サイズの設定については、用紙サイズの設定 を参照してください。

用紙の種類の設定については、用紙の種類を設定 を参照してください。

コピー品質の設定については、コピーの高速化またはコピー品質の向上 を参照してください。

ここでは、写真のフチ無しコピーや拡大または縮小コピーを作成する方法、1 ページに写真を複数コピーする方法、色あせた写真の補正方法など、写真のコピー方法について学ぶことができます。

L 判用紙への写真のフチ無しコピー

用紙サイズに合わせた L 判写真のコピー

コピーの明るい部分の強調

用紙サイズの設定

HP all-in-one では用紙サイズを設定できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせます。コピーの場合、用紙サイズのデフォルト設定は、「自動」 です。この設定では給紙トレイの用紙サイズが、HP all-in-one によって検出されます。

用紙の種類	推奨の用紙サイズの設定
コピー用紙、多用途用紙、普通紙	「A4」 または 「レター」
インクジェット用紙	「A4」 または 「レター」

(続き)

用紙の種類	推奨の用紙サイズの設定
アイロン プリント紙	「A4」 または 「レター」
レターヘッド	「レター」、「リーガル」、または「A4」
フォト用紙	「10x15 cm」 または 「フチ無し 10x15 cm」 「A4」 または 「フチ無し A4」 「L 判」 または 「フチ無し L 判」
はがき	「はがき」 または 「フチ無しはがき」
OHP フィルム	「A4」 または 「レター」

コントロール パネルから用紙サイズを設定するには

1 [コピー] で、「用紙サイズ」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
2 目的の用紙サイズが表示されるまで、▶ を押します。
3 「**OK**」 を押して、表示されている用紙サイズを選択します。

用紙の種類を設定

HP all-in-one では用紙の種類を設定できます。コピーの場合、用紙の種類のデフォルト設定は、「自動」 です。この設定では給紙トレイ内の用紙の種類が HP all-in-one によって検出されます。

特殊な用紙にコピーする場合、または 「自動」 設定できれいに印刷できない場合は、用紙の種類を手動で設定することができます。

コントロール パネルから用紙の種類を設定するには

1 [コピー] で、「コピー用紙の種類」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
2 選択する用紙の種類が表示されるまで ▶ を押します。次に 「**OK**」 を押します。

以下の表を参照して、給紙トレイにセットされている用紙に対応する用紙の種類の設定を選択してください。

用紙の種類	コントロール パネルの設定
コピー用紙またはレターヘッド	「普通紙」
HP インクジェット用上質普通紙	「普通紙」
プレミアムプラスフォト用紙 (光沢)	「プレミアムフォト用紙」

(続き)

用紙の種類	コントロール パネルの設定
プレミアムプラスフォト用紙 (つや消し)	「プレミアムフォト用紙」
プレミアムプラス 10 x 15 cm フォト用紙	「プレミアムフォト用紙」
フォト用紙	「フォト用紙」
エヴリデイフォト用紙	「エヴリデイ フォト用紙」
エヴリデイフォト用紙 (半光沢)	「エヴリデイつや消し用紙」
その他のフォト用紙	「他のフォト用紙」
アイロン プリント紙	「アイロン プリント紙」
アイロン プリント紙	「アイロン左右反転用紙」
プレミアム用紙	「プレミアムインクジェット用紙」
その他のインクジェット用紙	「プレミアムインクジェット用紙」
ブローシャ & フライヤ用紙 (光沢)	「ブローシャ (光沢)」
ブローシャ & フライヤ用紙 (つや消し)	「ブローシャ (つや消し)」
プレミアム OHP フィルムまたはプレミアムプラスインクジェット OHP フィルム	「OHP フィルム」
その他の OHP フィルム	「OHP フィルム」
普通はがき	「普通紙」
光沢はがき	「プレミアムフォト用紙」
L 判 (日本のみ)	「プレミアムフォト用紙」

コピー機能の使用

コピーの高速化またはコピー品質の向上

HP all-in-one には、コピー速度およびコピーの品質に関する 3 つのオプションがあります。

- 「高画質」 各種用紙を美しく印刷し、塗りつぶし領域に縞模様が出ないように仕上げます。「高画質」 でコピーをすると、他の品質設定よりも印刷に時間がかかります。
- 「きれい」 印刷を高品質で仕上げます。 ほとんどのコピーに推奨される設定です。「きれい」 設定では、「高画質」 設定よりも速くコピーできます。
- 「はやい」 設定は、「きれい」 設定よりも速くコピーできます。文字の印刷品質は 「きれい」 設定と変わりませんが、グラフィックの品質は低

下します。「はやい」 設定でコピーをすると、インクの消費量が少ないので、プリント カートリッジが長持ちします。

コントロール パネルからコピー品質を変更するには

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 ガラス板の場合は、表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。ドキュメント フィーダ トレイの場合は、表を上にして原稿をセットします。
ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、ページの先頭から給紙されるように文書をセットします。
3 [コピー] で、「**品質**」 ボタンを押して品質を選択します。
4 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

デフォルトのコピー設定の変更

コントロール パネルからコピー設定を変更すると、その変更は現在のコピー ジョブにのみ適用されます。今後すべてのコピー ジョブにこのコピー設定を適用するには、その設定をデフォルト設定として保存します。

コピー設定をコントロール パネルまたは 「**HP ディレクタ**」 から変更すると、その変更は現在のコピー ジョブのみに適用されます。今後すべてのコピー ジョブにこのコピー設定を適用するには、その設定をデフォルト設定として保存します。

コントロール パネルからデフォルトのコピー設定を設定するには

1 コピー設定に、必要な変更を加えます。
2 [コピー] で、「新しいデフォルトの設定」 が表示されるまで、「メニュー」 を押します。
3 「はい」 が表示されるまで、▶ を押します。
4 「**OK**」 を押して、デフォルト設定の変更を確定します。

ここで指定した設定は、HP all-in-one にのみ保存されます。ソフトウェアの設定には適用されません。HP all-in-one に付属の HP Image Zone ソフトウェアを使用すると、頻繁に使用する設定を保存できます。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

原稿の複数コピー

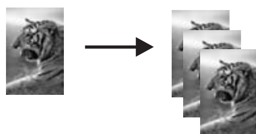
「コピー枚数」 で、印刷するコピー枚数を設定できます。

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 ガラス板の場合は、表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。ドキュメント フィーダ トレイの場合は、表を上にして原稿をセットします。
ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、ページの先頭から給紙されるように文書をセットします。

3　[コピー] で、「コピー枚数」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
4　▶ を押すか、キーパッドを使用して、コピー枚数を入力します。
(最大コピー枚数は、モデルに応じて異なります。)

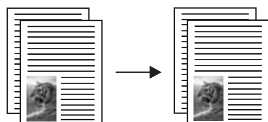
ヒント　矢印ボタンを押し続けるとコピー枚数が 5 枚ずつ増えるので、コピー枚数が多い場合に便利です。

5　「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。
下の図は、HP all-in-one で L 判 の写真を 3 枚コピーした例です。



2 ページのモノクロ文書のコピー

HP all-in-one を使用すると、カラーまたはモノクロで複数ページの文書もコピーできます。下の図は、HP all-in-one を使用して、2 ページのモノクロ原稿をコピーした例です。



コントロール パネルから 2 ページの文書をコピーするには

1　用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2　A4 サイズまたはレター サイズの原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ページの先頭から給紙されるように原稿をセットします。
3　「**コピー スタート - モノクロ**」 を押します。

L 判用紙への写真のフチ無しコピー

高画質で写真をコピーするときは、給紙トレイにフォト用紙をセットします。次に、コピー設定を適切な用紙の種類および写真の強調に変更します。また、フォト プリント カートリッジを使用すると、より美しく印刷することができます。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。詳細については、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

コントロール パネルから写真をコピーするには

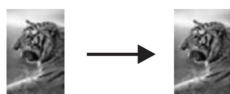
1 L 判 のフォト用紙を給紙トレイにセットします。

ヒント フチ無しコピーを実行するには、フォト用紙またはその他の特殊用紙をセットしてください。

2 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて写真原稿をセットします。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

3 「縮小/拡大」から「ページ全体に印刷」を選択して「OK」を押します。

4 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。
下図は、HP all-in-one で、写真原稿を L 判 の用紙にフチ無しコピーした例です。



ヒント フチ無しで出力されない場合、用紙サイズを 「**フチ無し L 判**」 に設定し、用紙の種類を 「**フォト用紙**」 に設定して、さらに 「**写真**」 強調を設定してから、もう一度実行してください。

用紙サイズの設定については、用紙サイズの設定 を参照してください。

用紙の種類の設定については、用紙の種類を設定 を参照してください。

「**写真**」 強調の設定については、コピーの明るい部分の強調を参照してください。

用紙サイズに合わせた L 判写真のコピー

「**ページ全体に印刷**」 使用すると、給紙トレイにセットされている用紙の印刷可能範囲に合わせて、写真を拡大または縮小することができます。下の例では、「**ページ全体に印刷**」 を選択し、L 判 の写真を用紙に合わせてフチ無しコピーを作成しています。写真をコピーするときは、フォト プリント カートリッジを使用すると、よりきれいに印刷できます。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。詳細については、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

注記 原稿の縦横比を変えないで、フチ無しコピーを実行すると、HP all-in-one で画像の端がわずかな部分で、トリミングされることがあります。



コントロール パネルで写真を用紙のサイズに合わせてコピーするには

注記 ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、この機能は正常に機能しなくなります。詳細については、HP all-in-one のクリーニング を参照してください。

1 A4 フォト用紙またはレター用紙を給紙トレイにセットします。

ヒント フチ無しコピーを実行するには、フォト用紙またはその他の特殊用紙をセットしてください。

2 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて写真原稿をセットします。写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

3 [コピー] で、「ページ全体に印刷」 が表示されるまで 「**縮小/拡大**」 を押し「OK」を押します。

4 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

ヒント フチ無しで出力されない場合、用紙サイズを 「フチ無しレター」 または 「フチ無し A4」 に設定し、用紙の種類を 「フォト用紙」 に設定して、さらに 「写真」 強調を設定してから、もう一度実行してください。

用紙サイズの設定については、用紙サイズの設定 を参照してください。

用紙の種類の設定については、用紙の種類を設定 を参照してください。

「写真」 強調の設定については、コピーの明るい部分の強調を参照してください。

A4 用紙またはレター用紙に合わせた原稿のサイズ調整

原稿の画像や文字がページ全体に配置されて、余白がない場合は、「ページに合わせる」 または 「ページ全体 91%」 を使用すると、原稿を縮小でき、端の文字や画像が不必要にトリミングされることを防ぐことができます。



ヒント　また、用紙サイズの印刷可能領域内に合わせて、小さな写真を拡大することもできます。原稿の縦横比を変えずに拡大する、または端をトリミングせずに拡大するため、HP all-in-one では用紙の端に不均等な余白がそのまま残ることがあります。

コントロール パネルで文書のサイズを調整するには

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 ガラス板の場合は、表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。ドキュメント フィーダ トレイの場合は、表を上にして原稿をセットします。
ドキュメント フィーダ トレイに、ページの先頭から給紙されるように原稿をセットします。
3 [コピー] で、次のどちらかの設定を実行します。
   – ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットした場合は、「ページ全体 91%」 が表示されるまで 「**縮小/拡大**」 を押し「OK」を押します。
   – 「ページに合わせる」 を指定する場合は、「ページに合わせる」 が表示されるまで 「**縮小/拡大**」 を押し「OK」を押します。
4 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

カスタム設定による原稿のサイズ調整

カスタム設定を使用して、文書のコピーを縮小または拡大することができます。

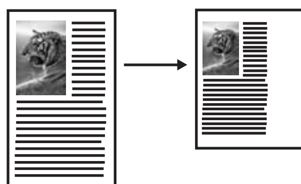
コントロール パネルからカスタム サイズを設定するには

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 ガラス板の場合は、表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。ドキュメント フィーダ トレイの場合は、表を上にして原稿をセットします。
3 [コピー] で、「カスタム 100%」 が表示されるまで 「**縮小/拡大**」 を押し「OK」を押します。
4 ▶ を押すか、キーパッドを使用して、コピーの縮小または拡大の倍率 (%) を入力します。次に、「**OK**」 を押します。
(サイズ調整の最小倍率および最大倍率は、モデルに応じて異なります。)
5 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

リーガル サイズの文書をレター用紙にコピー

「リーガル > レター 72%」 設定を使用すると、リーガル サイズの文書をレター用紙サイズに縮小してコピーできます。

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 リーガル サイズの文書の表を上にし、ページの先頭を左側にして、ドキュメント フィーダ トレイにセットします。
3 [コピー] で、「リーガル > レター 72%」 が表示されるまで 「**縮小/拡大**」 を押し「OK」を押します。
4 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。
下図のように、HP all-in-one では、原稿のサイズがレター用紙の印刷可能領域に収まるように縮小されます。



色あせた原稿のコピー

「薄く/濃く」 を使用すると、コピーの明るさを調節できます。色の濃さを調整すると、コピーの色をより鮮やかに、あるいはより落ち着いたものにすることができます。

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 ガラス板の場合は、表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。ドキュメント フィーダ トレイの場合は、表を上にして原稿をセットします。
ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、ページの先頭から給紙されるように文書をセットします。
3 [コピー] で、「薄く/濃く」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
4 ▶ を押してコピーを濃くしてから、「**OK**」 を押します。

注記 コピーの色を薄くするには、◀ を押します。

5 [コピー] で、「色の濃さ」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
色の濃さの値の範囲は、コントロール パネル ディスプレイにスケール (目盛り) で表示されます。
6 ▶ を押して画像をより鮮やかにします。次に 「**OK**」 を押します。

注記　画像を薄くするには、◀ を押します。

7　「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

何回もファクスされた文書のコピー

「強調」 機能を使用すると、モノクロ文字の輪郭がはっきりし、テキスト文書の品質を調整したり、白に見えてしまう薄い色を強調して、写真を調整したりすることができます。

デフォルトのオプションは 「混在」 の強調です。「混在」 の強調を使用すると、ほとんどの原稿の輪郭がはっきりします。

ぼやけた文書をコピーするには

1　用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2　ガラス板の場合は、表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。ドキュメント フィーダ トレイの場合は、表を上にして原稿をセットします。
ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、ページの先頭から給紙されるように文書をセットします。
3　[コピー] で、「強調」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
4　「文字」 設定が表示されるまで ▶ を押し、それから 「**OK**」 ボタンを押します。
5　「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

次のような場合は、「写真」 または 「なし」 を選択して、「文字」 の強調をオフにしてください。

- コピー上で色の点が文字の周りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーの細かい図または線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

コピーの明るい部分の強調

「写真」 強調を使用すると、白に見えてしまう薄い色を強調することができます。「文字」 強調でコピーするときに起こりやすい次のような問題を解消または軽減する場合に、「写真」 強調は便利です。

- コピー上で色の点が文字の周りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーの細かい図または線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

露出過度になった写真をコピーするには

1　用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

2 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて写真原稿をセットします。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3 [コピー] で、「強調」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
4 「写真」 の強調設定が表示されるまで ▶ を押し、それから 「**OK**」 ボタンを押します。
5 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

HP all-in-one に付属する 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、コピー対象の写真と文書の 「強調」 が簡単に設定できます。マウスを 1 回クリックするだけで、写真は 「写真」 強調でコピーする、文字は 「文字」 強調でコピーする、画像と文字が混在する文書は 「写真」 と 「文字」 の両方を強調してコピーする、などの設定ができます。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

カラーのアイロン プリント紙の作成

画像または文字をアイロン プリント紙にコピーして、T シャツ、枕カバー、ランチョン マットなどの生地にアイロン プリントすることができます。

ヒント 初めて作成する場合は、いらなくなった生地などを使用して、アイロン プリントを練習することをおすすめします。

1 アイロン プリント紙を給紙トレイにセットします。
2 表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3 [コピー] で、「コピー用紙の種類」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
4 「アイロンプリント紙」 または 「アイロン左右反転用紙」 が表示されるまで ▶ を押します。次に 「**OK**」 を押します。
5 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

注記 用紙の種類で 「アイロン左右反転用紙」 を選択すると、HP all-in-one では原稿の左右反転の画像が自動的にコピーされます。生地にアイロン プリントすると、正しい向きになります。

コピーの中止

➔ コピーを中止するには、コントロール パネルの 「**キャンセル**」 を押します。

8 スキャン機能の使用

スキャンとは、コンピュータで使用できるように、文字や写真を電子的な形式に変換する過程のことです。HP all-in-one のガラス面に傷をつけないように注意すれば、写真、雑誌記事、書類など、さまざまなものをスキャンできます。

HP all-in-one のスキャン機能を使用すると、次のようなことが可能です。

- 記事のテキストをスキャンしてワード プロセッサに取り込み、レポートに貼り付ける。
- ロゴをスキャンし、パブリッシング ソフトウェアで使用して、名刺やカタログを印刷する。
- お気に入りの写真をスキャンし、電子メールのメッセージに添付して、友人や親戚に送信する。
- 家財や商品の写真目録を作成する。
- 大切な写真を電子スクラップブックにまとめる。

注記　市販のテキストのスキャン (光学式文字認識または OCR) を活用すると、雑誌記事や本などの印刷物の中身を編集可能なテキストとして、ワード プロセッサやその他のさまざまなプログラムに取り込むことができます。最高の読み取り結果を得るには、OCR の使用方法を理解することが大切です。OCR ソフトウェアを初めてお使いになるときは、スキャンしたテキスト文書の文字が完璧に認識されない場合があります。OCR ソフトウェアの操作は 1 つの技能なので、習得するには時間と練習が必要です。

文書、特にテキストとグラフィックの両方を含む文書のスキャンについては、OCR ソフトウェアに付属するユーザー ガイドを参照してください。

スキャン機能を使用するには、HP all-in-one とコンピュータを接続して電源をオンにします。また、スキャンする前に、コンピュータに HP all-in-one ソフトウェアをインストールします。Windows コンピュータで HP all-in-one ソフトウェアが動作していることを確認するには、画面右下の時刻の横にあるシステム トレイに HP all-in-one のアイコンが表示されていることを確認します。Macintosh の場合、HP all-in-one ソフトウェアは常に動作しています。

注記　システム トレイにある HP Windows のアイコンを閉じると、HP all-in-one からスキャン機能の一部が失われ、「接続していません。」 エラー メッセージが表示されます。このエラー メッセージが表示された場合、コンピュータを再起動するか、または 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを起動してください。

コンピュータからのスキャン方法や、スキャン画像の調整、サイズ変更、回転、トリミング、鮮明度調整については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

ここでは、アプリケーションへのスキャン画像の送信について説明します。

アプリケーションへのスキャン画像の送信

USB ケーブルで HP all-in-one をコンピュータに直接接続している場合は、次の手順に従ってください。

ガラス板にセットした原稿を、コントロール パネルの操作で直接スキャンすることができます。

注記　ここに示されているメニューは、ご使用のコンピュータのオペレーティング システムと、「**HP Image Zone**」 でスキャン画像の送信先に設定されたアプリケーションによって、内容が異なることがあります。

スキャン画像をアプリケーションに送信するには

1. 原稿の表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2. [スキャン] 領域の 「**スキャン to**」 ボタンを押します。
   「スキャン to」 メニューが表示され、スキャン画像の送信先 (アプリケーション名を含む) の一覧が表示されます。デフォルトの送信先には、前回このメニューを使用したときに選択した送信先が指定されます。ご使用のコンピュータで 「**HP Image Zone**」 を使用すると、「スキャン to」 メニューに表示するアプリケーションと送信先を指定できます。
3. スキャンを受信するアプリケーションを指定するには、◀ または ▶ で目的のアプリケーションを選択し、「**OK**」 または 「**スキャン スタート**」 を押します。
   スキャンのプレビュー画像が、コンピュータの 「**HP スキャン**」 画面に表示されます。ここから編集ができます。
   プレビュー画像の編集の詳細については、ソフトウェアに付属するオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。
4. 「**HP スキャン**」 ウィンドウでプレビュー画像を編集します。編集が終了したら、「**適用**」 をクリックします。
   スキャン画像が HP all-in-one から選択したアプリケーションに送信されます。たとえば、「**HP Image Zone**」 ソフトウェア (Windows) または 「**JPEG to HP ギャラリ**」 (Macintosh) を選択している場合は、選択したソフトウェアが自動的に開いて、画像を表示します。

「**HP Image Zone**」 には、スキャン画像の編集に使用できるツールが多数あります。明度、鮮明度、カラー トーン、彩度などを調整することによって画像の品質を全体的に向上させることができます。また、画像のトリミング、歪み補正、回転、サイズ変更もできます。スキャンした画像がきれいに仕上がったら、別のアプリケーションで開いたり、電子メールでの送信、ファイルへの保存、印刷ができます。「**HP Image Zone**」 の使用については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

スキャンの中止

➔ スキャンを中止するには、コントロール パネルの 「**キャンセル**」 を押します。

9 コンピュータからの印刷

HP all-in-one は印刷が可能な任意のソフトウェアから使用できます。印刷を実行する場合に Windows PC と Macintosh のどちらを使用するかによって、印刷手順が多少異なります。この章を参照して、ご使用のオペレーティングシステムに該当する手順に従ってください。

この章で説明する印刷機能に加えて、フチ無し印刷やニュースレターなどの特殊な印刷ジョブを印刷することができます。また、PictBridge をサポートするデジタル カメラから直接画像を印刷することや、「**HP Image Zone**」の印刷プロジェクトでスキャンした画像を使用することもできます。

- デジタル カメラからの印刷の詳細については、PictBridge カメラの使用を参照してください。
- 特殊な印刷ジョブや 「**HP Image Zone**」 での画像印刷の詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

ソフトウェア アプリケーションからの印刷

ほとんどの印刷設定は、印刷元のソフトウェア アプリケーションまたは HP ColorSmart テクノロジで自動的に設定されます。印刷の品質の変更、特定の種類の用紙やフィルムに印刷、特殊機能の使用にのみ、手動で設定を変更する必要があります。

文書の作成に使用したソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Windows の場合)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ご使用のソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの「**印刷**」 をクリックします。
3. HP all-in-one をプリンタとして選択します。
4. 設定を変更する必要がある場合は、「**プロパティ**」 ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
   ソフトウェア アプリケーションによって、このボタンは 「**プロパティ**」、「**オプション**」、「**プリンタ設定**」、「**プリンタ**」 などの名前になっています。
5. 「**用紙/品質**」、「**レイアウト**」、「**機能**」、「**基本設定**」、「**カラー**」タブなどで、印刷ジョブのための適切なオプションを選択します。

   ヒント 「**印刷ショートカット**」 タブで、定義済みの印刷タスクのいずれかを選択すると、印刷ジョブの適切なオプションを簡単に選択できます。「**何をしますか ?**」 一覧で印刷タスクのタイプをクリックします。その種類の印刷タスクのデフォルト設定が設定されて、「**印刷ショートカット**」 タブに表示されます。必要に応じて、ここで設定を調整するか、または 「**プロパティ**」 ダイアログ ボックスのその他のタブで変更することができます。

6 「**OK**」 をクリックして、「**プロパティ**」 ダイアログ ボックスを閉じます。
7 印刷を開始するには、「**印刷**」 か 「**OK**」 をクリックします。

文書の作成に使用したソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Macintosh の場合)

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 印刷を開始する前に、「**セレクタ**」 (OS 9)、「**プリント センター**」 (OS 10.2 以前)、または 「**プリント設定ユーティリティ**」 (OS 10.3 以降) で HP all-in-one を選択します。
3 ご使用のソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの 「**ページ設定**」 をクリックします。
「**ページ設定**」 ダイアログ ボックスが表示され、用紙のサイズ、方向、倍率を指定することができます。
4 ページ属性の選択 :
– 用紙のサイズを選択します。
– 方向を選択します。
– 倍率を入力します。

注記 OS 9 では 「**ページ設定**」 ダイアログ ボックスに、画像の左右反転オプションと、両面印刷用の用紙余白調整オプションがあります。

5 「**OK**」 をクリックします。
6 ご使用のソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの 「**印刷**」 をクリックします。
「**印刷**」 ダイアログ ボックスが表示されます。OS 9 を使用している場合は、「**全般**」 パネルが開きます。OS X を使用している場合は、「**印刷部数と印刷ページ**」 パネルが開きます。
7 印刷するプロジェクトに適するように、ポップアップ メニューでそれぞれのオプションの印刷設定を変更します。
8 印刷を開始するには、「**印刷**」 をクリックします。

印刷設定の変更

HP all-in-one の印刷設定をカスタマイズして、さまざまな印刷タスクを行うことができます。

Windows ユーザーの場合

印刷設定を変更する前に、現在の印刷ジョブの設定のみを変更するのか、これ以後のすべての印刷ジョブに適用されるデフォルトとして設定するのか決める必要があります。設定変更を今後すべての印刷ジョブに適用するのか、現在の印刷ジョブのみに適用するのかによって、印刷設定の表示の仕方が異なります。

今後すべての印刷ジョブに適用される設定値の変更

1 「**HP ディレクタ**」で、「**設定**」 をクリックし、「**印刷設定**」 を選択して、「**プリンタ設定**」 をクリックします。
2 印刷設定を変更し、「**OK**」 をクリックします。

現在のジョブに対して印刷設定を変更するには

1 ご使用のソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの「**印刷**」 をクリックします。
2 HP all-in-one がプリンタに選択されていることを確認します。
3 「**プロパティ**」 ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
ソフトウェア アプリケーションによって、このボタンは 「**プロパティ**」、「**オプション**」、「**プリンタ設定**」、「**プリンタ**」 などの名前になっています。
4 印刷設定を変更し、「**OK**」 をクリックします。
5 ジョブを印刷するには、「**印刷**」 ダイアログ ボックスで 「**印刷**」 または 「**OK**」 をクリックします。

Macintosh ユーザーの場合

印刷ジョブの設定を変更するには、「**ページ設定**」 と 「**印刷**」 ダイアログ ボックスを使用します。使用するダイアログ ボックスは、設定の変更によります。

用紙のサイズ、方向、倍率 (%) を変更するには

1 印刷を開始する前に、「**セレクタ**」 (OS 9)、「**プリント センター**」 (OS 10.2 以前)、または 「**プリント設定ユーティリティ**」 (OS 10.3 以降) で HP all-in-one を選択します。
2 ご使用のソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの「**ページ設定**」 をクリックします。
3 用紙のサイズ、方向、倍率 (%) の設定を変更し、「**OK**」 をクリックします。

その他のすべての印刷設定を変更するには

1 印刷を開始する前に、「**セレクタ**」 (OS 9)、「**プリント センター**」 (OS 10.2 以前)、または 「**プリント設定ユーティリティ**」 (OS 10.3 以降) で HP all-in-one を選択します。
2 ご使用のソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの「**印刷**」 をクリックします。
3 印刷設定を変更し、「**印刷**」 をクリックしてジョブを印刷します。

印刷ジョブの中止

印刷ジョブを中止する場合、HP all-in-one とコンピュータの両方から操作できますが、HP all-in-one から中止することをおすすめします。

HP all-in-one から印刷ジョブを中止するには

➔ コントロール パネルで、「**キャンセル**」 を押します。コントロール パネル ディスプレイに表示される 「**印刷取消済**」 メッセージを確認します。このメッセージが表示されない場合は、「**キャンセル**」 ボタンをもう一度押します。

10 ファクスのセットアップ

『セットアップ ガイド』のすべての手順を完了したら、この章の手順に従ってファクスのセットアップを行います。『セットアップ ガイド』は、後で使用する場合のために取っておいてください。

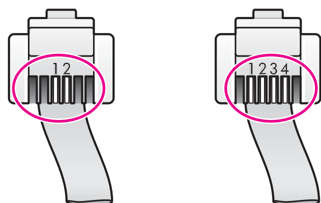
ここでは、HP all-in-one と同じ電話回線で使用する機器およびサービスでファクスを正常に動作させるために HP all-in-one をセットアップする方法について説明します。

ファクス用に HP all-in-one をセットアップする前に、お住まいの国/地域の電話システムの種類を確認します。ファクス用に HP all-in-one をセットアップする手順は、電話システムがシリアルかパラレルかで異なります。

- 共用電話機器 (モデム、電話、留守番電話) のコネクタが HP all-in-one の「2-EXT」ポートに物理接続できず、壁側のモジュラージャックに接続しなければならないタイプの場合は、おそらくシリアル タイプの電話システムです。次の表をチェックし、お住まいの国/地域がこの一覧にないことを確認します。電話システムがシリアルかパラレルか不明の場合は、電話会社に問い合わせてください。シリアル タイプの電話システムでは、4 線式電話コードを使用して、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに接続します。
- お住まいの国/地域が表にある場合は、おそらくパラレル タイプの電話システムです。パラレル タイプの電話システムでは、2 線式電話コードを使用して、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに接続します。

アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシャ	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	ラテン アメリカ	マレーシア
メキシコ	フィリピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ合衆国	ベネズエラ
ベトナム		

ヒント　また、HP all-in-one に付属の電話コードの終端を確認することもできます。電話コードに 2 本の線が見える場合は 2 線式の電話コード、4 本の線が見える場合は 4 線式の電話コードです。次の図は、電話コードの違いを示したものです。



自宅用またはオフィス用に該当するファクスのセットアップ方法を選択します。

正常にファクスを実行するには、どの機器および (存在する場合は) サービスのタイプが、HP all-in-one と同じ電話回線を共有しているかを 確認する必要があります。これは、既存のオフィス機器の一部を直接 HP all-in-one に接続し、ファクスが正常に動作するために一部のファクス設定を変更しなければならない可能性があるためです。

自宅またはオフィスで HP all-in-one をセットアップする最適な方法を確認するには、この章にある質問を読み、その答えを記録します。次に、以下の章の表を参照し、答えをもとに推奨されるセットアップ方法を選択します。

次の質問を必ず順番に読んで答えてください。

1　電話会社の DSL (デジタル加入者線) サービスに利用していますか。
   - ❑ はい、DSL を利用しています。
   - ❑ いいえ、利用していません。

   「はい」と答えた場合は、直接 ケース B：DSL 用の HP all-in-one のセットアップ に進んでください。以下の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」と答えた場合は、以下の質問に答えてください。

2　PBX (構内交換機) システムまたは ISDN (統合サービス デジタル通信網) システムを利用していますか。
   - ❑ はい、利用しています。
   - ❑ いいえ、利用していません。

   「はい」と答えた場合は、直接 ケース C：PBX システムまたは ISDN 回線用の HP all-in-one のセットアップ に進んでください。以下の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」と答えた場合は、以下の質問に答えてください。

3　異なる呼び出しパターンによる複数の電話番号を提供する、電話会社の着信識別サービスを利用していますか。
   - ❑ はい、着信識別サービスを利用しています。
   - ❑ いいえ、利用していません。

「はい」と答えた場合は、直接 ケース D：同じ回線で着信識別サービスを使用したファクス に進んでください。以下の質問に答える必要はありません。

「いいえ」と答えた場合は、以下の質問に答えてください。

着信識別サービスを利用しているかどうかが不明ですか。多くの電話会社では、1 本の電話回線に対して複数の電話番号を持つ場合に、着信識別音機能が提供されています。

この着信識別サービスでは、シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。たとえば、電話に 1 回の呼び出し音を割り当て、ファクスに 2 回の呼び出し音を割り当てることができます。これによって、呼び出し音が鳴ったときに電話かファクスかを識別できます。

4 HP all-in-one のファクスと同じ電話番号で、電話を着信しますか。
- ❑ はい、同じ電話番号です。
- ❑ いいえ、違う電話番号です。

以下の質問に答えてください。

5 HP all-in-one と同じ電話回線で PC モデムを使用していますか。
- ❑ はい、同じ電話回線で PC モデムを使用しています。
- ❑ いいえ、違います。

以下の質問のいずれかに「はい」と答えた場合は、PC モデムを使用しています。
- – ファクスの送受信をコンピュータ ソフトウェア プログラムからダイヤルアップ接続で直接行っていますか。
- – 電子メールの送受信をコンピュータからダイヤルアップ接続で行っていますか。
- – ダイヤルアップ接続でコンピュータからインターネットにアクセスしていますか。

以下の質問に答えてください。

6 HP all-in-one のファクスと同じ電話番号で留守番電話機を使用していますか。
- ❑ はい、同じ電話番号です。
- ❑ いいえ、違う電話番号です。

以下の質問に答えてください。

7 HP all-in-one のファクスと同じ電話番号で、電話会社のボイス メール サービスを利用していますか。
- ❑ はい、同じ電話回線でボイス メール サービスを利用しています。
- ❑ いいえ、違う電話番号です。

すべての質問に答えたら、次の章でファクスのセットアップ方法を選択します。

ファクスのセットアップ方法の選択

HP all-in-one と同じ電話回線を使用する機器およびサービスに関する質問が完了したら、自宅またはオフィスに最適なセットアップ方法を選択します。

次の表の最初の列から、自宅またはオフィスの設定に対応する機器およびサービスの組み合わせを選択します。それに対して、電話システムをもとに、2 列目または 3 列目で該当する設定を参照してください。いずれの設定についても、この章の後の方でステップごとの手順を説明します。

前の章ですべての質問に答えた中で、説明された機器またはサービスに該当するものがなかった場合は、表の 1 列目の「なし」を選択します。

注記 自宅またはオフィス用の設定がこの章で説明されていない場合は、通常のアナログ電話の場合と同じように HP all-in-one をセットアップします。必ず付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。別の電話コードを使用した場合は、ファクスの送受信で問題が発生する可能性があります。

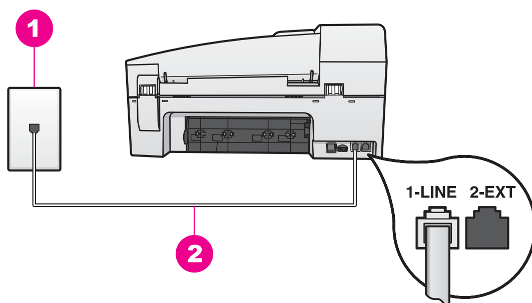
ファクスと一緒に利用するその他の機器やサービス	パラレル タイプの電話システムで推奨されるファクス設定	シリアル タイプの電話システムで推奨されるファクス設定
なし (すべての質問に「いいえ」と答えた場合)	ケース A : 別のファクス回線 (電話の受信なし)	ケース A : 別のファクス回線 (電話の受信なし)
DSL サービス (質問 1 にのみ「はい」と答えた場合)	ケース B : DSL 用の HP all-in-one のセットアップ	ケース B : DSL 用の HP all-in-one のセットアップ
PBX または ISDN システム (質問 2 にのみ「はい」と答えた場合)	ケース C : PBX システムまたは ISDN 回線用の HP all-in-one のセットアップ	ケース C : PBX システムまたは ISDN 回線用の HP all-in-one のセットアップ
着信識別サービス (質問 3 にのみ「はい」と答えた場合)	ケース D : 同じ回線で着信識別サービスを使用したファクス	ケース D : 同じ回線で着信識別サービスを使用したファクス
電話 (質問 4 にのみ「はい」と答えた場合)	ケース E : 電話/ファクス共用回線	ケース E : 電話/ファクス共用回線
電話とボイス メール サービス (質問 4 と 7 にのみ「はい」と答えた場合)	ケース F : 電話/ファクス共用回線 (ボイス メール付き)	ケース F : 電話/ファクス共用回線 (ボイス メール付き)

ファクスのセットアップ

ファクスと一緒に利用するその他の機器やサービス	パラレル タイプの電話システムで推奨されるファクス設定	シリアル タイプの電話システムで推奨されるファクス設定
PC モデム (質問 5 にのみ「はい」と答えた場合)	ケース G : PC モデムと共用のファクス回線 (電話の受信なし)	該当なし
電話と PC モデム (質問 4 と 5 にのみ「はい」と答えた場合)	ケース H : 電話/ファクス共用回線 (PC モデム付き)	該当なし
電話と留守番電話 (質問 4 と 6 にのみ「はい」と答えた場合)	ケース I : 電話/ファクス共用回線 (留守番電話付き)	該当なし
電話,PC モデム,留守番電話 (質問 4、5、6 にのみ「はい」と答えた場合)	ケース J : 電話/ファクス共用回線 (PC モデムおよび留守番電話付き)	該当なし
電話、PC モデム、ボイス メール サービス (質問 4、5、7 にのみ「はい」と答えた場合)	ケース K : 電話/ファクス共用回線 (PC モデムおよびボイス メール付き)	該当なし

ケース A : 別のファクス回線 (電話の受信なし)

電話を着信がないファクス専用回線を使用し、この回線に本体以外の機器を接続しない場合、次の手順に従って HP all-in-one をセットアップします。



HP all-in-one の後部

1	壁側のモジュラージャック
2	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード

別のファクス回線用に HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。



注意 付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

2 着信に自動応答するように HP all-in-one をセットアップします。ランプが点灯するまで、「**自動応答**」 ボタンを押します。

3 (オプション) 「応答呼び出し回数」 の設定を 1 回または 2 回に変更します。
この設定の変更の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。

4 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクスのセットアップのテストを参照してください。

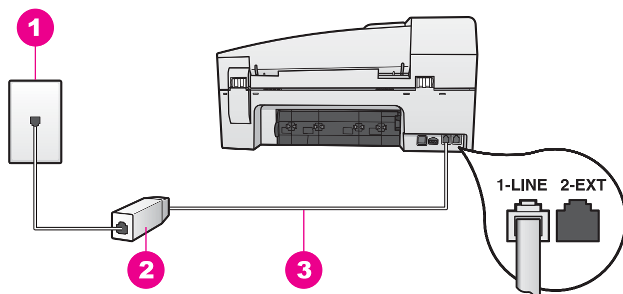
呼び出し音が鳴ると、HP all-in-one は、「応答呼び出し回数」 で設定した呼び出し回数の後で自動的に応答します。次に、ファクス受信音を送信側のファクス機に発信し、ファクスを受信します。

ケース B : DSL 用の HP all-in-one のセットアップ

電話会社の DSL サービスを利用している場合は、次の手順に従って壁側のモジュラージャックと HP all-in-one の間の DSL フィルタを接続します。DSL フィルタは、障害となるデジタル信号を除去して、HP all-in-one が電話回線と正しく交信できるようにします (DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています)。



注意 DSL 回線を利用しているものの、DSL フィルタを接続していない場合は、HP all-in-one でファクスの送受信はできません。



HP all-in-one の後部

1	壁側のモジュラージャック
2	DSL プロバイダによって提供された DSL フィルタおよびコード
3	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード

DSL 用に HP all-in-one をセットアップするには

1 DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2 HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を DSL フィルタの空いているポートに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。



注意　付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。

3 DSL フィルタを壁側のモジュラージャックに接続します。
4 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクスのセットアップのテストを参照してください。

ケース C：PBX システムまたは ISDN 回線用の HP all-in-one のセットアップ

PBX システムまたは ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、以下の手順に従います。

- PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、ファクスおよび電話用のポートに HP all-in-one を接続します。また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

  注記　ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続しているときに問題が発生した場合は、多目的用

のポート (「多用途」と書かれている場合があります) を使用してください。

- PBX システムを使用している場合は、呼び出し待機音を「オフ」にします。

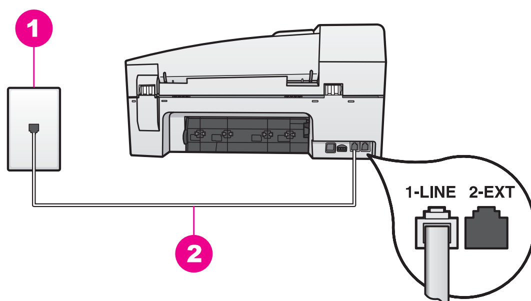


注意　多くのデジタル PBX システムでは、呼び出し待機音が工場出荷時に「オン」に設定されています。呼び出し待機音は、ファクス送信に干渉するので、HP all-in-one でファクスを送受信できなくなります。呼び出し待機音をオフにする手順については、PBX システムに付属のマニュアルを参照してください。

- PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線用の番号をダイヤルしてください。
- 必ず付属のコードを使用し、壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続してください。付属のコードを使用しない場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

ケース D : 同じ回線で着信識別サービスを使用したファクス

電話会社の着信識別サービスに加入し、1 つの電話回線で複数の電話番号に異なる呼び出し音パターンを適用している場合は、次の手順に従って HP all-in-one をセットアップします。



HP all-in-one の後部

1	壁側のモジュラージャック
2	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード

着信識別サービス用に HP all-in-one をセットアップするには

1　HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。



注意　付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

2 着信に自動応答するように HP all-in-one を設定します。ランプが点灯するまで、「**自動応答**」 ボタンを押します。

3 「**応答呼出し音のパターン**」 設定を、電話会社によってファクス番号に割り当てられているパターン (2 回または 3 回) に変更します。
この設定の変更の詳細については、応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)を参照してください。

注記　HP all-in-one は、工場出荷時の設定で、すべての呼び出し音パターンに応答するように設定されています。電話会社がファクス番号に割り当てている正しい呼び出し音パターンを設定しなかった場合、HP all-in-one は、電話とファクスの両方に応答する、またはどちらにもまったく応答しない可能性があります。

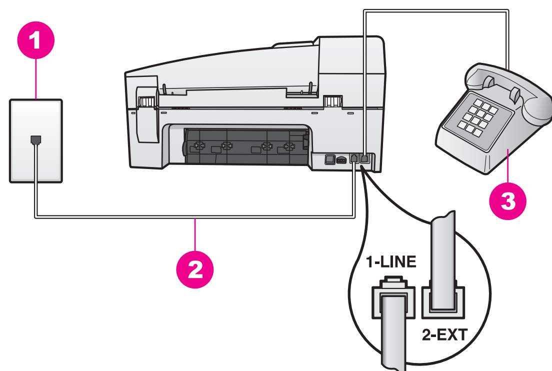
4 (オプション) 「**応答呼び出し回数**」 の設定を 1 回または 2 回に変更します。
この設定の変更の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。

5 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクスのセットアップのテストを参照してください。

HP all-in-one は、「**応答呼び出し回数**」 で選択した呼び出し回数の後に、「**応答呼出し音のパターン**」 で設定した呼び出し音パターンの着信に自動応答します。次に、ファクス受信音を送信側のファクス機に発信し、ファクスを受信します。

ケース E：電話/ファクス共用回線

電話とファクスの両方を同じ電話番号で受信し、この電話回線でほかのオフィス機器 (またはボイス メール) を使用していない場合は、次の手順に従って HP all-in-one をセットアップします。



HP all-in-one の後部 (パラレル タイプ)

1	壁側のモジュラージャック
2	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード
3	電話

電話/ファクス共用回線用に HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。



注意　付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

2 ご使用の電話システムに応じて、次のいずれかを実行してください。
   – パラレル タイプの電話システムの場合は、HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートから白いプラグを外し、電話をこのポートに接続します。
   – シリアル タイプの電話システムの場合、電話を壁側のモジュラージャックに直接接続できます。

3 ここで、呼び出しに自動で応答するか、手動で応答するかを指定する必要があります。
   – 自動応答するようにセットアップすると、HP all-in-one はすべての受信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP all-in-one はファクスと電話を区別できません。着信が電話と思われる場合は、HP all-in-one が応答する前にユーザーが応答する必要があります。

ファクス呼び出しに自動応答するには、ランプが点灯するまで、「**自動応答**」ボタンを押します。

– ファクスを手動で受信するように設定した場合、HP all-in-one はファクスを受信できません。ユーザーがファクス受信に直接応答してください。
ファクス呼び出しに手動で応答するには、ランプが消灯するまで、「**自動応答**」ボタンを押します。

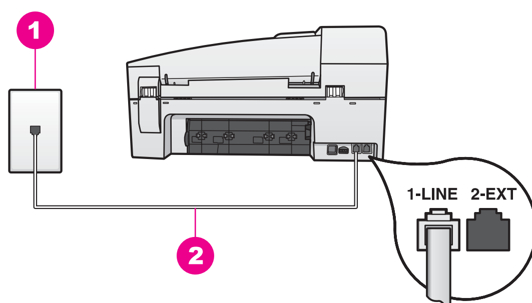
4 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクスのセットアップのテストを参照してください。

HP all-in-one より前に受話器を取り、送信側のファクス機からファクス音が聞こえた場合は、ファクス呼び出しに手動で応答する必要があります。詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

ケース F：電話/ファクス共用回線 (ボイス メール付き)

電話とファクスの両方を同じ電話番号で受信し、電話会社のボイス メール サービスを利用している場合は、次の手順に従って HP all-in-one をセットアップします。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。この場合、ファクスを手動で受信しなければならないため、ファクスの受信時にユーザー自身が本製品を操作できる場所にいる必要があります。ファクスを自動受信する場合は、電話会社に問い合わせて着信識別サービスに加入するか、ファクス専用の回線を使用します。



HP all-in-one の後部

1	壁側のモジュラージャック
2	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード

ボイス メール用に HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。



注意 付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

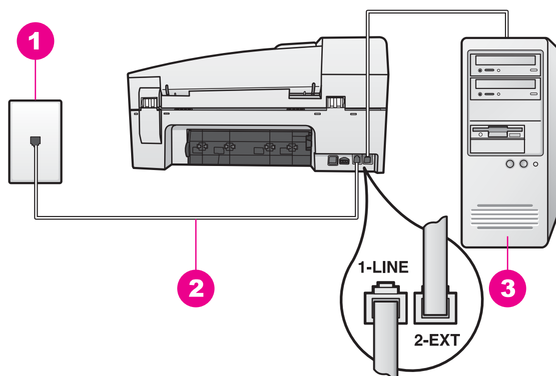
2 着信に手動で応答するように HP all-in-one をセットアップします。ランプが消灯するまで、「**自動応答**」 ボタンを押します。
3 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクスのセットアップのテストを参照してください。

受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。

ケース G：PC モデムと共用のファクス回線 (電話の受信なし)

電話を受信しないファクス回線があり、この回線に PC モデムが接続されている場合、次の手順に従って HP all-in-one をセットアップします。

PC モデムは HP all-in-one と回線を共用しているので、PC モデムと HP all-in-one を同時に使用することはできません。たとえば、PC モデムを使用して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP all-in-one のファクス機能は使用できません。



HP all-in-one の後部

1	壁側のモジュラージャック
2	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード
3	モデム付きのコンピュータ

PC モデム用に HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートから白いプラグを外します。
2 コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラージャックを接続する電話コードを見つけます。壁側のモジュラージャックからコードを外し、HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートに接続します。
3 HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。

注意　付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

4 PC モデム ソフトウェアがファクスをコンピュータで自動受信するように設定されている場合は、その設定をオフにしてください。

注意　PC モデムでファクスの自動受信をオフにしなかった場合、HP all-in-one はファクスを受信できません。

5 着信に自動応答するように HP all-in-one をセットアップします。ランプが点灯するまで、「**自動応答**」 ボタンを押します。
6 (オプション) 「**応答呼び出し回数**」 の設定を 1 回または 2 回に変更します。

この設定の変更の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。

7 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクスのセットアップのテストを参照してください。

呼び出し音が鳴ると、HP all-in-one は、「応答呼び出し回数」 で設定した呼び出し回数の後で自動的に応答します。次に、ファクス受信音を送信側のファクス機に発信し、ファクスを受信します。

ケース H：電話/ファクス共用回線 (PC モデム付き)

電話とファクスの両方を同じ電話番号で受信し、この電話回線に PC モデムを接続している場合は、次の手順に従って HP all-in-one をセットアップします。

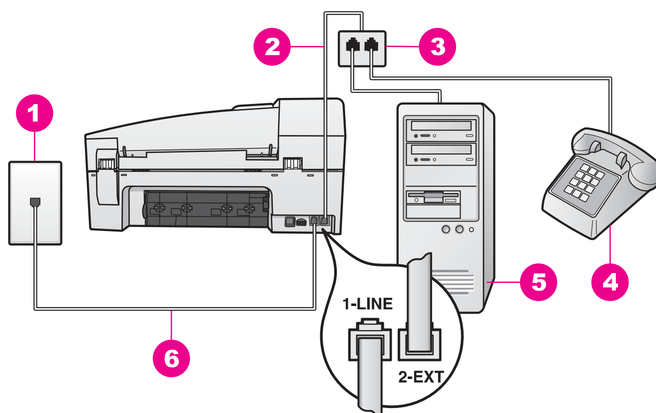
PC モデムは HP all-in-one と回線を共用しているので、PC モデムと HP all-in-one を同時に使用することはできません。たとえば、PC モデムを使用して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP all-in-one のファクス機能は使用できません。

コンピュータの電話ポート数をもとに HP all-in-one をセットアップする方法には、2 種類あります。始める前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合は、次の章のHP all-in-one のセットアップ (電話ポートが 1 つ付いているコンピュータの場合)を参照してください。正常にファクスの送受信を行い、PC モデムを使用するには、パラレル スプリッター (別名カプラー) を購入する必要があります (パラレル スプリッターには、前部に 1 つ、後部に 2 つの RJ-11 ポートが付いています。2 線式スプリッター、シリアル スプリッター、前部に 2 つの RJ-11 ポートと後部にプラグが付いているパラレル スプリッターは使用しないでください)。また、3 本の電話コードも必要になります。パラレル スプリッターと追加の電話コードは、電話機の付属品を取り扱う電機店で購入できます。
- コンピュータに 2 つの電話ポートが付いている場合は、HP all-in-one のセットアップ (電話ポートが 2 つ付いているコンピュータの場合)を参照してください。

HP all-in-one のセットアップ (電話ポートが 1 つ付いているコンピュータの場合)

ここでは、コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合に、PC モデム用に HP all-in-one をセットアップする方法について説明します。



HP all-in-one の後部

1	壁側のモジュラージャック
2	「2-EXT」ポートに接続された電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機
5	モデム付きのコンピュータ
6	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード

HP all-in-one をセットアップするには (電話ポートが 1 つ付いているコンピュータの場合)

1 コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラージャックを接続する電話コードを見つけます。壁側のモジュラージャックからコードを外し、2 つの電話ポートが付いている側のパラレル スプリッターに接続します。

2 HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。


注意 付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

3 HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートから白いプラグを外します。

4 別の電話コードを使用して、一方の端を HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートに接続します。電話コードのもう一方の端を、電話ポートが 1 つの側のパラレル スプリッターに接続します。

5 PC モデム ソフトウェアがファクスをコンピュータで自動受信するように設定されている場合は、その設定をオフにしてください。



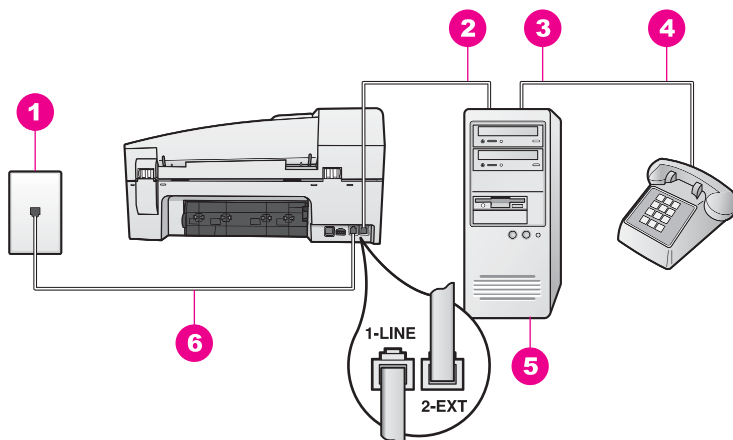
注意 PC モデムでファクスの自動受信をオフにしなかった場合、HP all-in-one はファクスを受信できません。

6 (オプション) パラレル スプリッターのもう一方の空いている電話ポートに電話機を接続します。
7 ここで、呼び出しに自動で応答するか、手動で応答するかを指定する必要があります。
   – 自動応答するようにセットアップすると、HP all-in-one はすべての受信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP all-in-one はファクスと電話を区別できません。着信が電話と思われる場合は、HP all-in-one が応答する前にユーザーが応答する必要があります。
     ファクス呼び出しに自動応答するには、ランプが点灯するまで、「**自動応答**」 ボタンを押します。
   – ファクスを手動で受信するように設定した場合、HP all-in-one はファクスを受信できません。ユーザーがファクス受信に直接応答してください。
     ファクス呼び出しに手動で応答するには、ランプが消灯するまで、「**自動応答**」 ボタンを押します。
8 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクスのセットアップのテストを参照してください。

HP all-in-one より前に受話器を取り、送信側のファクス機からファクス音が聞こえた場合は、ファクス呼び出しに手動で応答する必要があります。詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

HP all-in-one のセットアップ (電話ポートが 2 つ付いているコンピュータの場合)

ここでは、コンピュータの電話ポートが 2 つ付いている場合に、PC モデム用に HP all-in-one をセットアップする方法について説明します。



HP all-in-one の後部

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの「IN」電話ポート
3	コンピュータの「OUT」電話ポート
4	電話機
5	モデム付きのコンピュータ
6	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード

HP all-in-one をセットアップするには (電話ポートが 2 つ付いているコンピュータの場合)

1 HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートから白いプラグを外します。
2 コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラージャックを接続する電話コードを見つけます。壁側のモジュラージャックからコードを外し、HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートに接続します。
3 PC モデムの後部の「OUT」ポートに電話機を接続します。
4 HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。



注意　付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

5 PC モデム ソフトウェアがファクスをコンピュータで自動受信するように設定されている場合は、その設定をオフにしてください。



注意 PC モデムでファクスの自動受信をオフにしなかった場合、HP all-in-one はファクスを受信できません。

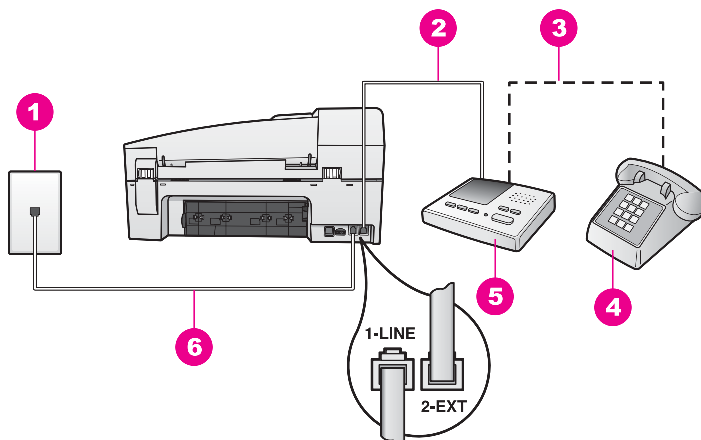
6 ここで、呼び出しに自動で応答するか、手動で応答するかを指定する必要があります。
   - 自動応答するようにセットアップすると、HP all-in-one はすべての受信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP all-in-one はファクスと電話を区別できません。着信が電話と思われる場合は、HP all-in-one が応答する前にユーザーが応答する必要があります。
     ファクス呼び出しに自動応答するには、ランプが点灯するまで、「**自動応答**」 ボタンを押します。
   - ファクスを手動で受信するように設定した場合、HP all-in-one はファクスを受信できません。ユーザーがファクス受信に直接応答してください。
     ファクス呼び出しに手動で応答するには、ランプが消灯するまで、「**自動応答**」 ボタンを押します。

7 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクスのセットアップのテストを参照してください。

HP all-in-one より前に受話器を取り、送信側のファクス機からファクス音が聞こえた場合は、ファクス呼び出しに手動で応答する必要があります。詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

ケース I： 電話/ファクス共用回線 (留守番電話付き)

電話とファクスの両方を同じ電話番号で受信し、この電話回線で呼び出しに応答する留守番電話を利用している場合は、次の手順に従って HP all-in-one をセットアップします。



HP all-in-one の後部 (日本では留守電機能付き電話が一般的です)

1	壁側のモジュラージャック
2	留守番電話の「IN」ポート
3	留守番電話の「OUT」ポート
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード

電話/ファクス共用回線 (留守番電話付き) 用に HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートから白いプラグを外します。
2 壁側のモジュラージャックから留守番電話を外し、HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートに接続します。

注記 留守番電話を直接 HP all-in-one に接続しなかった場合、送信側のファクス機からのファクス音が留守番電話に録音されるので、HP all-in-one でファクスを受信できない可能性があります。

3 HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。

注意 付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

4 (オプション) 留守番電話に通常の通話機能が組み込まれていない場合は、留守番電話の後部の「OUT」ポートに電話機を接続すると便利です。

5 着信に自動応答するように HP all-in-one をセットアップします。ランプが点灯するまで、「**自動応答**」 ボタンを押します。
6 4 回以下の呼び出し音で応答するように留守番電話を設定します。
7 HP all-in-one の 「**応答呼び出し回数**」 の設定を例えば 6 回以上に変更します。
この設定の変更の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。
8 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクスのセットアップのテストを参照してください。

呼び出し音が鳴ると、 留守番電話は、設定した呼び出し回数の後で応答し、録音されたあいさつを再生します。この間、HP all-in-one はファクス音が鳴るかどうかをモニタします。ファクス音を検出すると、HP all-in-one はファクス受信音を送信してファクスを受信します。ファクス音が鳴らなかった場合は、回線のモニタを中止し、留守番電話がメッセージを録音できるようにします。

ケース J : 電話/ファクス共用回線 (PC モデムおよび留守番電話付き)

電話とファクスの両方を同じ電話番号で受信し、この電話回線に PC モデムと留守番電話を接続している場合は、次の手順に従って HP all-in-one をセットアップします。

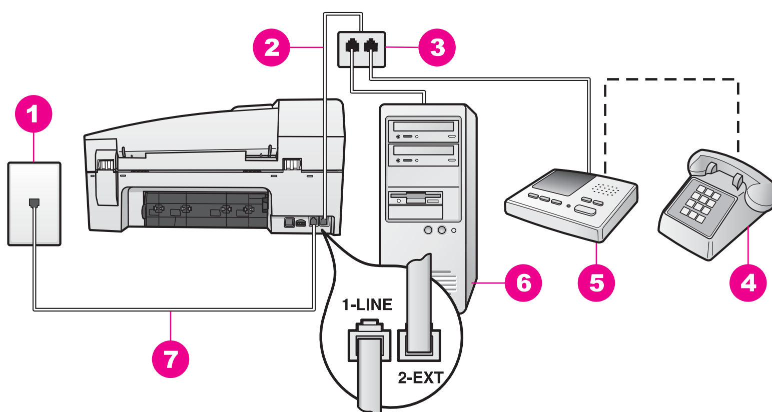
PC モデムは HP all-in-one と回線を共用しているので、PC モデムと HP all-in-one を同時に使用することはできません。たとえば、PC モデムを使用して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP all-in-one のファクス機能は使用できません。

コンピュータの電話ポート数に応じて HP all-in-one をセットアップする方法には、2 種類あります。始める前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合は、次の章のHP all-in-one のセットアップ (電話ポートが 1 つ付いているコンピュータの場合)を参照してください。正常にファクスの送受信を行い、PC モデムを使用するには、パラレル スプリッター (別名カプラー) を購入する必要があります (パラレル スプリッターには、前部に 1 つ、後部に 2 つの RJ-11 ポートが付いています。2 線式スプリッター、シリアル スプリッター、前部に 2 つの RJ-11 ポートと後部にプラグが付いているパラレル スプリッターは使用しないでください)。また、3 本の電話コードも必要になります。パラレル スプリッターと追加の電話コードは、電機店で購入できます。
- コンピュータに 2 つの電話ポートが付いている場合は、HP all-in-one のセットアップ (電話ポートが 2 つ付いているコンピュータの場合)を参照してください。

HP all-in-one のセットアップ (電話ポートが 1 つ付いているコンピュータの場合)

ここでは、コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合に、PC モデム用に HP all-in-one をセットアップする方法について説明します。



HP all-in-one の後部 (日本では留守電機能付き電話が一般的です)

1	壁側のモジュラージャック
2	「2-EXT」ポートに接続された電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	モデム付きのコンピュータ
7	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード

HP all-in-one をセットアップするには (電話ポートが 1 つ付いているコンピュータの場合)

1 コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラージャックを接続する電話コードを見つけます。壁側のモジュラージャックからコードを外し、2 つの電話ポートが付いている側のパラレル スプリッターに接続します。

2 HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。



注意　付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

3 HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートから白いプラグを外します。
4 別の電話コードを使用して、一方の端を HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートに接続します。電話コードのもう一方の端を、電話ポートが 1 つの側のパラレル スプリッターに接続します。
5 壁側のモジュラージャックから留守番電話を外し、2 つの電話ポートが付いている側のパラレル スプリッターに接続します。

注記 留守番電話をこの方法で HP all-in-one に接続しなかった場合、送信側のファクス機からのファクス音が留守番電話に録音されるので、HP all-in-one でファクスを受信できない可能性があります。

6 (オプション) 留守番電話に通常の通話機能が組み込まれていない場合は、留守番電話の後部の「OUT」ポートに電話機を接続すると便利です。
7 PC モデム ソフトウェアがファクスをコンピュータで自動受信するように設定されている場合は、その設定をオフにしてください。

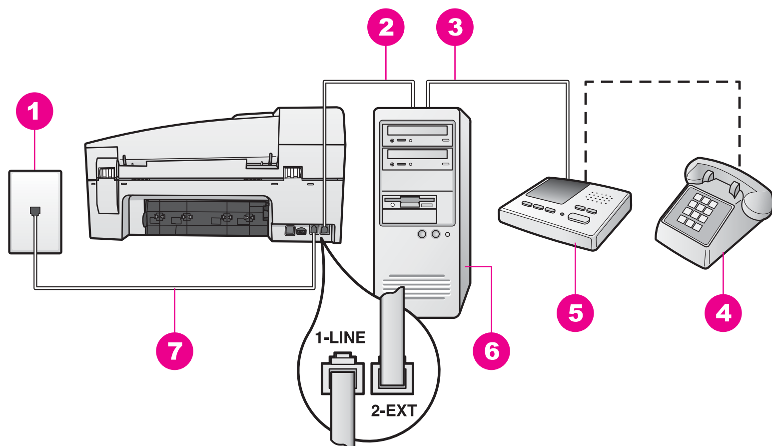

注意 PC モデムでファクスの自動受信をオフにしなかった場合、HP all-in-one はファクスを受信できません。

8 着信に自動応答するように HP all-in-one をセットアップします。ランプが点灯するまで、**「自動応答」** ボタンを押します。
9 4 回以下の呼び出し音で応答するように留守番電話を設定します。
10 HP all-in-one の **「応答呼び出し回数」** の設定を例えば 6 回以上に変更します。
この設定の変更の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。
11 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクスのセットアップのテストを参照してください。

呼び出し音が鳴ると、 留守番電話は、設定した呼び出し回数の後で応答し、録音されたあいさつを再生します。この間、HP all-in-one はファクス音が鳴るかどうかをモニタします。ファクス音を検出すると、HP all-in-one はファクス受信音を送信してファクスを受信します。ファクス音が鳴らなかった場合は、回線のモニタを中止し、留守番電話がメッセージを録音できるようにします。

HP all-in-one のセットアップ (電話ポートが 2 つ付いているコンピュータの場合)

ここでは、コンピュータの電話ポートが 2 つ付いている場合に、PC モデム用に HP all-in-one をセットアップする方法について説明します。



HP all-in-one の後部 (日本では留守電機能付き電話が一般的です)

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの「IN」電話ポート
3	コンピュータの「OUT」電話ポート
4	電話機
5	留守番電話
6	モデム付きのコンピュータ
7	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード

HP all-in-one をセットアップするには (電話ポートが 2 つ付いているコンピュータの場合)

1 HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートから白いプラグを外します。
2 コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラージャックを接続する電話コードを見つけます。壁側のモジュラージャックからコードを外し、HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートに接続します。
3 壁側のモジュラージャックから留守番電話を外し、PC モデムの後部の「OUT」ポートに接続します。
これによって、PC モデムが最初に回線に接続されている場合でも、HP all-in-one と留守番電話を直接接続できます。

注記　留守番電話をこの方法で HP all-in-one に接続しなかった場合、送信側のファクス機からのファクス音が留守番電話に録音されるので、HP all-in-one でファクスを受信できない可能性があります。

4 HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。



注意 付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

5 (オプション) 留守番電話に通常の通話機能が組み込まれていない場合は、留守番電話の後部の「OUT」ポートに電話機を接続すると便利です。
6 PC モデム ソフトウェアがファクスをコンピュータで自動受信するように設定されている場合は、その設定をオフにしてください。



注意 PC モデムでファクスの自動受信をオフにしなかった場合、HP all-in-one はファクスを受信できません。

7 着信に自動応答するように HP all-in-one をセットアップします。ランプが点灯するまで、「**自動応答**」 ボタンを押します。
8 4 回以下の呼び出し音で応答するように留守番電話を設定します。
9 HP all-in-one の 「**応答呼び出し回数**」 の設定を 6 回に変更します。
この設定の変更の詳細については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。
10 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクスのセットアップのテストを参照してください。

呼び出し音が鳴ると、 留守番電話は、設定した呼び出し回数の後で応答し、録音されたあいさつを再生します。この間、HP all-in-one はファクス音が鳴るかどうかをモニタします。ファクス音を検出すると、HP all-in-one はファクス受信音を送信してファクスを受信します。ファクス音が鳴らなかった場合は、回線のモニタを中止し、留守番電話がメッセージを録音できるようにします。

ケース K：電話/ファクス共用回線 (PC モデムおよびボイスメール付き)

電話とファクスの両方を同じ電話番号で受信し、同じ電話回線で PC モデムを使用しており、電話会社のボイス メール サービスを利用している場合は、次の手順に従って HP all-in-one をセットアップします。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。この場合、ファクスを手動で受信しなければならないため、ファクスの受信時にユーザー自身が本製品を操作できる場所にいる必要があります。ファクスを自動受信する場合は、電話会社に問い合わせて着信識別サービスに加入するか、ファクス専用の回線を使用します。

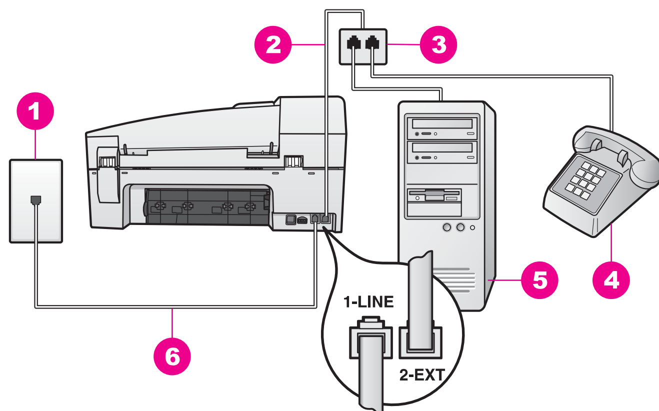
PC モデムは HP all-in-one と回線を共用しているので、PC モデムと HP all-in-one を同時に使用することはできません。たとえば、PC モデムを使用して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP all-in-one のファクス機能は使用できません。

コンピュータの電話ポート数をもとに HP all-in-one をセットアップする方法には、2 種類あります。始める前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合は、次の章のHP all-in-one のセットアップ (電話ポートが 1 つ付いているコンピュータの場合)を参照してください。正常にファクスの送受信を行い、PC モデムを使用するには、パラレル スプリッター (別名カプラー) を購入する必要があります (パラレル スプリッターには、前部に 1 つ、後部に 2 つの RJ-11 ポートが付いています。2 線式スプリッター、シリアル スプリッター、前部に 2 つの RJ-11 ポートと後部にプラグが付いているパラレル スプリッターは使用しないでください)。また、3 本の電話コードも必要になります。パラレル スプリッターと追加の電話コードは、電機店で購入できます。
- コンピュータに 2 つの電話ポートが付いている場合は、HP all-in-one のセットアップ (電話ポートが 2 つ付いているコンピュータの場合)を参照してください。

HP all-in-one のセットアップ (電話ポートが 1 つ付いているコンピュータの場合)

ここでは、コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合に、PC モデム用に HP all-in-one をセットアップする方法について説明します。



HP all-in-one の後部

1	壁側のモジュラージャック
2	「2-EXT」ポートに接続された電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機
5	モデム付きのコンピュータ
6	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード

HP all-in-one をセットアップするには (電話ポートが 1 つ付いているコンピュータの場合)

1 コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラージャックを接続する電話コードを見つけます。壁側のモジュラージャックからコードを外し、2 つの電話ポートが付いている側のパラレル スプリッターに接続します。

2 別の電話コードを使用して、一方の端を HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートに接続します。電話コードのもう一方の端を、電話ポートが 1 つの側のパラレル スプリッターに接続します。

3 HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。



注意　付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

4 HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートから白いプラグを外します。

5 PC モデム ソフトウェアがファクスをコンピュータで自動受信するように設定されている場合は、その設定をオフにしてください。

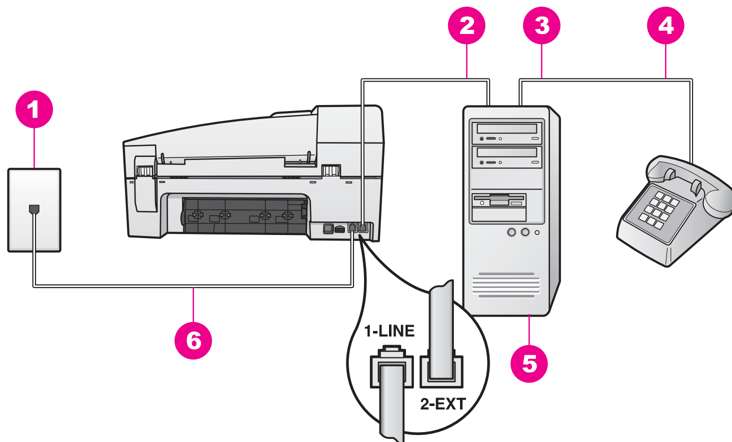


注意　PC モデムでファクスの自動受信をオフにしなかった場合、HP all-in-one はファクスを受信できません。

6 (オプション) パラレル スプリッターのもう一方の空いている電話ポートに電話機を接続します。
7 着信に手動で応答するように HP all-in-one をセットアップします。ランプが消灯するまで、「**自動応答**」 ボタンを押します。
8 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクスのセットアップのテストを参照してください。

受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。

HP all-in-one のセットアップ (電話ポートが 2 つ付いているコンピュータの場合)



HP all-in-one の後部

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの「IN」電話ポート
3	コンピュータの「OUT」電話ポート
4	電話機
5	モデム付きのコンピュータ
6	「1-LINE」ポートに接続された、HP all-in-one に付属の電話コード

HP all-in-one をセットアップするには (電話ポートが 2 つ付いているコンピュータの場合)

1 HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートから白いプラグを外します。

2　コンピュータの後部 (PC モデム) と壁側のモジュラージャックを接続する電話コードを見つけます。壁側のモジュラージャックからコードを外し、HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートに接続します。
3　PC モデムの後部の「OUT」ポートに電話機を接続します。
4　HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。



注意　付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスが正常に機能しないことがあります。この特殊な電話コードは、自宅やオフィスで一般的に見られる電話コードとは異なります。付属の電話コードが短い場合は、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照して延長してください。

5　PC モデム ソフトウェアがファクスをコンピュータで自動受信するように設定されている場合は、その設定をオフにしてください。



注意　モデムでファクスの自動受信をオフにしなかった場合、HP all-in-one はファクスを受信できません。

6　着信に手動で応答するように HP all-in-one をセットアップします。ランプが消灯するまで、「**自動応答**」 ボタンを押します。
7　ファクス テストを実行します。詳細については、次の章のファクスのセットアップのテストを参照してください。

受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP all-in-one はファクスを受信できません。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。

ファクスのセットアップのテスト

ファクス設定をテストして HP all-in-one の状態を確認し、正常にファクス送信できるように設定されたことを確認することができます。このテストは、HP all-in-one のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。テストでは、次の作業を実行します。

- ファクス ハードウェアを確認する
- 電話コードが適切なポートに接続されているかどうかを確認する
- ダイヤル トーンを確認する
- アクティブな電話回線を確認する
- 電話回線の接続のステータスを確認する

テスト結果は、レポートとして HP all-in-one から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して問題の解決方法を確認し、テストを再実行してください。

コントロール パネルからファクス機能のセットアップをテストするには

1. この章のセットアップ手順に従って、ファクス用に HP all-in-one をセットアップします。
2. テストを開始する前に、プリント カートリッジと A4 の白い普通紙がセットされていることを確認します。
   詳細については、プリント カートリッジの交換およびフルサイズ用紙のセットを参照してください。
3. 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
4. 「**6**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
   「ツール」 メニューが選択され、「ファクス テストを実行」 が選択されます。
   HP all-in-one のコントロール パネル ディスプレイにテストのステータスが表示され、レポートが印刷されます。
5. レポートを参照します。
   – テストに成功したものの、ファクスに問題が発生する場合は、レポートに記載されているファクス設定で、設定内容が正しいかどうかを確認してください。ファクス設定が空白または不適切な場合、それが問題の原因になっている可能性があります。
   – テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題解決の手がかりとなる情報があるかどうかを確認してください。
6. HP all-in-one からファクス レポートを取り出した後、「**OK**」 を押します。
   必要に応じて、問題を解決し、テストを再実行します。
   テスト時の問題解決の詳細については、ファクス テストに失敗したを参照してください。

11 ファクス機能の使用

HP all-in-one を使用して、カラー ファクスなどのファクスの送受信ができます。よく使用するファクス番号に早く簡単にファクスを送信するには、短縮ダイヤルを設定して使用できます。コントロール パネルからは、解像度などのファクス オプションが設定できます。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属の 「**HP ディレクタ**」 をいろいろと使用して、すべての機能を十分に活用してください。「**HP ディレクタ**」を使用すれば、コンピュータ上で作成したカバー ページを付けてコンピュータからファクスを送信したり、短縮ダイヤルを簡単に設定したりすることができます。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

「**HP ディレクタ**」 を使用するための詳細については、HP Image Zone による HP all-in-one のフル活用を参照してください。

ファクスを受信するように HP all-in-one を設定する

HP all-in-one は、家庭やオフィスなどの用途に応じて、自動か手動を選択してファクスを受信することができます。自動でファクスを受信する場合は、HP all-in-one がすべての受信に応答し、ファクスを受信します。ファクスを手動で受信するに HP all-in-one を設定した場合は、ファクス受信に直接応答してください。ファクスの手動受信の詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

状況に応じてファクスを手動で受信することもできます。たとえば、HP all-in-one が電話回線を電話と共有して、着信識別や留守番電話がない場合、HP all-in-one がファクスの受信に手動で応答するように設定してください。ボイス メール サービスに加入した場合にも、ファクス呼び出しに手動で応答する必要があります。HP all-in-one では、ファクスの受信と電話の着信の違いを識別できないためです。

オフィス機器を HP all-in-one 用にセットアップする詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。

セットアップに適した推奨応答モードを選択する

家庭やオフィス用のセットアップに基づいて HP all-in-one の推奨応答モードを決定するには、以下の表を参照してください。表の最初の列で、オフィス設定に該当する機器とサービスの種類を選択します。次に、2 列目の推奨応答モードを参照してください。3 列目は、HP all-in-one が受信に応答する方法を示します。

家庭やオフィス用の推奨応答モード設定を決定した後の詳細については、応答モードの設定を参照してください。

ファクス機能の使用

ファクスと一緒に利用するその他の機器やサービス	推奨応答モード	説明
なし (ファクスのみを受信する、ファクス専用の回線がある場合)	自動 (「**自動応答**」 ランプが点灯している場合)	HP all-in-one は 「**応答呼び出し回数**」 設定に基づいて、すべての受信に自動的に応答します。応答するまでの呼出し回数を設定については、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。
電話とファクスが共用で、留守番電話はない (電話とファクスの両方を受信する、共用の回線がある場合)	手動 (「**自動応答**」 ランプが点灯していない場合)	HP all-in-one は着信に自動的に応答しません。「**ファクス スタート - モノクロ**」 または 「**ファクス スタート - カラー**」 を押して、手動ですべてのファクスを受信する必要があります。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。 ほとんどが電話の着信で、ファクスの受信が少ない場合に、この設定を使用します。
電話会社が提供するボイス メール サービス	手動 (「**自動応答**」 ランプが点灯していない場合)	HP all-in-one は着信に自動的に応答しません。「**ファクス スタート - モノクロ**」 または 「**ファクス スタート - カラー**」 を押して、手動ですべてのファクスを受信する必要があります。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。
電話とファクスが共用で、留守番電話が接続されている	自動 (「**自動応答**」 ランプが点灯している場合)	留守番電話は着信に応答し、HP all-in-one は回線をモニタします。HP all-in-one がファクス受信音を検出した場合は、HP all-in-one はファクスを受信します。 注記　これは、留守番電話を持っている場合に推奨される設定です。留守番電話が、HP all-in-one に対して適切に設定されていることを確認してください。詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。 また、HP all-in-one の [応答呼び出し回数] を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定します。留守番電話は、HP all-in-one よりも前に呼び出しに応答する必要があります。応答するまでの呼出し回数

ファクスと一緒に利用するその他の機器やサービス	推奨応答モード	説明
		の設定は、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。
着信識別サービス	自動 (**「自動応答」** ランプが点灯している場合)	HP all-in-one が、すべての受信に自動的に応答します。 電話会社がファクス回線に設定した呼出し音のパターンが、HP all-in-one に設定された **「応答呼出し音のパターン」** と一致することを確認します。詳細については、応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)を参照してください。

応答モードの設定

応答モードは、HP all-in-one が着信に応答するかどうかを決めます。自動でファクスを受信するように HP all-in-one を設定した場合 (**「自動応答」** ランプが点灯している場合) は、HP all-in-one がすべての受信に応答し、ファクスを受信します。ファクスを手動で受信するように HP all-in-one を設定した場合 (**「自動応答」** ランプが点灯していない場合) は、ファクス受信に直接応答してください。ファクスの手動受信の詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

どちらの応答モードを使用するべきか分からない場合は、セットアップに適した推奨応答モードを選択するを参照してください。

➔ **「自動応答」** ボタンを押して、応答モードを設定します。
「自動応答」 ランプが点灯している場合、HP all-in-one は受信に自動応答します。ランプが点灯していない場合、HP all-in-one は受信に応答しません。

ファクスの送信

ファクスの送信には、さまざまな方法があります。HP all-in-one のコントロール パネルからモノクロまたはカラーでファクスを送信できます。取り付けられた電話から手動でファクスを送信することもできます。この方法では、ファクスを送信する前に、送信先と話をすることができます。

同じ番号にファクスを送信する頻度が高い場合は、短縮ダイヤルを設定し、**「短縮ダイヤル」** ボタンまたはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押してファクスを送信できます。ファクスの送信方法の詳細については、この章を参照してください。

基本的なファクスの送信

コントロール パネルから、1 ページまたは複数ページの基本的なファクスを送信することができます。

注記　ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する**前に**ファクス送受信の確認を有効にします。詳細については、ファクスの確認レポートを有効にする を参照してください。

ヒント　また、ダイヤルのモニタ機能を使用して、ファクスを送信することもできます。これによって、ダイヤルする速度を指定できます。ダイヤル中に音声ガイダンスに応答する必要があるときに、この機能は役に立ちます。詳細については、ダイヤルのモニタ機能を使用したファクス送信を参照してください。

1　原稿の表を上にし、ページの先頭を左側にして、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。1 ページのファクスを送信する場合は、ガラス板にセットすることもできます。

　注記　複数ページのファクスを送信する場合は、原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする必要があります。

2　キーパッドを使用してファクス番号を入力します。

　ヒント　ファクス番号にポーズを入力するには、「**リダイヤル/ポーズ**」ボタンを押します。

3　「**ファクス スタート - モノクロ**」 を押します。
4　原稿をガラス板にセットした場合は、「**1**」 を押します。

ヒント　HP all-in-one から写真などのカラー ファクスを送信することもできます。「**ファクス スタート - モノクロ**」 の代わりに 「**ファクス スタート - カラー**」 を押してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属の 「**HP ディレクタ**」 を使用すると、コンピュータからファクスを送信できます。ファクスとともに送信するカバー ページもコンピュータで簡単に作成して付けることができます。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

ファクスの確認レポートを有効にする

ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、以下の手順に従って、ファクスを送信する**前に**、ファクス送受信の確認を有効にします。

デフォルトのファクス送受信を確認する設定は、「すべてのエラー」 です。この場合、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、HP all-in-one でレポートが印刷されます。ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージが、送受信処理後にコントロール パネル ディスプレイに表示

されます。レポートの印刷の詳細については、レポートの印刷を参照してください。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**2**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「レポートの印刷」 が選択され、次に 「ファクス レポート設定」 が選択されます。
3 「送信のみ」 が表示されるまで ▶ を押し、それから 「**OK**」 ボタンを押します。
HP all-in-one は、ファクスが送信されると、ファクスが適切に送信されたかどうかを通知する確認レポートを印刷します。

注記 「送信のみ」 を選択した場合、ファクス受信中にエラーが発生しても、レポートは印刷されません。受信エラーを確認するには、「ファクス ログ」 を印刷します。「ファクス ログ」 の印刷方法については、手動でのレポート生成を参照してください。

電話からのファクスの手動送信

ファクスを送信する前に、電話をかけて受信者と話をすることができます。この方法は、手動でのファクス送信と呼ばれます。手動でのファクス送信は、送信前に、受信者がファクスを受信可能であることを確認する場合に役に立ちます。

電話は、HP all-in-one の後部の「2-EXT」ポートに接続します。HP all-in-one を電話用にセットアップする詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。

1 原稿の表を上にし、ページの先頭を左側にして、ドキュメント フィーダトレイに原稿をセットします。
2 HP all-in-one に接続された電話から、番号をダイヤルします。

注記 番号をダイヤルするには、電話のキーパッドを使用する必要があります。HP all-in-one のコントロール パネルのキーパッドは使用しないでください。

3 以下のいずれかを実行してください。
– 番号をダイヤルした後でファクス受信音が聞こえたら、3 秒以内に LCD 上で「送信」を選択し 「**ファクス スタート - モノクロ**」 または 「**ファクス スタート - カラー**」 を押し、ファクスを送信します。
– 送信先が電話に出たら、ファクスを送信する前に会話できます。ファクスの送信準備ができたら、コントロール パネルの 「**ファクス スタート - モノクロ**」 または 「**ファクス スタート - カラー**」 を押してください。その後、受信者にファクスの開始ボタンを押してもらいます。

ファクスの送信中は、電話回線から音がしません。この時点で、受話器を置くことができます。ファクス受信が完了した後、受信者と続けて話をする場合は、電話を切らないでください。

リダイヤルでのファクス送信

リダイヤルを使用して、最後にコントロール パネルでダイヤルしたファクス番号にファクスを再送信することができます。

1 原稿の表を上にし、ページの先頭を左側にして、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。
2 「**リダイヤル/ポーズ**」 を押します。
最後にダイヤルした番号が、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。
3 「**ファクス スタート - モノクロ**」 または 「**ファクス スタート - カラー**」 を押します。

短縮ダイヤルでのファクス送信

コントロール パネルの 「**短縮ダイヤル**」 またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押すと、ファクスをすぐに送信できます。ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンには、短縮ダイヤルの最初の 5 つが登録されています。

短縮ダイヤル番号は、短縮ダイヤルが設定されるまで表示されません。詳細については、短縮ダイヤルの設定を参照してください。

1 原稿の表を上にし、ページの先頭を左側にして、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。
2 以下のいずれかを実行してください。
   – 目的の短縮ダイヤルが表示されるまで 「**短縮ダイヤル**」 を押し続けます。◀ または ▶ を押して、短縮ダイヤルを探すこともできます。
   – 「**短縮ダイヤル**」 を押して、コントロール パネルのキーパッドから短縮ダイヤルを入力します。
   – ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押します。
3 「**ファクス スタート - モノクロ**」 または 「**ファクス スタート - カラー**」 を押します。

ファクスのスケジュール設定

1 日のうちの特定の時間 (たとえば、電話回線がそれほど混雑していない時間帯や、電話料金が安くなっている時間帯など) に送信するように、モノクロ ファクスの送信をスケジュール設定できます。ファクスの送信をスケジュール設定する際、原稿は、ガラス板ではなく、ドキュメント フィーダ トレイにセットする必要があります。指定した時間になると、自動的にファクスが送信されます。

一度にスケジュール設定できるファクスは 1 回だけです。ファクスをスケジュール設定している状態でも、通常どおりにファクスを送信できます。

1 原稿の表を上にし、ページの先頭を左側にして、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。

注記　ガラス板ではなく、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。この機能は、ガラス板に原稿をセットした場合にはサポートされません。

2　[ファクス] で、「ファクス方法」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
3　「後でファクスを送信」 が表示されるまで ▶ を押し、それから 「**OK**」 ボタンを押します。
4　キーパッドで送信時刻を入力してから、「**OK**」 を押します。
5　キーパッドでファクス番号を入力するか、ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押すか、または登録した短縮ダイヤル番号が表示されるまで 「**短縮ダイヤル**」 を押します。
6　「**ファクス スタート - モノクロ**」 を押します。
HP all-in-one では、予約時刻にファクスが送信されます。コントロール パネル ディスプレイに、予約時刻が表示されます。

スケジュール ファクスのキャンセル

スケジュール ファクス、または現在進行中のファクスをキャンセルできます。ファクスをスケジュール設定すると、予約時刻がコントロール パネル ディスプレイに表示されます。

➔　予約時刻がコントロール パネル ディスプレイに表示されたら、「**キャンセル**」 を押し、「**1**」 を押します。
スケジュール ファクスがキャンセルされます。

メモリ内のファクス送信

モノクロのファクスをスキャンしてメモリに読み込み、メモリからファクスを送信することができます。この機能は、送信先が話し中か、一時的に通話できない場合に役立ちます。原稿は HP all-in-one のメモリに読み込まれた後、受信側のファクス機に接続したら送信されます。ページが HP all-in-one のメモリに読み込まれたら、ドキュメント フィーダ トレイからすぐに原稿を取り除くことができます。

1　原稿の表を上にし、ページの先頭を左側にして、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。

注記　ガラス板ではなく、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。この機能は、ガラス板に原稿をセットした場合にはサポートされません。

2　[ファクス] で、「ファクス方法」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
3　「スキャン & ファクス」 が表示されるまで ▶ を押し、それから 「**OK**」 ボタンを押します。
4　キーパッドでファクス番号を入力するか、ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押すか、または登録した短縮ダイヤル番号が表示されるまで 「**短縮ダイヤル**」 を押します。

5 「**ファクス スタート - モノクロ**」 を押します。

注記 「**ファクス スタート - カラー**」 を押すと、モノクロ ファクスが送信され、コントロール パネル ディスプレイにメッセージが表示されます。

原稿が HP all-in-one のメモリに読み込まれ、受信側のファクス機が通話可能になると送信されます。この設定ですべてのファクスを送信する場合は、この設定をデフォルトに変更します。詳細については、新しいデフォルトの設定を参照してください。

ダイヤルのモニタ機能を使用したファクス送信

ダイヤルのモニタ機能を使用すると、通常電話するように、コントロール パネルから番号をダイヤルすることができます。ダイヤル中に音声ガイダンスに応答する必要があるときに、この機能は役に立ちます。また、必要に応じて、指定した速度で番号をダイヤルすることもできます。

注記 音量がオンになっていることを確認してください。音量がオフの場合、ダイヤル トーンは聞こえません。詳細については、音量の調整を参照してください。

1 原稿の表を上にし、ページの先頭を左側にして、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。1 ページのファクスを送信する場合は、ガラス板にセットすることもできます。
2 「**ファクス スタート - モノクロ**」 または 「**ファクス スタート - カラー**」 を押します。
3 原稿をガラス板にセットした場合は、「**1**」 を押します。
4 ダイヤル トーンが聞こえたら、コントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
5 音声ガイダンスがあれば、従ってください。
受信側のファクス機が応答したときに、ファクスは送信されます。

ファクスの受信

設定した応答モードによって、HP all-in-one がファクスを自動で受信するか、手動で受信するかが決まります。「**自動応答**」 ボタンの横のランプが点灯している場合、HP all-in-one は受信に自動的に応答してファクスを受信します。ランプが消灯している場合は、ファクスを手動で受信する必要があります。応答モードの詳細については、ファクスを受信するように HP all-in-one を設定するを参照してください。

注記 ファクスを受信するときに、写真を印刷するためのカラー フォト プリント カートリッジをセットしている場合、黒プリント カートリッジに交換することをおすすめします。プリント カートリッジのメンテナンスを参照してください。

応答までの呼出し回数を設定する

HP all-in-one が自動的に着信に応答する前に、呼び出し回数を指定することができます。

注記　この設定は、ファクスを自動受信するように HP all-in-one が設定されている場合にのみ有効です。

「応答呼び出し回数」 設定は、特に HP all-in-one と同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。留守番電話は、HP all-in-one よりも前に呼び出しに応答する必要があります。HP all-in-one の [応答呼び出し回数] を留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。

たとえば、留守番電話を 4 回に設定し、HP all-in-one を、デバイスでサポートされている最大呼び出し数に設定します (最大呼び出し回数は、お住まいの国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP all-in-one が電話回線を監視します。HP all-in-one がファクス受信音を検出した場合は、HP all-in-one はファクスを受信します。着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。

コントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 が選択され、「応答呼び出し回数」 が選択されます。
3 キーパッドから呼び出しの回数を入力します。
4 「**OK**」 ボタンを押して設定を確定します。

ファクスの手動受信

ファクスを手動で受信するように HP all-in-one を設定した場合 (「**自動応答**」 ランプが点灯していない場合)、または電話に出たときにファクス音が聞こえた場合は、次の手順に従ってファクスを受信してください。

次のように設定した電話で、ファクスを手動受信することができます。

- HP all-in-one の「2-EXT」ポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、直接 HP all-in-one に接続されていない電話

1 HP all-in-one の電源が入っており、用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 ドキュメント フィーダ トレイに原稿を置かないでください。
3 HP all-in-one が応答する前に、ユーザーが着信に応答できるように、「応答呼び出し回数」 を多めに設定します。または、ファクスに手動で応答するように HP all-in-one を設定します。

応答するまでの呼出し回数の設定は、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。ファクスの手動受信の設定は、応答モードの設定を参照してください。

4 以下のいずれかを実行してください。

– 同じ回線上にあって、HP all-in-one の後部に直接接続されてはいない電話の場合、送信側のファクス機からのファクス音が聞こえたら、5 ～ 10 秒待ってから、電話の 「**1 2 3**」 を押します。HP all-in-one がファクスの受信を開始しない場合は、さらに数秒待ってから、もう一度 「**1 2 3**」 を押します。

注記 HP all-in-one が着信すると、コントロール パネル ディスプレイに 「呼び出し中」 と表示されます。受話器を取ると、数秒後に 「受話器が外れています」 と表示されます。「受話器が外れています」 が表示されるまで待ってから、電話機の 「**1 2 3**」 を押します。表示を待たないで押した場合は、ファクスを受信できません。

– 電話が HP all-in-one の後部に直接接続されていて、送信側のファクス機からのファクス音が聞こえる場合は、コントロール パネルの 「**ファクス スタート - モノクロ**」 ボタンまたは 「**ファクス スタート - カラー**」 を押します。次に、「**2**」 を押してファクスを受信します。

– HP all-in-one に接続した電話を使用している送信者と電話がつながっている場合は、最初に相手のファクス機で [スタート] を押すよう指示します。送信元のファクス機からファクス音が聞こえたら、コントロール パネルの 「**ファクス スタート - モノクロ**」 または 「**ファクス スタート - カラー**」 を押してください。次に、「**2**」 を押してファクスを受信します。

注記 「**ファクス スタート - カラー**」 を押しても、送信側がモノクロでファクスを送信した場合は、モノクロ ファクスが印刷されます。

ファクスのポーリング受信

ポーリング機能を使用すると、キュー内のファクスを別のファクス機で送信できます。「ポーリング受信」 を使用した場合、HP all-in-one は、指定したファクス機を呼び出し、ファクス送信を要求します。指定したファクス機は、ポーリング用に設定され、送信準備が整っている必要があります。

注記 HP all-in-one は、ポーリング パス コードをサポートしていません。ポーリング パス コードは、受信側のファクス機 (ご使用の HP all-in-one) に対し、ファクスを受信するために、ポーリングしているデバイスにパス コードを送信するよう要求するセキュリティ機能です。ポーリングしているデバイスでパス コードが設定されていないこと (またはデフォルト パス コードが変更されていること) を確認してください。パ

ス コードが設定されている場合、HP all-in-one はファクスを受信できません。

1 [ファクス] で、「ファクス方法」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
2 「ポーリング受信」 が表示されるまで ▶ を押し、「**OK**」 ボタンを押します。
3 対象となるファクス機のファクス番号を入力します。
4 「**ファクス スタート - モノクロ**」 または 「**ファクス スタート - カラー**」 を押します。

注記 「**ファクス スタート - カラー**」 を押しても、送信側がモノクロでファクスを送信した場合は、モノクロ ファクスが印刷されます。

日付と時刻の設定

コントロール パネルから日付と時刻を設定することができます。ファクスを送信すると、その時の日付と時刻がファクスのヘッダーに印刷されます。この日付と時刻の形式は、言語と国/地域の設定に基づいています。

注記 停電などの場合には、通電後に、HP all-in-one の日付と時刻の再設定が必要になります。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 が選択され、「日付と時刻」 が選択されます。
3 キーパッドの数字を押して、年、月、日を入力します。言語と国/地域の設定によっては、入力する順序が異なることがあります。
アンダーライン カーソルは最初の桁の下にあり、ボタンを押すと自動的に次の桁に進みます。また、日付の最後の桁を入力すると、自動的に時刻指定画面に進みます。
4 時間と分を入力します。

ファクス ヘッダーの設定

ファクスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファクスの上部に名前とファクス番号が印刷されます。「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのインストール中に、「**ファクス セットアップ ウィザード**」 (Windows ユーザー) か 「**設定アシスタント**」 (Macintosh ユーザー) で、ファクス ヘッダーを設定することをおすすめします。

また、コントロール パネルからファクス ヘッダーを設定または変更することもできます。

ファクス ヘッダーでの情報表示は、多くの国/地域の法律で定められています。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。

「ファクスの基本設定」 が選択され、「ファクスのヘッダー」 が選択されます。
3 個人または会社の名前を入力します。最大で 25 文字を入力できます。コントロール パネルからテキストを入力する方法については、文字と記号の入力を参照してください。
4 「**OK**」 ボタンを押します。
5 キーパッドを使用して、ファクス番号を入力します。最大で 19 桁を入力できます。
6 「**OK**」 ボタンを押します。

ファクスのヘッダー情報を入力するには、コントロール パネルよりも「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属する 「**HP ディレクタ**」 を使用する方が簡単です。ファクスのヘッダー情報、カバー ページの情報も入力できます。この情報は、コンピュータからファクスを送信する際のカバー ページに印刷されます。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

文字と記号の入力

短縮ダイヤルおよびファクスのヘッダー情報を設定するとき、コントロール パネルのキーパッドを利用して、コントロール パネルから文字と記号を入力することができます。

ファクス番号や電話番号をダイヤルするときも、キーパッドから記号を入力することができます。HP all-in-one は、番号をダイヤルするときに、記号に応じた動作をします。たとえば、ファクス番号の途中にダッシュがある場合は、HP all-in-one はダイヤルするときに、その場所で一定の間隔を置きます。この間隔は、ファクス番号をダイヤルする前に、外線番号を入力する必要がある場合などに役に立ちます。

コントロール パネルのキーパッドからの文字の入力

コントロール パネルのキーパッドから文字と記号を入力できます。

- 名前の文字に対応するキーパッドの数字を押します。以下に示すように、A、B、C の文字は数字 [2] に対応しています。

2 abc

- 何度もボタンを押すと、そのボタンで入力可能な文字が順に表示されます。

注記 選択した言語と国/地域によって、その他の文字が使用できることもあります。

- 正しい文字が表示された後で、しばらくしてカーソルが自動的に右に進んで文字が確定されます。または ▶ を押して手動で確定します。名前の次の文字に対応する数字を押します。正しい文字が出てくるまで、さら

に何回か数字ボタンを押します。単語の最初の文字は自動的に大文字になります。

- スペースを挿入するには、「**スペース (#)**」 ボタンを押します。
- ポーズを入力するには、「**リダイヤル/ポーズ**」 ボタンを押します。番号にダッシュ (-) を入力します。
- 間違えた場合は、◀ を押してクリアし、正しい値を入力します。
- テキストを入力したら、「**OK**」 を押して値を保存します。

レポートの印刷

HP all-in-one を、エラー レポートを自動印刷し、かつファクスの送受信のたびに確認のレポートを印刷するよう設定できます。必要に応じて、システムのレポートも手動で印刷できます。これらのレポートから HP all-in-one について役立つシステム情報を知ることができます。

デフォルト設定では、ファクスの送受信に問題があると、HP all-in-one でレポートが印刷されます。ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージが、送受信処理後にコントロール パネル ディスプレイに表示されます。

自動的なレポートの生成

HP all-in-one で、自動的にエラー レポートと確認レポートを印刷する設定ができます。

注記　ファクスを送信するたびに確認メッセージを紙に印刷する必要がある場合は、次の手順を実行して、ファクスを送信する前に 「送信のみ」 を選択します。

1. 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2. 「**2**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
   「レポートの印刷」 が選択され、次に 「ファクス レポート設定」 が選択されます。
3. レポートには次のような種類があり、▶ を押すとスクロールできます。
   - 「すべてのエラー」 - 各種ファクス エラーが発生するとレポートが印刷されます (デフォルト)。
   - 「送信エラー」 - 送信エラーが発生するとレポートが印刷されます。
   - 「受信エラー」 - 受信エラーが発生するとレポートが印刷されます。
   - 「すべてのファクス」 - ファクスの送受信のたびに確認のレポートが印刷されます。
   - 「送信のみ」 - ファクス送信のたびに、正常に送信されたかどうかを示すレポートが印刷されます。
   - 「オフ」 - エラーまたは確認レポートは印刷しません。
4. 「**OK**」 ボタンを押してレポートを選択します。

手動でのレポート生成

以前に送信したファクスの状態、短縮ダイヤルの一覧、自己診断テストなどの HP all-in-one についてのレポートを手動で生成することができます。

1 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「**レポートの印刷**」 が選択されます。
2 レポートには次のような種類があり、▶ を押すとスクロールできます。
   – 「**1. ファクス レポート設定**」 - 自動的なレポートの生成 の方法で自動ファクス レポートを印刷します。
   – 「**2. 最終の処理**」 - 最後のファクス処理についての詳細を印刷します。
   – 「**3. ファクス ログ**」 - 最近の約 30 件のファクス送受信の一覧が印刷されます。
   – 「**4. 短縮ダイヤル リスト**」 - プログラムされている短縮ダイヤルの一覧を印刷します。
   – 「**5. セルフテスト レポート**」 - 印刷に関する問題や調整に関する問題を特定できるレポートを印刷します。詳細については、セルフテスト レポートの印刷を参照してください。
3 「**OK**」 ボタンを押してレポートを印刷します。

短縮ダイヤルの設定

よく使うファクス番号を、短縮ダイヤルとして登録すると、コントロール パネルのワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを使ってすぐにファクスを送信できます。また、「**短縮ダイヤル**」 を押して、登録されている短縮ダイヤルをスクロールして選択することもできます。

登録されている短縮ダイヤルのうち、最初の 5 つは、コントロール パネルのワンタッチ短縮ダイヤル ボタンに自動的に保存されます。

短縮ダイヤルでファクスを送信する詳細については、短縮ダイヤルでのファクス送信を参照してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属する 「**HP ディレクタ**」 を使用すると、短縮ダイヤルをコンピュータから簡単に設定できます。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

短縮ダイヤル番号の作成

よく使うファクス番号を、短縮ダイヤル番号に登録できます。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**3**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「**短縮ダイヤルの設定**」 が選択され、次に 「**個別の短縮ダイヤル**」 が選択されます。
まだ登録されていない短縮ダイヤルが、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。

3 「**OK**」 ボタンを押して、表示された短縮ダイヤルを選択します。まだ登録されていない別の短縮ダイヤルを選択するには、◀ または ▶ を押してから、「**OK**」 を押します。
4 その短縮ダイヤル番号に登録するファクス番号を入力し、「**OK**」 ボタンを押します。最大で 49 桁を入力できます。

ヒント ファクス番号にポーズを入力するには、「**リダイヤル/ポーズ**」 ボタンを押します。

5 名前を入力してから、「**OK**」 をクリックします。最大で 13 文字を入力できます。
文字入力の詳細については、文字と記号の入力を参照してください。
6 別の番号を設定する場合は 「**1**」 を、短縮ダイヤルの作成を終了する場合は 「**2**」 を押します。

グループ短縮ダイヤル番号の作成

最大で 48 個の短縮ダイヤル番号を格納できるグループ短縮ダイヤル番号を作成できます。登録した短縮ダイヤル番号 1 つで、モノクロ ファクスを特定のグループに送信できます。

注記 グループにファクスを送信する場合は、モノクロ ファクスのみが送信可能です。また、「**超高画質**」 は、この機能ではサポートされていません。

グループに割り当てることができるのは、以前に入力した個別の短縮ダイヤル番号だけです。また、グループに追加できるのは、個別の短縮ダイヤル番号だけです。あるグループを別のグループに割り当てることはできません。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**3**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「**短縮ダイヤルの設定**」 が選択され、次に 「**グループ短縮ダイヤル**」 が選択されます。
まだ登録されていない短縮ダイヤルが、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。
3 「**OK**」 ボタンを押して、表示された短縮ダイヤルを選択します。まだ登録されていない別の短縮ダイヤルを選択するには、◀ または ▶ を押してから、「**OK**」 を押します。
4 ◀ または ▶ を押して、個別の短縮ダイヤル番号を選択して、グループ短縮ダイヤルに追加します。
5 「**OK**」 ボタンを押します。
6 別の個別の短縮ダイヤル番号を追加する場合は 「**1**」 を、終了する場合は 「**2**」 を押します。
7 グループ短縮ダイヤル名を入力してから、「**OK**」 をクリックします。
文字入力の詳細については、文字と記号の入力を参照してください。
8 別のグループを追加する場合は 「**1**」 を、終了する場合は 「**2**」 を押します。

短縮ダイヤル番号の更新

個別の短縮ダイヤルの電話番号や名前を、変更することができます。

注記　個別の短縮ダイヤル番号が短縮ダイヤル グループにも登録されている場合、その短縮ダイヤル番号が更新されると、短縮ダイヤル グループにも反映されます。

1. 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2. 「**3**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「短縮ダイヤルの設定」 が選択され、次に 「個別の短縮ダイヤル」 が選択されます。
3. ◀ または ▶ を押して短縮ダイヤルをスクロールして目的の項目を探し、「**OK**」 を押して選択します。
4. 現在のファクス番号が表示されたら、◀ を押してそれを消去します。
5. 新しいファクス番号を入力します。
6. 「**OK**」 を押して新しい番号を保存します。
7. 新しい名前を入力します。
文字入力の詳細については、文字と記号の入力を参照してください。
8. 「**OK**」 ボタンを押します。
9. 別の短縮ダイヤル番号を更新する場合は 「**1**」 を、終了する場合は 「**2**」 を押します。

短縮ダイヤルの削除

短縮ダイヤルは、個別に、またグループで削除できます。グループ短縮ダイヤルに含まれている個別の短縮ダイヤル番号を削除すると、グループからも削除されます。

1. 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2. 「**3**」 を押して、もう一度 「**3**」 を押します。
「短縮ダイヤルの設定」 が選択され、次に 「短縮ダイヤルを削除」 が選択されます。
3. 削除する短縮ダイヤルが表示されるまで ◀ か ▶ を押し、次に 「**OK**」 ボタンを押して削除します。またコントロール パネルのキーパッドから短縮ダイヤルを入力することもできます。

ファクス機能の使用

ファクスの解像度と濃淡の変更

ファクス送信する文書の 「ファクス解像度」 と 「薄く/濃く」 の設定は変更することができます。

ファクス解像度の変更

「ファクス解像度」 の変更は、ファクス送信されるモノクロ文書の送信速度と印字品質に影響します。HP all-in-one の解像度の上限は、受信側のファクスでサポートされている解像度で決定します。解像度やコントラストの変更

はモノクロ文書に限ります。カラー ファクスはすべて 「高画質」 の解像度で送信されます。次の解像度設定を選択できます。

- 「高画質」 - ほとんどの文書でファクス送信するのに適した高品質な文字です。これがデフォルト設定値です。
- 「超高画質」 - 文書を最高画質でスキャンしてファクスします。「超高画質」 を選択すると、ファクス送信に通常よりも時間がかかります。また、この解像度で送信できるのは、モノクロ ファクスのみです。カラー ファクスは、「高画質」 設定で送信されます。
- 「写真」 - 写真のファクス送信に適した最高画質です。「写真」 を選択すると、ファクス送信に通常よりも時間がかかります。写真をファクスするときは 「写真」 を選択することをおすすめします。
- 「標準」 - ファクス品質は下がりますが、最も速くファクスを送信することができます。

この設定を新しいデフォルトとして保存しない限り、処理が終了するとデフォルト値に戻ります。詳細については、新しいデフォルトの設定を参照してください。

コントロール パネルで解像度を変更するには

1 原稿の表を上にし、ページの先頭を左側にして、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。
2 キーパッドでファクス番号を入力するか、ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押すか、または登録した短縮ダイヤル番号が表示されるまで 「**短縮ダイヤル**」 を押します。
3 [ファクス] で、「ファクス解像度」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
4 ▶ を押して、解像度の設定を選択します。
5 「**ファクス スタート - モノクロ**」 を押します。

注記 「**ファクス スタート - カラー**」 を押すと、ファクスは 「高画質」 設定で送信されます。

選択した 「ファクス解像度」 で、ファクスが送信されます。この設定ですべてのファクスを送信する場合は、この設定をデフォルトに変更します。詳細については、新しいデフォルトの設定を参照してください。

濃淡の設定の変更

ファクスのコントラストの明暗を変更することができます。かすれた文書や色あせた文書、手書きの文書などをファクスするときに便利です。原稿の濃度を濃くするには、コントラストを調整します。

この設定を新しいデフォルトとして保存しない限り、処理が終了するとデフォルト値に戻ります。詳細については、新しいデフォルトの設定を参照してください。

1 原稿の表を上にし、ページの先頭を左側にして、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。

2 キーパッドでファクス番号を入力するか、ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押すか、または登録した短縮ダイヤル番号が表示されるまで 「**短縮ダイヤル**」 を押します。
3 [ファクス] で、「薄く/濃く」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
4 ファクスを明るくするには ◀ を、暗くするには ▶ を押します。
押した矢印ボタンに応じて、インジケータが左右に動きます。
5 「**ファクス スタート - モノクロ**」 または 「**ファクス スタート - カラー**」 を押します。
選択した 「薄く/濃く」 設定で、ファクスが送信されます。この設定ですべてのファクスを送信する場合は、この設定をデフォルトに変更します。詳細については、新しいデフォルトの設定を参照してください。

新しいデフォルトの設定

コントロール パネルから、「ファクス解像度」、「薄く/濃く」、 「ファクス方法」 設定のデフォルト値を変更することができます。

1 「ファクス解像度」、「薄く/濃く」、「ファクス方法」 の設定を変更します。
2 「新しいデフォルトの設定」 が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
3 「はい」 が表示されるまで、▶ を押します。

ファクス オプションの設定

ビジー状態の番号に HP all-in-one で自動的にリダイヤルするかどうかを調整するなど、数々のファクス オプションがあります。次のオプションを変更すると、新しい設定がデフォルトになります。ファクス オプションの変更については、この項を参照してください。

ファクス受信用の用紙サイズの設定

受信するファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせます。ファクスは A4 用紙、レター用紙またはリーガル用紙にのみ印刷できます。

注記 ファクスを受信したときにこの他の用紙サイズが給紙トレイにセットされていると、ファクスを印刷しないで、コントロール パネル ディスプレイにエラー メッセージが表示されます。ファクスを印刷するには、A4 用紙、レター用紙、リーガル用紙のいずれかをセットして「**OK**」 を押します。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**4**」 を押して、もう一度 「**4**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 が選択され、「ファクスの用紙サイズ」 が選択されます。
3 ▶ を押してオプションを選択してから 「**OK**」 を押します。

トーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルの設定

HP all-in-one のダイヤル モードを、トーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルに設定できます。ほとんどの電話機は、トーン ダイヤルとパルス ダイヤルのどちらかを使用します。ご使用の電話でパルス ダイヤルが不要なときは、デフォルト設定のトーン ダイヤルの使用をおすすめします。公衆電話か構内交換機 (PBX) システムの場合は、「パルス ダイヤル」 を選択します。どちらの設定を使用しているかわからないときは、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

注記 「パルス ダイヤル」 を選択した場合は、いくつかの電話システム機能が使用できないことがあります。また、ファクスや電話番号をダイヤルするのに時間がかかることがあります。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 が選択され、「トーン、パルス選択」 が選択されます。
3 ▶ を押してオプションを選択してから 「**OK**」 を押します。

音量の調整

HP all-in-oneでは、呼び出し音およびスピーカの音量を 3 段階で調整できます。呼び出し音のボリュームとは、電話がかかってきたときに鳴る音のボリュームです。スピーカのボリュームとは、ダイヤル トーンやファクス トーン、ボタンを押したときに鳴る音など、それ以外の音の大きさのことです。デフォルトの設定は 「小」 です。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**6**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 が選択され、「呼出し音とプッシュ音の音量」 が選択されます。
3 ▶ を押し、「小さい」、「大きい」、「オフ」 のいずれかを選択します。

注記 「オフ」 を選択すると、ダイヤル トーン、ファクス受信音、着信の呼び出し音がまったく聞こえなくなります。またボタンの操作音は「オフ」「大きい」のみ有効です。

4 「**OK**」 ボタンを押します。

別の番号へのファクスの転送

ファクスを別のファクス番号に転送するように HP all-in-one を設定できます。カラー ファクスを受信しても、モノクロで転送されます。

注記 ファクスを転送する場合、HP all-in-one は、問題があった場合を除き、受信したファクスを印刷しません。(たとえば、電源がオンになっていないなどの理由で) 指定したファクス機にファクスを転送できない場合、HP all-in-one は、ファクスとエラー レポートを印刷します。

ファクス転送先の番号を確認するようおすすめします。テスト ファクスを送信して、転送されたファクスをファクス機が受信できることを確認してください。

コントロール パネルでファクスを転送するには

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**7**」 を押します。
「**ファクスの基本設定**」 が選択され、「**モノクロでファクスを転送**」 が選択されます。
3 「**オン**」 が表示されるまで ▶ を押し、それから 「**OK**」 ボタンを押します。
4 指示画面が表示されたら、転送されたファクスを受信するファクス機の番号を入力します。
5 「**OK**」 ボタンを押します。
「**ファクスを転送**」 が、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。

ファクスの転送のキャンセル

コントロール パネルからファクス転送をキャンセルすることができます。

コントロール パネルまたは 「**HP ディレクタ**」 からファクス転送をキャンセルすることができます。ファクスを転送するファクス機の番号を変更する場合は、「**HP ディレクタ**」 を使用します。

コントロール パネルでファクス転送をキャンセルするには

➔ 「**キャンセル**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
ファクス転送がキャンセルされます。

応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)

多くの電話会社では、1 本の電話回線に対して複数の電話番号を持つ場合に、着信識別音機能が提供されています。この着信識別サービスでは、シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。HP all-in-one は、特定の呼び出し音のパターンの着信に応答するようにセットアップすることができます。

着信識別音が設定されている電話回線に HP all-in-one を接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。ファクス番号には、ダブル呼び出し音かトリプル呼び出し音を割り当てることをおすすめします。HP all-in-one は、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

たとえば、電話会社の設定で、2 回の呼び出し音をファクス番号に割り当て、1 回の呼び出し音を電話番号に割り当てているとします。このセットア

ップでは、HP all-in-one の 「応答呼出し音のパターン」 を 「呼び出し 2 回」 に設定します。「応答呼び出し回数」 を 「3」 に設定することもできます。呼び出し 2 回の着信があったときに、HP all-in-one は、3 回呼び出しを待ってから、ファクスを受信します。

この着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターンの 「すべての呼び出し」 を使用します。

コントロール パネルで応答呼び出し音のパターンを変更するには

1 HP all-in-one がファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。詳細については、応答モードの設定を参照してください。
2 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
3 「**5**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 が選択され、「応答呼出し音のパターン」 が選択されます。
4 ▶ を押してオプションを選択してから 「**OK**」 を押します。
ファクス回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、HP all-in-one は受信に応答して、ファクスを受信します。

ビジー状態または応答のない番号への自動リダイヤル

HP all-in-one を、ビジー状態または応答のない番号に自動的にリダイヤルする設定ができます。「ビジー リダイヤル」 のデフォルト設定は、「リダイヤルする」 です。「応答なしリダイヤル」 のデフォルト設定は 「リダイヤルしない」 です。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 以下のいずれかを実行してください。
   – 「ビジー リダイヤル」 設定を変更するには、「**5**」 を押してから 「**2**」 を押します。
   「ファクスの詳細設定」 が選択され、「ビジー リダイヤル」 が選択されます。
   – 「応答なしリダイヤル」 設定を変更するには、「**5**」 を押してから、「**3**」 を押します。
   「ファクスの詳細設定」 が選択され、「応答なしリダイヤル」 が選択されます。
3 ▶ を押して 「リダイヤルする」 または 「リダイヤルしない」 を選択します。
4 「**OK**」 ボタンを押します。

受信したファクスを自動縮小に設定

ここでは、受信したファクスがデフォルトの用紙サイズよりも大きい場合の HP all-in-one の処理を設定します。この設定をオン (デフォルトの設定) にすると、受信したファクスの画像を 1 ページに収まるように縮小します。この機能がオフの場合は、1 ページ目からはみ出した内容は 2 ページ目に印刷さ

ファクス機能の使用

れます。「自動縮小」 は、レター サイズの用紙が給紙トレイにセットされていて、リーガル サイズのファクスを受信する場合に役に立ちます。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**5**」 を押し、次に 「**4**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 が選択され、「自動縮小」 が選択されます。
3 ▶ を押して 「オフ」 または 「オン」 を選択します。
4 「**OK**」 ボタンを押します。

バックアップ ファクス受信の設定

HP all-in-one は、受信済みファクスをすべてメモリに保存します。HP all-in-one にファクスを印刷できないエラーが発生した場合、「バックアップ ファクス受信」 を使用すると、ファクスの受信を継続できます。「バックアップ ファクス受信」 を有効にすると、エラーの間、ファクスはメモリに保存されます。

たとえば、HP all-in-one でファクスの受信中に用紙がなくなっても、「バックアップ ファクス受信」 を有効にしておけば、受信したファクスがすべてメモリに保存されます。用紙を追加すると、 ファクスを印刷できます。この機能を無効にすると、HP all-in-one は、エラーが解決されるまでファクス受信に応答しません。

HP all-in-one でファクスを受信できなくなるエラーには、次のようなものがあります。

- 給紙トレイに用紙がセットされていない
- 紙詰まりが起こっている
- プリント キャリッジのアクセス ドアが開いている
- プリント キャリッジの動きが妨げられている

通常の操作時 (「バックアップ ファクス受信」 が 「オン」 か 「オフ」 かに関わらず) では、HP all-in-one はすべてのファクスをメモリに保存します。メモリがいっぱいになると、HP all-in-one は、新しいファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。メモリ内のすべてのファクスを削除する場合は、「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源をオフにします。

注記 「バックアップ ファクス受信」 が 「オン」 の場合に、エラーが発生すると、HP all-in-one は、受信したファクスを「印刷未完了」として メモリに保存します。まだ印刷されていないファクスは、印刷するか削除しない限りメモリに残ります。印刷されていないファクスでメモリがいっぱいになると、それらのファクスを印刷するか、メモリから削除するまで、HP all-in-one はファクスの受信ができなくなります。メモリからファクスを印刷または削除する方法については、メモリにあるファクスの再印刷と削除を参照してください。

デフォルトでは、「バックアップ ファクス受信」 は 「オン」 です。

コントロール パネルでバックアップ ファクス受信を設定するには

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**5**」 を押して、もう一度 「**5**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 が選択され、「バックアップ ファクス受信」 が選択されます。
3 ▶ を押して 「オン」 または 「オフ」 を選択します。
4 「**OK**」 ボタンを押します。

エラー補正モードの使用

「エラー補正モード」 (ECM) は、電話回線の問題により、送受信中に喪失したデータを排除し、検出されたエラー部分を再送信するよう自動的に要求する機能です。この処理を行っても、品質の良い電話回線を使用している場合、電話料金は変わらず、場合によっては安くなることもあります。電話回線の状態が悪い場合、ECM を選択すると、送信時間と電話料金が増えますが、送信するデータの信頼性が上がります。デフォルトの設定はオンです。電話料金を安くするためにファクスの品質を問わないという場合のみ、ECM をオフにしてください。

ECM には、次のルールが適用されます。

- ECM をオンにしている場合、ECM は、送信するファクスにのみ適用されます。受信するファクスには適用されません。
- ECM をオンにしている場合は、「ファクス速度」 を 「標準」 に設定してください。「ファクス速度」 を 「はやい」 に設定すると、ファクスを送信する際に、自動的に ECM がオンになります。「ファクス速度」 の変更については、ファクス速度の設定を参照してください。
- カラー ファクスを送信する場合は、現在の設定に関係なく、ECM がオンになります。

コントロール パネルで ECM 設定を変更するには

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**5**」 を押し、次に 「**6**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 が選択され、「エラー補正モード」 が選択されます。
3 ▶ を押して 「オフ」 または 「オン」 を選択します。
4 「**OK**」 ボタンを押します。

ファクス速度の設定

ファクスを送受信するときに HP all-in-one と相手のファクス機の間で通信する、ファクス速度を設定することができます。デフォルトのファクス速度は「はやい」 です。

以下のサービスを使用している場合は、ファクス速度をおそい設定にする必要があることがあります。

- インターネット電話サービス
- PBX システム

- Fax over Internet Protocol (FoIP)
- ISDN (総合デジタル通信網) サービス

ファクスの送受信に問題がある場合は、「ファクス速度」 設定を 「標準」 または 「おそい」 に設定することをおすすめします。以下の表に、選択できるファクス速度の設定を示します。

ファクス速度の設定	ファクス速度
「はやい」	v.34 (33600 ボー)
「標準」	v.17 (14400 ボー)
「おそい」	v.29 (9600 ボー)

コントロール パネルからファクス速度を設定するには

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**5**」 を押し、次に 「**7**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 が選択され、「ファクス速度」 が選択されます。
3 ▶ を押してオプションを選択してから 「**OK**」 を押します。

メモリにあるファクスの再印刷と削除

メモリに保存されたファクスは、再印刷または削除できます。HP all-in-one がファクスを受信している間に用紙がなくなった場合は、いったんメモリにファクスを保存して、後で再印刷する必要があります。または、HP all-in-one のメモリがいっぱいになった場合は、ファクスの受信を継続するためにメモリを消去する必要があります。

注記　受信したファクスは、印刷後もすべて HP all-in-one のメモリに保存されます。このため、必要に応じて、ファクスを後で再印刷できます。メモリがいっぱいになると、HP all-in-one は、新しいファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。

コントロール パネルで、メモリに保存されたファクスを再印刷するには

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
3 「**6**」 を押し、次に 「**4**」 を押します。
「ツール」 が選択され、「メモリ内のファクスを再印刷」 が選択されます。
受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
4 再印刷するファクスがこれ以上ない場合は、「**キャンセル**」 を押します。
HP all-in-oneがメモリ内の次のファクスを印刷し始めます。

注記　印刷を中止するには、保存されているファクスごとに 「**キャンセル**」 を押します。

コントロール パネルで、メモリに保存されたすべてのファクスを削除するには

→ メモリ内のすべてのファクスを削除する場合は、「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源をオフにします。

HP all-in-one の電源をオフにすると、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

インターネット経由のファクス

インターネットを利用した低価格の電話サービスに加入して、HP all-in-one でファクスを送受信できます。この方法を FoIP (Fax over Internet Protocol) と言います。以下のような場合に、(電話会社が提供する) FoIP サービスを利用します。

- ファクス番号とともに特殊なアクセス コードをダイヤルする場合
- インターネットに接続し、ファクス接続用のアナログ電話ポートを提供する IP コンバータ ボックスがある場合

注記　ファクスを送受信できるのは、HP all-in-one の「1-LINE」ポートに電話コードを接続した場合のみです。Ethernet ポートは利用できません。つまり、インターネットには、ファクス接続用に標準的なアナログ電話ジャックを提供するコンバータ ボックスまたは電話会社を介して接続する必要があります。

HP all-in-one が高速 (33600bps) でファクスを送受信している場合、FoIP サービスは正常に機能しない可能性があります。ファクスの送受信に問題が発生した場合は、ファクス速度を低速にしてください。これには、「**ファクス速度**」 の設定を 「**はやい**」 (デフォルト) から 「**標準**」 に変更します。この設定の変更の詳細については、ファクス速度の設定を参照してください。

また、電話会社に問い合わせて、インターネット電話サービスでファクスがサポートされていることを確認する必要があります。ファクスがサポートされていない場合は、インターネット経由でファクスを送受信することはできません。

ファクスの中止

送受信中のファクスはいつでもキャンセルすることができます。

コントロール パネルでファクス送信を中止するには

→ 送受信しているファクスを中止するには、コントロール パネルで 「**キャンセル**」 を押します。コントロール パネル ディスプレイに表示される 「**ファクス取消済**」 メッセージを確認します。このメッセージが表示されない場合は、「**キャンセル**」 ボタンをもう一度押します。

HP all-in-one は、すでに印刷を開始したページをすべて印刷してから、残りのファクスをキャンセルします。しばらく時間がかかる場合があります。

番号のダイヤルを中止するには

➔ ダイヤルを中止するには、「**キャンセル**」 を押します。

12 HP Instant Share の使用

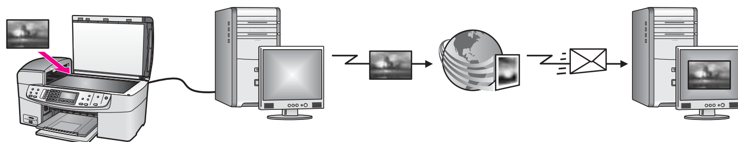
HP Instant Share を使用すると、家族や友人と簡単に写真を共有することができます。写真をスキャンし、送信先を選択するだけで、簡単に写真を送信できます。また、オンライン フォト アルバムやオンライン写真仕上げサービスに写真をアップロードすることもできます。このサービスの提供は国/地域に応じて異なります。

「**HP Instant Share 電子メール**」 を使用すると、家族や友人は、すぐに表示可能な写真を受け取ることができます。長時間のダウンロードを要求されたり、サイズが大きすぎて開けない画像データを受信したりすることがなくなります。写真のサムネイル画像が付いた電子メール メッセージに、セキュリティで保護された Web ページへのリンクが挿入されており、このページを表示すると、家族や友人は写真を簡単に閲覧、共有、印刷、および保存することができます。

概要

HP all-in-one を USB 接続で使用している場合、コンピュータにインストールされている HP ソフトウェアと本体を使用して、友人や親戚と写真を共有することができます。Windows コンピュータをご使用の場合、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用します。Macintosh をご使用の場合、「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアを使用します。

注記　HP All-in-One は USB ケーブルでコンピュータに接続され、コンピュータ経由でインターネットにアクセスします。



HP Instant Share を使用して、HP all-in-one から指定の送信先に画像を送信します。たとえば、電子メール アドレス、オンライン フォト アルバム、またはオンライン写真仕上げサービスなどを送信先として選択できます。このサービスの提供は国/地域に応じて異なります。

注記　友人や親戚のネットワーク接続した HP All-in-One またはフォト プリンタにも画像を送信することができます。デバイスに送信するには、HP Passport のユーザー ID とパスワードが必要です。この場合、受信側のデバイスをセットアップして、HP Instant Share に登録する必要があります。送信者が受信側のデバイスに割り当てた名前を入手する

ことも必要です。詳細については、HP all-in-one による画像の送信のステップ 6 を参照してください。

はじめに

HP all-in-one で HP Instant Share を使用するには、次のものが必要です。

- USB ケーブルでコンピュータに接続した HP all-in-one
- インターネットへのアクセス (HP all-in-one を接続したコンピュータ経由)
- コンピュータにインストールした「**HP Image Zone**」ソフトウェア。Macintosh の場合には、「**HP Instant Share**」クライアント アプリケーション ソフトウェアもインストールされている必要があります。

HP all-in-one をセットアップし、「**HP Image Zone**」ソフトウェアのインストールが完了すると、HP Instant Share を使用して写真を共有することが可能になります。HP all-in-one のセットアップの詳細については、本体に付属する『セットアップ ガイド』を参照してください。

HP all-in-one による画像の送信

写真またはスキャンした文書を画像として送信できます。HP all-in-one と HP Instant Share を使用すると、どちらの画像でも友人や親戚と共有することができます。

コントロール パネルの「**スキャン to**」を押して、スキャンした画像を共有します。「**スキャン to**」を使用するには、表を下にしてガラス板に原稿をセットし、画像の送信先を選択してから、スキャンを開始します。

注記　画像をスキャンする方法については、スキャン機能の使用を参照してください。

スキャンした画像を HP all-in-one から送信するには

1　ガラス板の場合は、表を下にし、ガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。自動ドキュメント フィーダを使用している場合は、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。
2　HP all-in-one のコントロール パネルの「**スキャン to**」を押します。
「**スキャン to**」メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3　◀ および ▶ 矢印を使用して、「**HP Instant Share**」を選択します。
4　「**OK**」または「**スキャン スタート**」を押して、送信先を選択します。
画像がスキャンされ、コンピュータにアップロードされます。

注記　自動ドキュメント フィーダで原稿が検知されると、1 ページまたは複数ページがスキャンされます。自動ドキュメント フィーダで原稿が検知されなかった場合は、1 ページがスキャナ ベッドからスキャンされます。

Windows の場合、コンピュータ上に 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアが開きます。「**HP Instant Share**」 タブが表示されます。スキャンされた画像のサムネイルが [選択トレイ] に表示されます。「**HP Image Zone**」 の詳細については、オンスクリーン ヘルプの 「**HP Image Zone の使用**」 を参照してください。
Macintosh の場合、コンピュータ上に 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが開きます。スキャンされた画像のサムネイルが 「**HP Instant Share**」 画面に表示されます。

注記　X v10.1.5 以前の Macintosh OS (OS X v10.1.5 を含む) をご使用の場合、写真は Macintosh の 「**HP ギャラリ**」 にアップロードされます。「**電子メール**」 をクリックします。コンピュータの画面に表示される指示に従って、スキャンした画像を電子メールの添付ファイルとして送信します。

5　ご使用のオペレーティング システムに適した手順に従います。

Windows コンピュータをご使用の場合

a　「**HP Instant Share**」 タブの 「**コントロール**」 または 「**作業**」 領域から、スキャンした画像の送信に使用するサービスのアイコンまたはリンクをクリックします。

注記　「**すべてのサービスを見る**」 をクリックすると、お住まいの国/地域で利用可能なすべてのサービスが選択肢として表示されます。例 : 「**HP Instant Share 電子メール**」 および 「**オンライン アルバムの作成**」画面上の指示に従って操作してください。

「**インターネットに接続**」 画面が [作業] 領域に表示されます。

b　「**次へ**」 をクリックして、画面の指示に従います。

Macintosh をご使用の場合

a　共有するスキャン画像が 「**HP Instant Share**」 画面に表示されていることを確認します。
「**-**」 ボタンを使用すると、写真が画面から削除され、「**+**」 ボタンを使用すると、写真が画面に追加されます。

b　「**続行**」 をクリックして、画面の指示に従います。

c　HP Instant Share サービス 一覧から、スキャンした画像の送信に使用するサービスを選択します。

d　画面上の指示に従って操作してください。

6 「**HP Instant Share 電子メール**」 サービスからは、次の操作を実行することができます。
   – Web 上で閲覧、印刷、および保存が可能な写真のサムネイル画像付き電子メール メッセージを送信できます。
   – 電子メールのアドレス帳を開いて管理できます。「**アドレス帳**」 を開いて、HP Instant Share に登録し、HP Passport のアカウントを作成してください。
   – 複数のアドレスに電子メール メッセージを送信できます。関連するリンクをクリックしてください。
   – 友人や親戚のネットワーク上の受信をサポートしているプリンタに複数の画像を一括して送信できます。「**電子メール アドレス**」 フィールドの @send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。HP Passport の 「**ユーザー ID**」 および 「**パスワード**」 を使用して、HP Instant Share にサインインするように指示されます。

   注記 HP Instant Share のセットアップがお済みでない場合、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する**」 をクリックしてください。HP Passport のユーザー ID とパスポートが発行されます。

コンピュータによる画像の送信

HP all-in-one を使用して HP Instant Share 経由で画像を送信する方法の他に、コンピュータにインストールされている 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して画像を送信する方法があります。「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、画像を選択および編集してから、HP Instant Share にアクセスしてサービス (例： 「**HP Instant Share 電子メール**」) を選択し、画像を送信することができます。画像の共有には、次の方法を利用することができます。

- HP Instant Share 電子メール (電子メール アドレスに送信)
- HP Instant Share 電子メール (デバイスへの送信)
- オンライン アルバム
- オンライン写真仕上げ (サービスの提供は国/地域によって異なる)

「HP Image Zone」 ソフトウェアによる画像の送信 (Windows)

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、友人や親戚と画像を共有できます。「**HP Image Zone**」 を開き、共有する画像を選択して、「**HP Instant Share 電子メール**」 サービスで画像を転送するだけです。

注記 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの使用については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

「HP Image Zone」 ソフトウェアを使用するには

1 デスクトップ上にある 「**HP Image Zone**」 のアイコンをダブルクリックします。
「**HP Image Zone**」 画面がコンピュータ上に開きます。「**マイ イメージ**」 タブが画面に表示されます。

2 保存されているフォルダから画像を選択します。
詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

注記 「**HP Image Zone**」 画像編集ツールを使用して、画像を編集し、好みの結果に仕上げてください。詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

3 「**HP Instant Share**」 タブをクリックします。
「**HP Instant Share**」 タブが 「**HP Image Zone**」 画面に表示されます。

4 「**HP Instant Share**」 タブの 「**コントロール**」 または 「**作業**」 領域から、スキャンした画像の送信に使用するサービスのアイコンまたはリンクをクリックします。

注記 「**すべてのサービスを見る**」 をクリックすると、お住まいの国/地域で利用可能なすべてのサービスが選択肢として表示されます。例：「**HP Instant Share 電子メール**」 および 「**オンライン アルバムの作成**」画面上の指示に従って操作してください。

「**インターネットに接続**」 画面が 「**HP Instant Share**」 タブの 「**作業**」 領域に表示されます。

5 「**次へ**」 をクリックして、画面の指示に従います。

6 「**HP Instant Share 電子メール**」 サービスからは、次の操作を実行することができます。
   – Web 上で閲覧、印刷、および保存が可能な写真のサムネイル画像付き電子メール メッセージを送信できます。
   – 電子メールのアドレス帳を開いて管理できます。「**アドレス帳**」 を開いて、HP Instant Share に登録し、HP Passport のアカウントを作成してください。
   – 複数のアドレスに電子メール メッセージを送信できます。関連するリンクをクリックしてください。
   – 友人や親戚のネットワーク上の受信をサポートしているプリンタに複数の画像を一括して送信できます。「**電子メール アドレス**」 フィールドの @send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。HP Passport の 「**ユーザー ID**」 および 「**パスワード**」 を使用して、HP Instant Share にサインインするように指示されます。

注記　HP Instant Share のセットアップがお済みでない場合、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する**」 をクリックしてください。HP Passport のユーザー ID とパスポートが発行されます。

HP Instant Share クライアント アプリケーション ソフトウェアによる画像の送信 (Macintosh OS X v10.1.5 以降)

注記　Macintosh OS X v10.2.0、v10.2.1 および v10.2.2 はサポートされていません。

HP Instant Share クライアント アプリケーションを使用すると、友人や親戚と画像を共有できます。[HP Instant Share] 画面を開き、共有する画像を選択して、「**HP Instant Share 電子メール**」 サービスで画像を転送するだけです。

注記　「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアの使用については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

HP Instant Share クライアント アプリケーションを使用するには

1. ドックから 「**HP Image Zone**」 アイコンを選択します。
   「**HP Image Zone**」 がデスクトップ上に開きます。
2. 「**HP Image Zone**」 で、画面の上部にある 「**サービス**」 ボタンをクリックします。
   アプリケーションの一覧が 「**HP Image Zone**」 の下側に表示されます。
3. アプリケーションの一覧から 「**HP Instant Share**」 を選択します。
   「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアがコンピュータ上に開きます。
4. 「**+**」 ボタンを使用して画像を画面に追加するか、または 「**-**」 ボタンを使用して画像を画面から削除します。

   注記　「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアの使用については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

5. 共有する画像が 「**HP Instant Share**」 画面に表示されていることを確認します。
6. 「**続行**」 をクリックして、画面の指示に従います。
7. HP Instant Share サービス一覧から、スキャンした画像の送信に使用するサービスを選択します。
8. 画面上の指示に従って操作してください。

9　「**HP Instant Share 電子メール**」 サービスからは、次の操作を実行することができます。
   – Web 上で閲覧、印刷、および保存が可能な写真のサムネイル画像付き電子メール メッセージを送信できます。
   – 電子メールのアドレス帳を開いて管理できます。「**アドレス帳**」 を開いて、HP Instant Share に登録し、HP Passport のアカウントを作成してください。
   – 複数のアドレスに電子メール メッセージを送信できます。関連するリンクをクリックしてください。
   – 友人や親戚のネットワーク上の受信をサポートしているプリンタに複数の画像を一括して送信できます。「**電子メール アドレス**」 フィールドの @send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。HP Passport の 「**ユーザー ID**」 および 「**パスワード**」 を使用して、HP Instant Share にサインインするように指示されます。

     注記　HP Instant Share のセットアップがお済みでない場合、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する**」 をクリックしてください。HP Passport のユーザー ID とパスポートが発行されます。

「HP ディレクタ」 による画像の共有 (X v10.1.5 以前の Macintosh OS)

注記　Macintosh OS X v10.0 および v10.0.4 はサポートされていません。

電子メール アカウントを持っている人となら誰とでも画像を共有できます。まず、「**HP ディレクタ**」 を起動して、「**HP ギャラリ**」 を開きます。次に、コンピュータにインストールされている電子メール アプリケーションを使用して、電子メール メッセージを新規作成します。

注記　詳細については、オンスクリーン 「**HP フォト イメージング ヘルプ**」 の「HP イメージング ギャラリ」に関する章を参照してください。

「HP ディレクタ」 で電子メール オプションを使用するには

1　次のいずれかの方法で 「**HP ディレクタ**」 メニューを表示します。
   – OS X の場合、ドックから 「**HP ディレクタ**」 アイコンを選択します。
   – OS 9 の場合、デスクトップの「**HP ディレクタ**」 ショートカットをダブルクリックします。
2　次のいずれかの方法で 「**HP フォト イメージング ギャラリ**」 を開きます。
   – OS X の場合、「**HP ディレクタ**」 メニューの 「**管理と共有**」 から 「**HP ギャラリ**」 を選択します。
   – OS 9 の場合、「**HP ギャラリ**」 をクリックします。

3 共有する画像を選択します。
詳細については、オンスクリーン 「**HP フォト イメージング ヘルプ**」 を参照してください。
4 「**電子メール**」 をクリックします。
Macintosh で電子メール プログラムが開きます。
コンピュータの画面に表示される指示に従って、画像を電子メールの添付ファイルとして送信します。

13 サプライ品の注文

プリント カートリッジおよび HP 推奨の印刷用紙は、HP Web サイトでオンライン注文できます。

用紙や OHP フィルムなどのメディアの注文

HP プレミアム用紙、HP プレミアム プラスフォト用紙、HP プレミアム OHP フィルム、HP アイロン プリント紙 などのメディアを注文するときは、www.hp.com/jp/hho を参照してください。ページ上のオンラインストアをクリックします。

プリント カートリッジの注文

HP all-in-one 用のプリント カートリッジを注文するときは、www.hp.com/jp/hho を参照してください。ページ上のオンラインストアをクリックします。

ご使用の HP all-in-one では、次のプリント カートリッジがサポートされています。

プリント カートリッジ	HP 注文番号
HP 黒プリント カートリッジ	**#131**, 黒プリント カートリッジ
HP カラー プリント カートリッジ	**#134**, カラー プリント カートリッジ **#135**, カラー プリント カートリッジ
HP フォト プリント カートリッジ	**#138**, カラー フォト プリント カートリッジ

注記　プリント カートリッジの注文番号は、国/地域により異なります。本書に記載されている注文番号が HP all-in-one に取り付けられているプリント カートリッジの番号と一致しない場合、現在取り付けられているプリント カートリッジの番号を使用して、新しいプリント カートリッジを注文してください。

最寄りの HP 製品取扱店または www.hp.com/support でも、お住まいの国/地域で使用されているプリント カートリッジ注文番号を確認することができます。

14 HP all-in-one のメンテナンス

HP all-in-one では、メンテナンスはほとんど必要ありません。ガラス板とカバーの裏側に付いたほこりを掃除し、きれいな状態でコピーとスキャンができるようにしてください。適宜プリント カートリッジを交換、調整、またはクリーニングする必要があります。ここでは、HP all-in-one を最高の状態に保つための方法について説明します。必要に応じて簡単なメンテナンス手順を実行してください。

HP all-in-one のクリーニング

指紋、汚れ、髪の毛などのごみがガラス板やカバーの裏側に付着していると、品質が低下したり、「ページに合わせる」 などの特別な機能の精度に影響する可能性があります。きれいにコピーやスキャンをするには、ガラス板とカバーの裏側をクリーニングしてください。また、HP all-in-one の外側のほこりも拭き取ってください。

ガラス板のクリーニング

指紋、汚れ、髪の毛などのごみがガラス板に付着していると、パフォーマンスが低下したり、「ページに合わせる」 などの機能の精度に影響する可能性があります。

場合によっては、ガラス板だけでなく、自動ドキュメント フィーダ内の帯状のガラス部分もきれいにする必要があります。自動ドキュメント フィーダ内の帯状のガラス部分が汚れていると、印刷にインクの筋が入ることがあります。

ガラス板をクリーニングするには

1 HP all-in-one の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。

注記 電源ケーブルを抜くと、日付と時刻は消去されます。後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻の再設定が必要になります。メモリ内に保存されたファクスも消去されます。

2 非摩耗性のガラス クリーナで、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス板を拭きます。

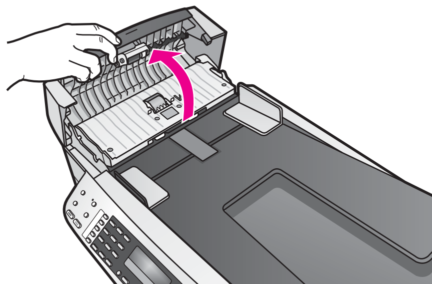


警告 研磨剤やアセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。ガラス板には液体を直に接触させないでください。液体がガラス板の下に入り込んで、本体を損傷させる可能性があります。

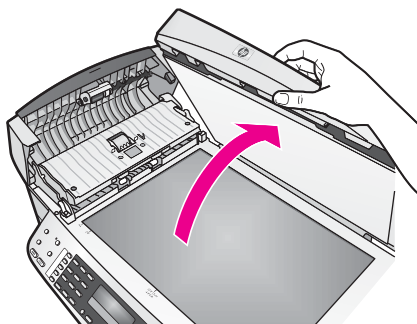
3 しみにならないよう、セーム革かセルロース スポンジでガラス板を拭きます。

自動ドキュメント フィーダ内の帯状のガラス部分をクリーニングするには

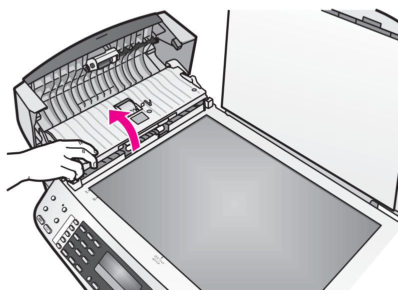
1 自動ドキュメント フィーダのカバーを上げます。



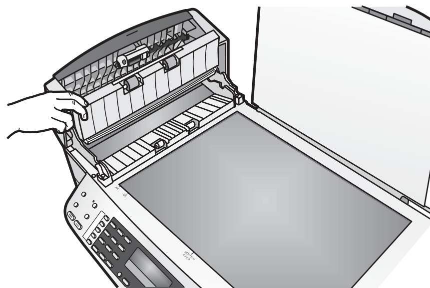
2 ガラス板に原稿をセットするようにカバーを持ち上げます。



3 自動ドキュメント フィーダ本体を持ち上げます。



自動ドキュメント フィーダの下に、帯状のガラス部分があります。



4　非摩耗性のガラス クリーナで、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス部分を拭きます。



警告　研磨剤やアセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。ガラス板には液体を直に接触させないでください。液体がガラス板の下に入り込んで、本体を損傷させる可能性があります。

5　自動ドキュメント フィーダ本体を下ろして、カバーを閉めます。
6　カバーを閉じます。

カバーの裏側のクリーニング

HP all-in-one のカバーの裏側にある白い原稿押さえの表面に、ほこりがたまることがあります。

1　HP all-in-one の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。
2　刺激性の少ない石鹸とぬるま湯で、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。
3　原稿押さえを軽く拭いて汚れを落とします。力を入れてこすらないでください。
4　セーム革あるいは柔らかい布でカバーの裏側を拭いて乾かしてください。



警告　カバーの裏側を傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

5　さらにクリーニングが必要な場合には、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返してから、湿らせた布でカバーの裏側に残ったアルコールを完全に拭き取ってください。



警告　HP all-in-one のガラス板または塗装部分にアルコールをこぼさないでください。プリンタが故障する可能性があります。

外側のクリーニング

柔らかい布か、または少し湿らせたスポンジで、外側のほこり、しみ、汚れなどを拭き取ります。HP all-in-one の内側のクリーニングは必要はありませ

ん。HP all-in-one のコントロール パネルや内側に液体がかからないようにしてください。

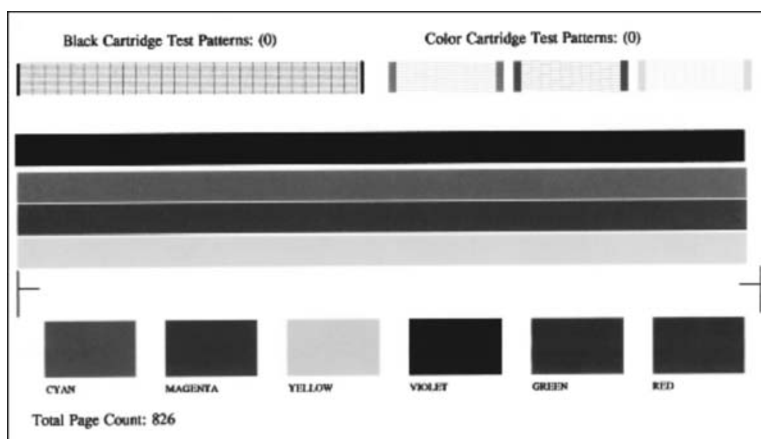


警告　HP all-in-one の塗装部品を傷めるので、コントロール パネル、ドキュメント フィーダ トレイ、カバー、その他本体の塗装部分には、アルコールやアルコールベースの洗浄液を使用しないでください。

セルフテスト レポートの印刷

印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジを交換する前に、セルフテスト レポートを印刷してください。このレポートには、プリンタ カートリッジなど、本体に関する役立つ情報があります。

1　給紙トレイに、A4 サイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2　「**セットアップ**」 ボタンを押します。
3　「**2**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「レポートの印刷」 が選択され、「セルフテスト レポート」 が選択されます。
HP all-in-one でセルフテスト レポートが印刷されます。このレポートから印刷時の問題の原因が分かることがあります。次に、レポートのインク テスト領域の例を示します。



4　テスト パターンが均一でグリッドがきちんと印刷されていることを確認します。
パターン上の複数の筋がずれて印刷される場合、ノズルに問題がある可能性があります。プリント カートリッジをクリーニングする必要があります。詳細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。
5　カラー ラインがページ幅いっぱいに印刷されていることを確認します。

黒いラインにかすれ、筋、線がある場合、または黒いラインが消えている場合、右側のスロットに入っている黒またはフォト プリント カートリッジに問題がある可能性があります。
残りの 3 本のラインのいずれかにかすれ、筋、線がある場合、またはいずれかのラインが消えている場合、左側のスロットに入っているカラー プリント カートリッジに問題がある可能性があります。

6 カラー ブロックが均一で、次の色が表示されていることを確認します。
シアン、マゼンタ、黄色、紫、緑、赤のカラー ブロックが表示されます。
カラー ブロックが消えている場合、またはブロックの色がくすんでいたり、ブロックの下のラベルと一致しない場合には、カラー プリント カートリッジのインクが切れている可能性があります。プリント カートリッジを交換してください。プリント カートリッジの交換方法ついては、プリント カートリッジの交換を参照してください。

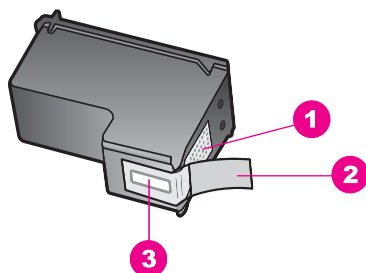
注記 正常なプリント カートリッジと不良プリント カートリッジテストによるテスト パターン、カラー ライン、カラー ブロッの例については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

プリント カートリッジのメンテナンス

HP all-in-one での印刷を常に美しく仕上げるには、簡単なメンテナンス作業を行う必要があります。ここでは、プリント カートリッジの取り扱い方法と交換、調整、およびクリーニングの手順について説明します。

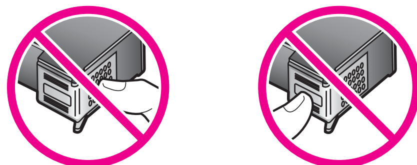
プリント カートリッジの取り扱い

プリント カートリッジを交換、またはクリーニングする前に、プリント カートリッジの部品の名前や取り扱い方を知っておく必要があります。



1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (取り付ける前にはがしてください)
3	テープの下にあるインク ノズル

ラベルを上にして、プリント カートリッジの黒いプラスチックの部分の横を持ちます。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。





警告 プリント カートリッジを落とさないように注意してください。破損して使用できなくなることがあります。

プリント カートリッジの交換

プリント カートリッジのインク レベルが低下すると、コントロール パネル ディスプレイにメッセージが表示されます。

注記 プリント カートリッジの推定インク残量は、HP all-in-one に付属の「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して確認することもできます。「**HP ディレクタ**」からインク レベルを確認する方法については、ソフトウェアに付属の 「**HP Image Zone ヘルプ**」 (オンスクリーン) を参照してください。

インク レベルの低下を警告するメッセージが、コントロール パネル ディスプレイに表示されたら、プリント カートリッジを交換してください。文字がかすれたり、プリント カートリッジが原因で印刷の品質に問題が生じた場合も、プリント カートリッジを交換してください。

ヒント 黒プリント カートリッジをフォト プリント カートリッジに交換して、高品質のカラー写真を印刷する場合は、次の手順を使用できます。

ご使用の HP all-in-one でサポートされているプリント カートリッジの注文番号は、プリント カートリッジの注文を参照してください。HP all-in-one 用のプリント カートリッジを注文するときは、www.hp.com/jp/hho を参照してください。ページ上のオンラインストアをクリックします。

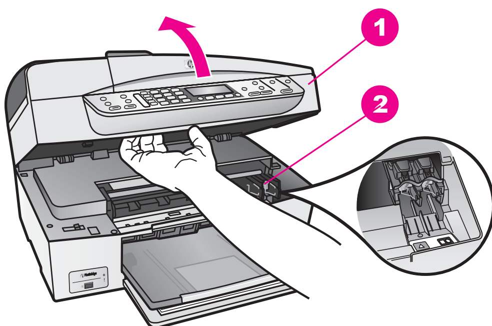
プリント カートリッジを交換するには

1 HP all-in-one の電源がオンになっていることを確認します。



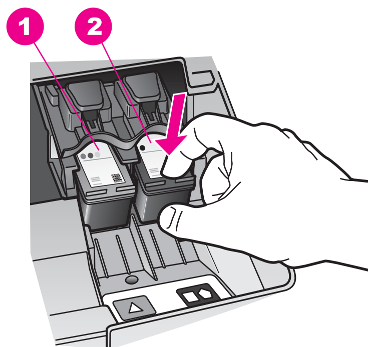
警告　プリント カートリッジを交換する場合、HP all-in-one の電源がオフになっていると、プリント キャリッジのアクセス ドアを開けても、HP all-in-one 内のプリント カートリッジの固定は解除されません。プリント カートリッジが右側の交換位置に移動していない状態で取り外しを試みると、HP all-in-one が損傷することがあります。

2　プリント キャリッジのアクセス ドアを本体前面の中央から持ち上げて、所定の位置で止まるまで開きます。
プリント キャリッジが HP all-in-one の右端に移動します。



1	プリント キャリッジのアクセス ドア
2	プリント キャリッジ

3　プリント キャリッジが停止して静かになってから、プリント カートリッジを静かに押して外します。
カラー プリント カートリッジを交換する場合は、左側のスロットからプリント カートリッジを取り外します。
黒またはフォト プリント カートリッジを交換する場合は、右側のスロットからプリント カートリッジを取り外します。

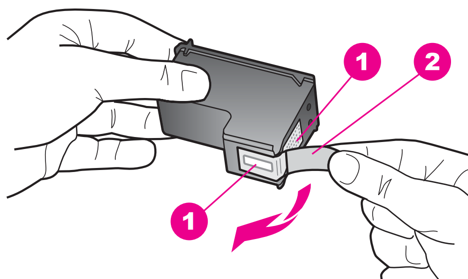


1	カラー プリント カートリッジのプリント カートリッジ スロット
2	黒およびフォト プリント カートリッジのプリント カートリッジ スロット

4 プリント カートリッジを手前に引き、スロットから外します。

5 黒プリント カートリッジを取り外してフォト プリント カートリッジを取り付ける場合には、取り外した黒プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに入れて保存してください。詳細については、プリント カートリッジ ケースの使用を参照してください。
インク残量の低下やインク切れが原因でプリント カートリッジを交換する場合、プリント カートリッジをリサイクルしてください。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、以下の Web サイトを参照してください。
www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

6 新しいプリント カートリッジを包装からあけた後、黒いプラスチックの部分以外に触れないように注意して、ピンクのつまみからプラスチック テープをゆっくりはがします。



1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (取り付ける前にはがしてください)
3	テープの下にあるインク ノズル

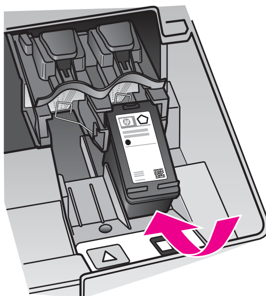


注意　銅色の接点やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。

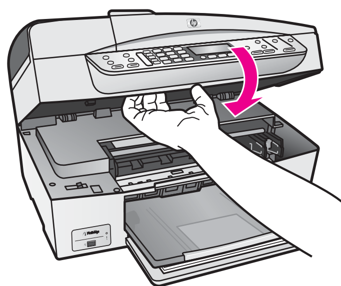




7　新しいプリント カートリッジを、空きスロットにスライドさせながら取り付けます。きちんとはまるまでプリント カートリッジを押し込んでください。
取り付けるプリント カートリッジのラベルに白い三角形が付いている場合は、プリント カートリッジを左側のスロットにスライドさせながら取り付けます。スロットのラベルは緑色で、白色の三角形が付いています。
取り付けるプリント カートリッジのラベルに白い四角形または五角形が付いている場合は、プリント カートリッジを右側のスロットにスライドさせながら挿入します。スロットのラベルは黒色で、白色の四角形および五角形が付いています。



8　プリント キャリッジのアクセス ドアを閉じます。



フォト プリント カートリッジの使用

HP all-in-one でフォト プリント カートリッジを使用すると、カラー写真の印刷またはコピーが美しく仕上がります。黒プリント カートリッジを取り外し、代わりにフォト プリント カートリッジを取り付けてください。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジの両方をセットすると、6 色インク システムになり、写真がよりきれいに印刷できます。

通常の文書を印刷するときは、黒プリント カートリッジと取り替えてください。使用していないプリント カートリッジは、プリント カートリッジ ケースに入れて安全に保管してください。

- フォト プリント カートリッジの購入方法については、プリント カートリッジの注文を参照してください。
- プリント カートリッジの交換方法ついては、プリント カートリッジの交換を参照してください。
- プリント カートリッジ ケースの使用方法については、プリント カートリッジ ケースの使用を参照してください。

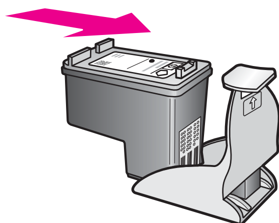
プリント カートリッジ ケースの使用

HP all-in-one の箱にプリント カートリッジ ケースが付属してくる国/地域もあります。プリント カートリッジにも HP all-in-one にもプリント カートリッジ ケースが付いていない場合は、HP サポート センターで注文できます。www.hp.com/support を参照してください。

プリント カートリッジ ケースは、使用していないプリント カートリッジを安全に保管できて、乾燥を防止できるように設計されています。後でもう一度使用するつもりで、HP all-in-one からプリント カートリッジを取り外した場合、そのプリント カートリッジは必ずプリント カートリッジ ケースに入れて保管してください。たとえば、フォトおよびカラー プリント カートリッジを使用して高品質の写真を印刷するために、黒プリント カートリッジをいったん取り外す場合、黒プリント カートリッジはプリント カートリッジ ケースに入れて保管してください。

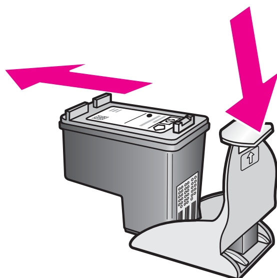
プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに入れるには

➔ プリント カートリッジを少し角度を付けてスライドさせながら、プリント カートリッジ ケースに差し込み、パチンと音がするまで押し込みます。



プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースから取り外すには

➔ プリント カートリッジ ケースの上部を後方に押し下げ、プリント カートリッジの固定を解除します。その後、プリント カートリッジ ケースからプリント カートリッジをスライドさせて取り出します。



プリント カートリッジの調整

HP all-in-one では、プリント カートリッジを取り付けたり交換すると、カートリッジの調整のメッセージが表示されます。プリント カートリッジの調整は、本体のコントロール パネルから、あるいはコンピュータの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、随時実行することができます。プリント カートリッジを調整することで、高品質の出力が得られます。

注記 プリント カートリッジを取り外した後、もう一度同じカートリッジを HP all-in-one に取り付けた場合には、プリント カートリッジの調整のメッセージは表示されません。HP all-in-one は、そのプリント カートリッジの調整値を記憶しているので、プリント カートリッジを再調整する必要はありません。

メッセージに従って本体のコントロール パネルからプリント カートリッジを調整するには

➔ A4 サイズの未使用の白い普通紙が、給紙トレイにセットされていることを確認してから、「**OK**」 ボタンを押します。
HP all-in-one でプリント カートリッジ調整シートが印刷され、プリント カートリッジが調整されます。

注記 プリント カートリッジを調整するときに、色付きの用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。その場合は、給紙トレイに未使用の白い普通紙をセットしてから、調整をやり直してください。

調整にもう一度失敗した場合、センサーまたはプリント カートリッジに問題がある可能性があります。HP サポート センターにお問い合わせください。www.hp.com/support を参照してください。

任意の時点で本体のコントロール パネルからカートリッジを調整するには

1 給紙トレイに、A4 サイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
3 「**6**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「ツール」 が選択され、「カートリッジの調整」 が選択されます。
HP all-in-one でプリント カートリッジ調整シートが印刷され、プリント カートリッジが調整されます。

HP all-in-one に付属の 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、プリント カートリッジを調整する方法については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

プリント カートリッジのクリーニング

セルフテスト レポートでカラー ラインのいずれかに筋や白線が表示されたときに、この機能を使用してください。不必要にプリント カートリッジのクリーニングをしないでください。インクの無駄になり、インク ノズルの寿命を縮めます。

本体のコントロール パネルからプリント カートリッジをクリーニングするには

1 給紙トレイに、A4 サイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
3 「**6**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「ツール」 が選択され、「カートリッジ クリーニング」 が選択されます。
HP all-in-one で 1 枚の用紙が印刷されます。
プリント カートリッジをクリーニングしても、コピーや印刷がきれいに仕上がらない場合は、プリント カートリッジを交換する前に、問題のプリント カートリッジの接点をクリーニングしてください。プリント カートリッジの接点をクリーニングする方法については、プリント カートリッジの接点のクリーニングを参照してください。プリント カートリッジ

の交換方法については、プリント カートリッジの交換を参照してください。

HP all-in-one に付属の 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、プリント カートリッジをクリーニングする方法については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

プリント カートリッジの接点のクリーニング

プリント カートリッジの接点のクリーニングは、プリント カートリッジのクリーニングと調整をしても、コントロール パネル ディスプレイに、プリント カートリッジの確認のメッセージが繰り返し表示される場合にのみ実行してください。

プリント カートリッジの接点をクリーニングする前に、プリント カートリッジを取り外し、プリント カートリッジの接点に何も付着していないことを確認してから取り付け直してください。プリント カートリッジの確認のメッセージがその後も表示される場合、プリント カートリッジの接点をクリーニングしてください。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布
- 蒸留水、ろ過水、瓶詰水のいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれているおそれがあります。)



警告　プリント カートリッジの接点のクリーニングには、プラテン クリーナやアルコールを**使用しないでください**。プリント カートリッジや HP all-in-one を傷める可能性があります。

プリント カートリッジの接点をクリーニングするには

1 HP all-in-one の電源を入れ、プリント キャリッジのアクセス ドアを開きます。
プリント キャリッジが HP all-in-one の右端に移動します。

2 プリント キャリッジが停止して静かになってから、HP all-in-one の後部から電源コードを抜きます。

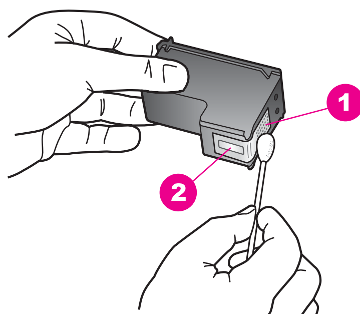
注記　電源ケーブルを抜くと、日付と時刻は消去されます。後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻の再設定が必要になります。詳細については、日付と時刻の設定を参照してください。メモリ内に保存されたファクスも消去されます。

3 プリント カートリッジを静かに下げて固定を解除してから、カートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。

注記　両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。プリント カートリッジを取り外してクリーニングする作業は、一

度に 1 つずつしてくださいプリント カートリッジを HP all-in-one から取り外した状態で 30 分以上放置しないでください。

4 プリント カートリッジの接点に、インクや汚れが付着していないか調べます。
5 きれいなスポンジ棒または糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。
6 プリント カートリッジの横を持ちます。
7 銅色の接点のみをクリーニングします。インク ノズル部分をクリーニングする方法については、インク ノズルの周辺部のクリーニングを参照してください。



1	銅色の接点
2	インク ノズル (クリーニングしないでください)

8 プリント カートリッジを、スロットにスライドさせながら挿入します。きちんとはまるまでプリント カートリッジを押し込んでください。
9 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業をします。
10 プリント キャリッジのアクセス ドアをゆっくり閉め、HP all-in-one の後部に電源コードを差し込みます。

インク ノズルの周辺部のクリーニング

ほこりっぽい環境で HP all-in-one を使用していると、ほこり、髪の毛、カーペットや衣服の繊維などの小さな汚れが本体の中にたまることがあります。プリント カートリッジに汚れが付着すると、印刷したページにインクの筋やにじみが出ることがあります。インクの筋は、ここで説明した手順でインク ノズルをクリーニングすると解消されることがあります。

注記 コントロール パネルまたは 「**HP Image Zone**」 を使用してプリント カートリッジをクリーニングしても、印刷したページの筋やにじみが消えない場合にのみ、インク ノズルの周辺をクリーニングします。詳細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布
- 蒸留水、ろ過水、瓶詰水のいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれているおそれがあります。)

警告 銅色の接点やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。

インク ノズルの周辺部分をクリーニングするには

1 HP all-in-one の電源を入れ、プリント キャリッジのアクセス ドアを開きます。
プリント キャリッジが HP all-in-one の右端に移動します。

2 プリント キャリッジが停止して静かになってから、HP all-in-one の後部から電源コードを抜きます。

注記 電源ケーブルを抜くと、日付と時刻は消去されます。後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻の再設定が必要になります。詳細については、日付と時刻の設定を参照してください。メモリ内に保存されたファクスも消去されます。

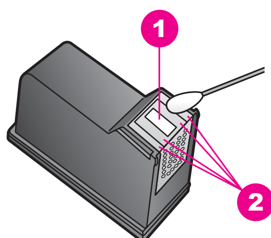
3 プリント カートリッジを静かに下げて固定を解除してから、カートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。

注記 両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。プリント カートリッジを取り外してクリーニングする作業は、一度に 1 つずつしてくださいプリント カートリッジを HP all-in-one から取り外した状態で 30 分以上放置しないでください。

4 紙の上に、インク ノズルを上にしてプリント カートリッジを置きます。

5 きれいなスポンジ棒を蒸留水で軽く湿らせます。

6 下図のように、スポンジ棒でインク ノズル周辺の表面と端部をクリーニングします。



1	ノズル プレート (クリーニングしないでください)
2	インク ノズル周辺の表面と端部

HP all-in-one のメンテナンス



警告　ノズル プレートはクリーニングしないでください。

7　プリント カートリッジを、スロットにスライドさせながら挿入します。きちんとはまるまでプリント カートリッジを押し込んでください。
8　必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業をします。
9　プリント キャリッジのアクセス ドアをゆっくり閉め、HP all-in-one の後部に電源コードを差し込みます。

本体の設定の変更

お好みに応じて、HP all-in-one のスクロール速度およびプロンプト遅延時間の設定を変更することができます。また、本体の設定を、購入時の設定に戻すこともできます。この場合、新しく設定したデフォルト値はすべて消去されます。

スクロール速度の設定

「スクロール速度」 オプションを使用すると、コントロール パネル ディスプレイの右から左にテキスト メッセージがスクロールする際の速度を調整できます。たとえば、「成功。ファクステストの詳細はレポート参照。[OK] を押して続行」 というメッセージは、コントロール パネル ディスプレイに収まらないので、スクロールする必要があります。スクロールによって、メッセージ全体を読むことができるようになります。スクロールの設定値は、「標準」、「はやい」、「おそい」 のいずれかから選択できます。デフォルトの設定は 「標準」 です。

1　「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2　「**7**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
　「プリファレンス」 が選択され、「スクロール速度の設定」 が選択されます。
3　▶ を押してスクロール速度を選択し、「**OK**」 ボタンを押します。

プロンプト遅延時間の設定

「プロンプト遅延時間」 オプションを使用すると、指示メッセージが表示されるまでの時間を管理できます。たとえば、[コピー] の 「メニュー」 を押した後、他のボタンを押す前にプロンプト遅延時間が過ぎると、コントロール パネル ディスプレイに 「詳細オプションを選択するには [メニュー] を押してください」 というメッセージが表示されます。設定値は 「標準」、「はやい」、「おそい」、「オフ」 のいずれかから選択できます。「オフ」 を選択すると、コントロール パネル ディスプレイにヒントが表示されなくなります。ただし、インク レベルの低下に関する警告やエラー メッセージなどの他のメッセージは引き続き表示されます。

1　「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2　「**7**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。

「プリファレンス」 が選択され、「プロンプト遅延時間の設定」 が選択されます。

3 ▶ を押して遅延時間を選択し、「**OK**」 ボタンを押します。

工場出荷時の初期設定の復元

HP all-in-one の設定は、工場出荷時の初期設定 (購入したときの設定) に戻すことができます。

注記 工場出荷時の初期設定に戻しても、スキャン設定、言語設定、および国と地域の設定に加えた変更には影響しません。

この作業は、本体のコントロール パネルからのみ実行できます。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。

2 「**6**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「ツール」 が選択され、「出荷時デフォルト値に戻す」 が選択されます。

15 トラブルシューティング

ここでは、HP all-in-one のトラブルシューティング情報について説明します。インストールおよび設定に関する問題と動作に関する事項について詳しく説明します。トラブルシューティングの詳細については、オンスクリーン「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

HP all-in-one ソフトウェアをコンピュータにインストールする前に HP all-in-one を USB ケーブルでコンピュータに接続すると、多くの問題が発生します。ソフトウェアのインストール画面でコンピュータへの接続を指示される前に、HP all-in-one をコンピュータに接続した場合、次の手順に従ってください。

1 コンピュータから USB ケーブルを外します。
2 ソフトウェアをアンインストールします (すでにインストールした場合)。
3 コンピュータを再起動します。
4 HP all-in-one の電源をオフにし、1 分間経過してから、電源をもう一度オンにします。
5 HP all-in-one ソフトウェアを再インストールします。ソフトウェア インストール画面で指示されるまで、USB ケーブルはコンピュータに接続しないでください。

ソフトウェアのインストールとアンインストールの詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストール を参照してください。

ここでは、次の項目について説明します。

- 「**セットアップのトラブルシューティング**」: ハードウェアのセットアップ、ソフトウェアのインストール、およびファクスのセットアップのトラブルシューティングについて説明します。
- 「**動作に関するトラブルシューティング**」: HP all-in-one の機能を使用して通常のタスクを実行しているときに発生する問題について説明します。
- 「**デバイスの更新**」: HP カスタマ サポートからのアドバイスまたはコントロール パネル ディスプレイのメッセージに基づいて、HP サポート Web サイトにアクセスし、ご使用のデバイスの更新に必要なデータを入手することができます。ここでは、ご使用のデバイスの更新について説明します。

HP サポートに問い合わせる前に

お困りの場合、次の手順に従ってください。

1 HP all-in-one に付属のマニュアルを読んで、問題の解決法を確認します。
   – 「**セットアップ ガイド**」：『セットアップ ガイド』では、HP all-in-one のセットアップ方法を説明します。
   – 「**ユーザー ガイド**」：本書が『ユーザー ガイド』です。『ユーザーガイド』では、HP all-in-one の基本機能を紹介し、HP all-in-one をコンピュータに接続せずに使用する方法やセットアップおよび動作に関するトラブルシューティング、およびデバイスの更新について説明します。
   – 「**HP Image Zone ヘルプ**」：オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 では、HP all-in-one をコンピュータと接続して使用する方法や『ユーザー ガイド』に記載されていないトラブルシューティング情報を紹介します。
   – 「**Readme ファイル**」：Readme ファイルでは、インストールの際に考えられる問題とシステム要件について説明します。詳細については、Readme ファイルの表示を参照してください。

2 マニュアル類を参照しても問題を解決できない場合、www.hp.com/support を参照して、次のことを実行してください。
   – オンライン サポート ページにアクセスする
   – 質問を電子メールにまとめて、HP 宛てに送信する
   – オンライン サポートを使用して、HP の専門技術者に問い合わせる
   – ソフトウェアの更新がないか確認する

   サポートのオプションと提供の可否は、製品、国/地域、および言語に応じて異なります。

3 オンスクリーン ヘルプまたは HP の Web サイトを使用しても問題を解決できない場合、お住まいの国/地域の HP サポートまでお電話ください。詳細については、HP サポートの利用を参照してください。

Readme ファイルの表示

インストール時に考えられる問題の詳細やシステム要件については、Read Me ファイルを参照してください。

- Windows の場合、Windows のタスクバーから 「**スタート**」 をクリックし、「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」、「**HP**」、「**HP Officejet 6200 series all-in-one**」 の順でポイントして、「**Readme**」 をクリックすると、Readme ファイルを表示することができます。 まだソフトウェアをインストールしてない状態で Readme ファ

イルを参照する場合は、次の Macintosh の場合と同じ手順に従ってください。

- Macintosh の OS 9 または OS X の場合は、HP all-in-one ソフトウェア CD-ROM の最上位のフォルダにあるアイコンをダブルクリックすると、Readme ファイルを表示することができます。

セットアップのトラブルシューティング

ここでは、ソフトウェアとハードウェアのインストールとセットアップ、および HP all-in-one のファクス機能に関連する最も一般的な問題について、インストールと設定のトラブルシューティングのヒントを紹介します。

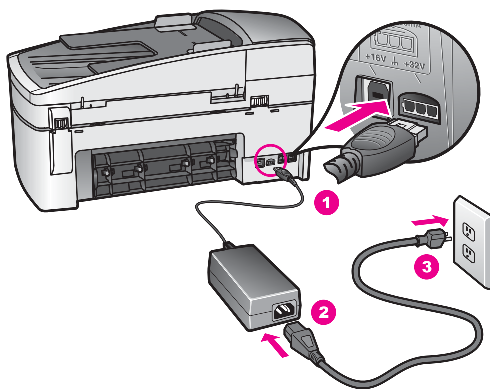
ハードウェアのセットアップ時のトラブルシューティング

ここに記載されている情報は、HP all-in-one ハードウェアのセットアップ時に発生した問題を解決する際に使用してください。

HP all-in-one の電源がオンにならない

解決方法

各電源コードがしっかりと接続されていることを確認した後、HP all-in-one の電源がオンになるまで数秒待ちます。HP all-in-one の電源を初めてオンにする場合は、1 分ほどかかることがあります。電源アダプタのランプが緑色に点灯したことを確認してください。また、HP all-in-one がテーブルタップに接続されている場合は、テーブルタップの電源がオンになっていることも確認してください。



USB ケーブルを接続したが、コンピュータで HP all-in-one を使用する際に問題が発生する

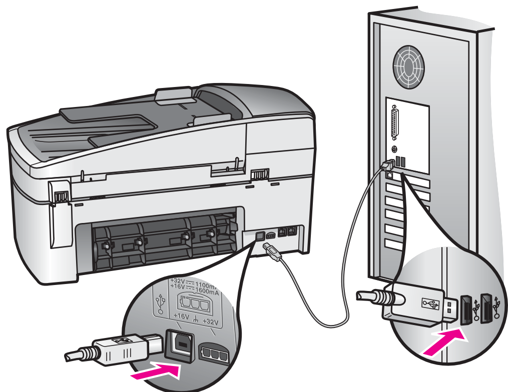
解決方法

USB ケーブルを接続する前に、HP all-in-one に付属するソフトウェアをインストールする必要があります。USB ケーブルは、インストール時に

トラブルシューティング

画面で指示があるまで接続しないでください。画面で指示される前に USB ケーブルを接続すると、エラーの原因になります。

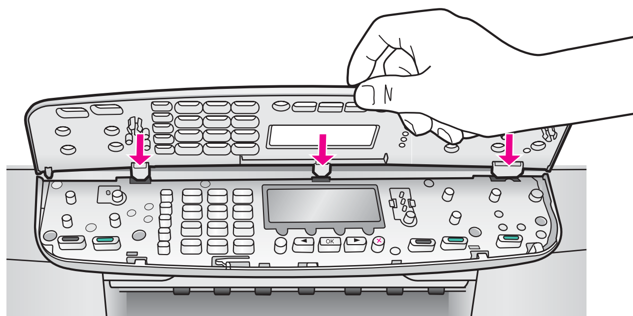
ソフトウェアのインストールが完了したら、USB ケーブルを使って、簡単にコンピュータを HP all-in-one に接続できます。USB ケーブルの一方の端をコンピュータの後部に接続し、他方の端を HP all-in-one の後部に接続します。コンピュータの後部にある任意の USB ポートに接続できます。



コントロール パネル オーバーレイの取り付け時に、コントロール パネル ディスプレイにメッセージが表示される

解決方法

コントロール パネル オーバーレイが取り付けられていないか、その取り付け方が正しくない可能性があります。HP all-in-one 上のボタンにオーバーレイを合わせ、パチンと音がするまで押し込みます。



コントロール パネル ディスプレイに表示される言語が正しくない

解決方法

言語および国/地域は通常、HP all-in-one を初めてセットアップする際に設定します。ただし、以下の手順に従うと、その設定値をいつでも変更できます。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**7**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「**プリファレンス**」 が選択されるので、次に 「**言語と国/地域の設定**」 を選択します。
言語が表示されます。◀ および ▶ 矢印を押すと、言語の一覧をスクロールできます。
3 目的の言語が選択されたら、その指定番号を押します。
4 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 「**1**」、[いいえ] の場合は 「**2**」 を押します。
選択された言語に対応する国/地域が表示されます。◀ または ▶ を押して、一覧をスクロールします。
5 国/地域を選択し、その指定番号を押します。
6 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 「**1**」、[いいえ] の場合は 「**2**」 を押します。

コントロール パネル ディスプレイのメニューに表示される単位が正しくない

解決方法

HP all-in-one のセットアップ時に、国/地域の設定を正しく選択しなかった可能性があります。選択する国/地域の設定に応じて、コントロール パネル ディスプレイに表示される用紙サイズが決定されます。

国/地域を変更するには、もう一度デフォルトの言語を設定する必要があります。言語および国/地域は通常、HP all-in-one を初めてセットアップする際に設定します。ただし、以下の手順に従うと、その設定値をいつでも変更できます。

1 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**7**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「**プリファレンス**」 が選択されるので、次に 「**言語と国/地域の設定**」 を選択します。
言語の一覧が表示されます。◀ および ▶ 矢印を押すと、言語の一覧をスクロールできます。
3 目的の言語が選択されたら、「**OK**」 を押します。
4 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 「**1**」、[いいえ] の場合は 「**2**」 を押します。
選択された言語に対応する国/地域が表示されます。◀ または ▶ を押して、一覧をスクロールします。
5 国/地域を選択します。
6 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 「**1**」、[いいえ] の場合は 「**2**」 を押します。

プリント カートリッジの位置を調整するよう示すメッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示される

解決方法

HP all-in-one では、新しいプリント カートリッジを取り付けるたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。詳細については、プリント カートリッジの調整を参照してください。

注記　プリント カートリッジを取り外した後、もう一度同じカートリッジを HP all-in-one に取り付けた場合には、プリント カートリッジの調整のメッセージは表示されません。HP all-in-one は、そのプリント カートリッジの調整値を記憶しているので、プリント カートリッジを再調整する必要はありません。

プリント カートリッジの位置調整に失敗したことを示すメッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示される

原因

給紙トレイに間違った種類の用紙がセットされています。

解決方法

プリント カートリッジの調整を行うときに給紙トレイに色付き用紙をセットしていると、調整に失敗します。レターまたは A4 の白い普通紙を給紙トレイにセットして、カートリッジの調整をもう一度行ってください。調整に再度失敗した場合、センサーまたはプリント カートリッジに問題がある可能性があります。

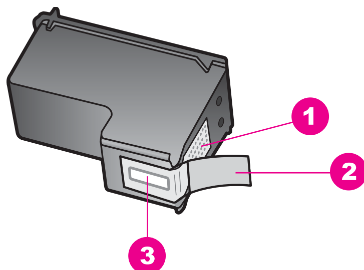
HP サポート センターにお問い合わせください。お問い合わせ先については、日本 HP カスタマ サポートへの問い合わせ を参照してください。

原因

保護テープがプリント カートリッジをふさいでいます。

解決方法

各プリント カートリッジを確認してください。テープがインク ノズルをふさいでいる場合、ピンクのつまみを持ってテープを慎重に取り除いてください。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。



1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (取り付ける前にはがしてください)
3	テープの下にあるインク ノズル





もう一度プリント カートリッジを挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。

原因

プリント カートリッジの接点がプリント キャリッジの接点に接触していません。

解決方法

プリント カートリッジを取り出して、もう一度挿入してください。プリント カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。

原因

プリント カートリッジまたはセンサーに問題があります。

解決方法

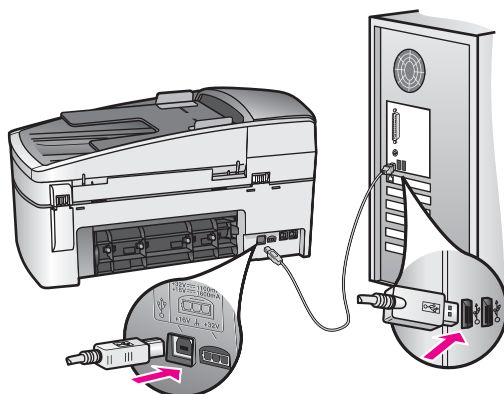
HP サポート センターにお問い合わせください。お問い合わせ先については、日本 HP カスタマ サポートへの問い合わせ を参照してください。

HP all-in-one で印刷できない

解決方法

HP all-in-one とコンピュータが互いに通信できない場合は、次のことを行ってください。

- HP all-in-one のプリント キューが一時停止 (Windows の場合) または停止 (Macintosh の場合) していないことを確認します。一時停止または停止している場合は、適切な設定を選択して印刷を再開してください。プリント キューへのアクセスの詳細については、コンピュータにインストールしたオペレーティング システムに付属のマニュアルを参照してください。
- USB ケーブルを確認します。古いケーブルを使用している場合は、正しく動作しないことがあります。別の製品に接続し、USB ケーブルが機能するかどうかを確認してください。問題が発生したら、USB ケーブルを交換する必要があります。また、USB ケーブルの長さが 3 メートル 以下であることを確認してください。
- コンピュータで USB が使用可能であることを確認します。Windows 95 や Windows NT など、一部のオペレーティング システムは USB 接続をサポートしていません。詳細については、ご使用のオペレーティング システムに付属するマニュアルを参照してください。
- HP all-in-one からコンピュータまでの接続状態を確認します。USB ケーブルが HP all-in-one の後部の USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また USB ケーブルのもう一方の端がコンピュータの USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。USB ケーブルを正しく接続した後、HP all-in-one の電源を入れ直してください。



- 他のプリンタやスキャナを確認します。コンピュータから古い製品の接続を外さなければならない場合があります。

- 接続を確認したら、コンピュータを再起動してください。HP all-in-one の電源を切って、入れ直します。
- 必要ならば、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアをアンインストールしてから、インストールし直します。詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

HP all-in-one のセットアップとコンピュータへの接続方法については、HP all-in-one に付属のセットアップ ガイドを参照してください。

紙詰まりまたはキャリッジのブロックに関するメッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示される

解決方法

紙詰まりやキャリッジのブロックに関するエラー メッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示される場合は、HP all-in-one の内部に梱包材が残っている可能性があります。プリント キャリッジのアクセス ドアを開きます。オレンジ色の出荷用ロックが、まだ HP all-in-one の左側に付いている可能性もあります。出荷用ロックを取り外してください。

ソフトウェアのインストール時のトラブルシューティング

ソフトウェアのインストール時に問題が発生した場合は、以下の項目を参照して解決策を探してください。ハードウェアのセットアップ時に問題が検出された場合は、ハードウェアのセットアップ時のトラブルシューティングを参照してください。

HP all-in-one ソフトウェアの通常のインストール時は、以下の処理が実行されます。

1 HP all-in-one ソフトウェアの CD-ROM が自動的に実行される
2 ソフトウェアがインストールされる。
3 一連のファイルがハード ドライブにコピーされる
4 HP all-in-one をコンピュータに接続するよう要求される
5 緑色の OK とチェック マークがインストール ウィザードに表示される
6 コンピュータを再起動するよう要求される (XP では再起動しない場合もあります。)
7 ファクス セットアップ ウィザードが実行される
8 登録プロセスが実行される

上のいずれかの処理が実行されない場合は、インストールに問題がある可能性があります。コンピュータのインストールをチェックするには、次のことを確認します。

- 「**HP ディレクタ**」 を起動し、「**画像のスキャン**」、「**ドキュメント スキャン**」、「**ファクス送信**」、および 「**HP ギャラリ**」 の各アイコンが表示されることを確認します。「**HP ディレクタ**」 の起動については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。アイコンがすぐに表示されない場合は、ご使用のコンピュータに HP all-in-one が接続されるまで数分待たなければならないこ

ともあります。または、HP ディレクタ のアイコンのいくつかが表示されない を参照してください。

注記 標準インストールではなく最小インストールを実行した場合、「**HP Image Zone**」 および 「**コピーの作成**」 はインストールされず、「**HP ディレクタ**」 では使用できません。

- [プリンタ] ダイアログ ボックスを開いて、HP all-in-one が一覧に表示されることを確認します。
- Windows タスクバーの右端のシステム トレイに HP all-in-one のアイコンがあるか確認します。表示されていれば、HP all-in-one が待機中であることを示しています。

コンピュータの CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入したが、何も実行されない (Windows のみ)

解決方法

次の手順に従ってください。

1. Windows の 「**スタート**」 メニューから 「**ファイル名を指定して実行**」 をクリックします。
2. 「**ファイル名を指定して実行**」 ダイアログ ボックスで、「**d:\setup.exe**」 と入力 (CD-ROM ドライブにドライブ文字 d が割り当てられていない場合は、該当するドライブ文字を入力してください) し、「**OK**」 をクリックします。

最小システム チェック画面が表示される

解決方法

ご使用のシステムが、ソフトウェアのインストールに必要な最小の要件を満たしていません。「**詳細**」 をクリックして、具体的な問題を確認し、ソフトウェアをインストールする前に問題を解決します。

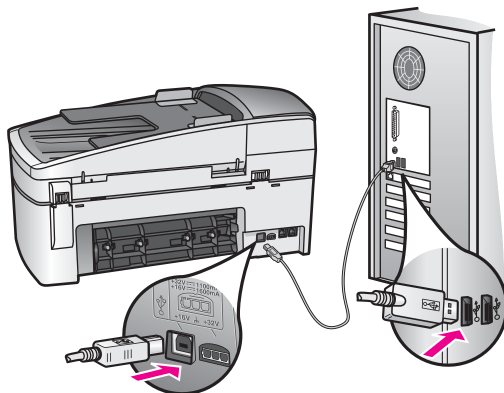
赤の X が USB 接続プロンプトに表示される

解決方法

通常は、プラグ アンド プレイが成功したことを示す緑のチェック記号が表示されます。赤の X は、プラグ アンド プレイ が失敗したことを示します。

次の手順に従ってください。

1. コントロール パネル オーバーレイがしっかりと取り付けられていることを確認し、HP all-in-one の電源ケーブルをいったん抜き、もう一度差し込みます。
2. USB ケーブルおよび電源ケーブルが接続されていることを確認します。



3　「**再試行**」 をクリックして、プラグ アンド プレイ セットアップを再試行します。プラグ アンド プレイ セットアップが機能しない場合は、次の手順に進みます。
4　USB ケーブルが正しくセットアップされていることを以下のようにして確認します。
   – USB ケーブルを、いったん抜き、もう一度差し込みます。
   – USB ケーブルを、キーボードや電源の入っていないハブに接続しないでください。
   – USB ケーブルは、3 m 以下の長さにしてください。
   – お使いのコンピュータに複数の USB デバイスが接続されている場合は、インストール中、ほかのデバイスの接続を解除した方がよい場合もあります。
5　インストール作業を継続し、指示されたらコンピュータを再起動します。「**HP ディレクタ**」 を起動し、必須のアイコン (「**画像のスキャン**」、「**ドキュメント スキャン**」、「**ファクス送信**」、および「**HP ギャラリ**」) が表示されることを確認します。
6　必須のアイコンが表示されない場合は、本ソフトウェアをいったん削除した後、再インストールしてください。詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

不明なエラーが発生したことを示すメッセージが出力される

解決方法

インストールを引き続き実行してみてください。エラーが解消されない場合、インストール作業をいったん中止し、もう一度やり直して、画面の指示に従ってください。エラーが発生した場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。
HP all-in-one のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP all-in-one プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使用して、該当するファイルを正しく削除してください。

詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

「HP ディレクタ」 のアイコンのいくつかが表示されない

必須アイコン (「**画像のスキャン**」、「**ドキュメント スキャン**」、「**ファクス送信**」、および 「**HP ギャラリ**」) が表示されない場合、インストールが完了していない可能性があります。

解決方法

インストールが完了していない場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。HP all-in-one のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP all-in-one プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使用して、該当するファイルを正しく削除してください。詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

ファクス ウィザードが起動しない

解決方法

次の手順に従って、ファクス ウィザードを起動します。

1. 「**HP ディレクタ**」 を起動します。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。
2. 「**設定**」 メニューをクリックし、「**ファクスの設定とセットアップ**」 を選択して、次に 「**ファクス セットアップ ウィザード**」 をクリックします。

登録画面が表示されない (Windows のみ)

解決方法

➔ Windows の場合、Windows のタスクバーから [スタート] をクリックし、「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」 (XP)、「**HP**」、「**HP Officejet 6200 series all-in-one**」 の順でポイントして、「**製品登録**」 をクリックすると、登録画面を表示することができます。

システム トレイに 「デジタル イメージング モニタ」 が表示されない (Windows のみ)

解決方法

システム トレイにデジタル イメージング モニタが表示されない場合は、「**HP ディレクタ**」 を起動して、必須アイコンがそこに表示されるかどうかを確認します。「**HP ディレクタ**」 の起動については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

「**HP ディレクタ**」 で必須のアイコンが表示されない場合は、HP ディレクタ のアイコンのいくつかが表示されないを参照してください。

通常、システム トレイはデスクトップの右下隅に表示されます。



ソフトウェアのアンインストールと再インストール

インストールが完了していない場合、またはソフトウェア インストール画面で指示される前に USB ケーブルをコンピュータに接続した場合、ソフトウェアをいったんアンインストールしてから、再インストールする必要があります。HP all-in-one のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP all-in-one プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使用して、該当するファイルを正しく削除してください。

Windows、Macintosh に関係なく、再インストールには 20 分 ～ 40 分くらいかかることがあります。Windows コンピュータからソフトウェアをアンインストールするには、次の 3 つの方法があります。

Windows コンピュータからアンインストールするには (方法 1)

1 ご使用のコンピュータから HP all-in-one の接続を解除します。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。
2 Windows のタスクバーから 「**スタート**」 をクリックし、「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」 (XP)、「**HP**」、「**HP Officejet 6200 series all-in-one**」 の順にポイントし、「**アンインストール**」 をクリックします。
3 画面上の指示に従って操作します。
4 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、「**いいえ**」 をクリックします。
共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなる可能性があります。
5 コンピュータを再起動します。

注記 コンピュータを再起動する前に HP all-in-one の接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。

6 ソフトウェアを再インストールするには、HP all-in-one CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入し、画面の指示と HP all-in-one に付属の『セットアップ ガイド』に記載されている指示に従います。

ソフトウェアのインストールが完了すると、Windows のシステム トレイに [ステータス モニタ] アイコンが表示されます。

ソフトウェアが正しくインストールされていることを確認するには、デスクトップ上にある **「HP ディレクタ」** のアイコンをダブルクリックしてください。**「HP ディレクタ」** に主要なアイコン (**「画像のスキャン」**、**「ドキュメント スキャン」**、**「ファクス送信」**、および **「HP ギャラリ」**) が表示されている場合、ソフトウェアは正しくインストールされています。

Windows コンピュータからアンインストールするには (方法 2)

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューから **「ソフトウェアのアンインストール」** を利用できない場合に使用します。

1　Windows のタスクバーから、**「スタート」**、**「設定」**、**「コントロール パネル」** の順にクリックします。
2　**「アプリケーションの追加と削除」** をダブルクリックします。
3　**「HP PSC & OfficeJet 4.0」** を選択して、**「変更と削除」** をクリックします。
　画面上の指示に従って操作します。
4　ご使用のコンピュータから HP all-in-one の接続を解除します。
5　コンピュータを再起動します。

　注記　コンピュータを再起動する前に HP all-in-one の接続を解除することが重要です。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。

6　セットアップを開始します。
7　画面の指示と HP all-in-one に付属の『セットアップ ガイド』に記載されている指示に従います。

Windows コンピュータからアンインストールするには (方法 3)

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューから **「ソフトウェアのアンインストール」** を利用できない場合のもう 1 つの方法です。

1　CD を入れて HP Officejet 6200 series all-in-one ソフトウェア セットアップ プログラムを起動します。
2　**「アンインストール」** を選択して、画面上の指示に従って操作します。
3　ご使用のコンピュータから HP all-in-one の接続を解除します。
4　コンピュータを再起動します。

　注記　コンピュータを再起動する前に HP all-in-one の接続を解除することが重要です。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。

5　HP Officejet 6200 series all-in-one ソフトウェアのセットアップ プログラムをもう一度実行します。
6　**「インストール」** を開始します。
7　画面の指示と HP all-in-one に付属の『セットアップ ガイド』に記載されている指示に従います。

Macintosh コンピュータからアンインストールするには

1 Macintosh から HP all-in-one の接続を解除します。
2 「**Applications:**」「**HP All-in-One Software**」フォルダをダブルクリックします。
3 「**HP アンインストーラ**」をダブルクリックします。
画面上の指示に従って操作します。
4 ソフトウェアのアンインストールが終了したら、HP all-in-one を切断し、コンピュータを再起動します。

注記 コンピュータを再起動する前に HP all-in-one の接続を解除することが重要です。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。

5 ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブに HP all-in-one の CD-ROM を挿入します。
6 デスクトップで、CD-ROM を開き、「**HP all-in-one インストーラ**」をダブルクリックします。
7 画面の指示と HP all-in-one に付属の『セットアップ ガイド』に記載されている指示に従います。

ファクス セットアップのトラブルシューティング

ここでは、HP all-in-one のファクス セットアップに関するトラブルシューティング情報について説明します。HP all-in-one がファクス用に正しくセットアップされていない場合は、ファクスの送受信に問題が発生する可能性があります。

ヒント ここでは、セットアップ関連のトラブルシューティングについてのみ説明します。印刷や、ファクス受信速度の低下など、その他のファクスのトラブルシューティングについては、「**HP Image Zone**」ソフトウェアに付属のオンスクリーン トラブルシューティング ヘルプを参照してください。

ファクスに問題が発生した場合は、ファクス テスト レポートを印刷して HP all-in-one のステータスを確認できます。HP all-in-one のファクス機能のセットアップが正しく行われていない場合、テストは失敗します。このテストは、HP all-in-one のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。

ファクスのセットアップをテストするには

1 「**セットアップ**」ボタンを押します。
2 「**6**」を押し、次に「**5**」を押します。
「ツール」メニューが表示され、「ファクス テストを実行」が選択されます。
HP all-in-one のコントロール パネル ディスプレイにテストのステータスが表示され、レポートが印刷されます。

3 レポートを参照します。
   – テストに成功したものの、ファクスに問題が発生する場合は、レポートに記載されているファクス設定で、設定内容が正しいかどうかを確認してください。ファクス設定が空白または不適切な場合、それが問題の原因になっている可能性があります。
   – テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題解決の手がかりとなる情報があるかどうかを確認してください。詳細については、次の章のファクス テストに失敗したを参照してください。
4 「**OK**」 を押して、「セットアップ メニュー」 に戻ります。

ファクスの問題を解決できない場合は、次の章に進んで、さらにトラブルシューティングを行ってください。

ファクス テストに失敗した

ファクス テストを実行したものの、テストに失敗した場合は、レポートを参照して、エラーに関する基本情報を確認します。テストのどの部分に失敗したかをレポートで確認し、この章の対応する項目に進んで詳細を参照してください。

- ファクス ハードウェアのテストに失敗した
- [ファクスが壁側電話ジャックに接続完了] テストに失敗した
- [電話コードがファクスの正しいポートに接続完了] テストに失敗した
- ファクス回線状態テストに失敗した
- ダイヤル　トーン検出テストに失敗した

ファクス ハードウェアのテストに失敗した

解決方法

- コントロール パネルの 「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源を切り、電源コードを HP all-in-one の後部から取り外します。しばらくしてから、電源コードを再び差し込み、電源をオンにします。テストを再実行します。テストに再び失敗した場合は、この章のトラブルシューティング情報をさらに参照してください。
- テスト ファクスの送信と受信を試します。正常にファクスを送受信できれば、問題は解決した可能性があります。
- Windows コンピュータで 「**ファクス セットアップ ウィザード**」 からテストを実行する場合は、HP all-in-one が、ファクスの受信やコピーの作成など、別の作業を実行中でないことを確認してください。コントロール パネル ディスプレイに、HP all-in-one がビジーであることを示すメッセージが表示されていないかどうかを確認します。ビジーの場合は、実行中の作業が完了するまで待って、アイドル状態になってからテストを実行します。

問題が見つかったら、ファクス テストを再実行し、テストに成功したこと、およびファクスの準備ができたことを確認してください。「ファクス ハードウェア テスト」 に再び失敗し、ファクスに問題が発生する場合は、HP にお問い合わせください。HP サポートへのお問い合わせについては、HP サポートの利用を参照してください。

[ファクスが壁側電話ジャックに接続完了] テストに失敗した

解決方法

- 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one の間の接続をチェックし、しっかりと接続していることを確認してください。
- HP all-in-one に付属の電話コードを使用してください。付属のコードを使用せずに壁側のモジュラージャックを HP all-in-one に接続した場合は、ファクスを送受信できないことがあります。HP all-in-one に付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストを再実行します。
- HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに正しく接続していることを確認します。HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。HP all-in-one をファクス用にセットアップする詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。
- 電話スプリッターを使用している場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP all-in-one に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。発信音が聞こえない場合は、電話会社にお問い合わせの上、回線のチェックを依頼してください。
- テスト ファクスの送信と受信を試します。正常にファクスを送受信できれば、問題は解決した可能性があります。

問題が見つかったら、ファクス テストを再実行し、テストに成功したこと、およびファクスの準備ができたことを確認してください。

[電話コードがファクスの正しいポートに接続完了] テストに失敗した

解決方法

電話コードが、HP all-in-one の後部の間違ったポートに接続されています。

1 HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。

トラブルシューティング

注記 「2-EXT」ポートを使用して壁側のモジュラージャックに接続した場合は、ファクスを送受信できないことがあります。「2-EXT」ポートは、留守番電話や電話機などその他の機器と接続するためにのみ使用します。

2 電話コードを「1-LINE」ポートに接続したら、ファクス テストを再実行し、テストに成功したこと、およびファクスの準備が完了したことを確認してください。
3 テスト ファクスの送信と受信を試します。

ファクス回線状態テストに失敗した

解決方法

- HP all-in-one をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線ではない場合は、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルかどうかを確認するには、通常のアナログ電話を回線に接続し、発信音を聞いてください。発信音が通常とは異なる場合、デジタル電話用にセットアップされた電話回線の可能性があります。HP all-in-one をアナログ電話回線に接続し、ファクスの送信と受信を試します。
- 壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one の間の接続をチェックし、しっかりと接続していることを確認してください。
- HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに正しく接続していることを確認します。HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。HP all-in-one をファクス用にセットアップする詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。
- 他の機器が HP all-in-one と同じ電話回線を使用しているために、テストが失敗することがあります。その他の機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、 すべての機器を電話回線から取り外して、ファクス テストを再実行してください。
  – 機器を取り外した状態で 「ファクス回線状態テスト」 に成功した場合は、取り外した機器のいずれかに原因があります。問題の原因となっている機器がわかるまで、機器を 1 つずつ取り付け、ファクス テストを繰り返してください。
  – 他の機器を取り外した状態で 「ファクス回線状態テスト」 に失敗した場合は、稼働中の電話回線に HP all-in-one を接続し、以降のトラブルシューティング情報を参照してください。
- 電話スプリッターを使用している場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。

問題が見つかったら、ファクス テストを再実行し、テストに成功したこと、およびファクスの準備ができたことを確認してください。「ファクス回線状態テスト」 に再び失敗し、ファクスに問題が発生する場合は、電話会社にお問い合わせの上、電話回線のチェックを依頼してください。

ダイヤル　トーン検出テストに失敗した

解決方法

- 他の機器が HP all-in-one と同じ電話回線を使用しているために、テストが失敗することがあります。その他の機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、 すべての機器を電話回線から取り外して、ファクス テストを再実行してください。機器を取り外した状態で 「ダイヤル トーン検出テスト」 に成功した場合は、取り外した機器のいずれかに原因があります。問題の原因となっている機器がわかるまで、機器を 1 つずつ取り付け、ファクス テストを繰り返してください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP all-in-one に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。発信音が聞こえない場合は、電話会社にお問い合わせの上、回線のチェックを依頼してください。
- HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに正しく接続していることを確認します。HP all-in-one に付属の電話コードを使用し、一方の端を壁側のモジュラージャックに接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。HP all-in-one をファクス用にセットアップする詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。
- 電話スプリッターを使用している場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。
- ご使用の電話システムが、一部の PBX システムなど、標準ダイヤルトーンを使用していない場合は、テストに失敗する可能性がありますが、ファクスの送受信に問題はありません。テスト ファクスの送信と受信を試します。
- お住まいの国/地域が正しく設定されていることを確認してください。国/地域の設定がされていないか、設定が間違っている場合は、テストに失敗し、ファクスの送受信に問題が発生する可能性があります。国/地域の設定変更の詳細については、HP all-in-one に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。
- HP all-in-one をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線ではない場合は、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルかどうかを確認するには、通常のアナログ電話を回線に接続し、発信音を聞いてください。発信音が通常

とは異なる場合、デジタル電話用にセットアップされた電話回線の可能性があります。HP all-in-one をアナログ電話回線に接続し、ファクスの送信と受信を試します。

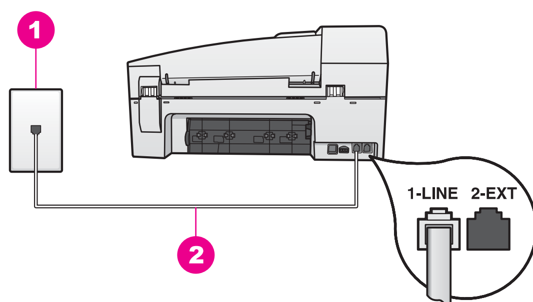
問題が見つかったら、ファクス テストを再実行し、テストに成功したこと、およびファクスの準備ができたことを確認してください。「ダイヤル トーン検出」 テストに再び失敗した場合は、電話会社にお問い合わせの上、電話回線のチェックを依頼してください。

HP all-in-one でファクスの送受信がうまくできない

解決方法

注記　この解決策が適用するのは、2 線式電話コードが HP all-in-one に同梱されている次のような国または地域のみです。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

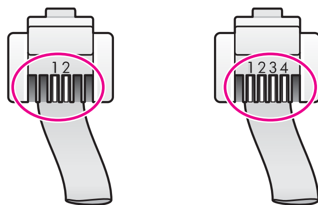
- HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。下図のように、専用 2 線式電話コードの一方の端を HP all-in-one の後部にある「1-LINE」と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。



1	壁側のモジュラージャック
2	HP all-in-one に付属の電話コード

このコードは専用の 2 線式電話コードです。自宅やオフィスで一般的に見られる 4 線式電話コードとは異なります。コードの端を確認して、下図に示されている 2 種類のコードと比較してください。

トラブルシューティング



4 線式コードを使用している場合は、それを取り外し、付属の 2 線式コードを HP all-in-one の後部にある「1-LINE」と書かれたポートに接続します。この電話コードを接続し、HP all-in-one をファクス用にセットアップする詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。
付属の電話コードが短い場合は、延長することもできます。詳細については、HP all-in-one に付属の電話コードが短いを参照してください。

- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP all-in-one に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。発信音が聞こえない場合は、電話会社にお問い合わせの上、回線のチェックを依頼してください。
- HP all-in-one と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。内線電話の受話器が外れている場合や、PC モデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP all-in-one のファクス機能は使用できません。
- 電話回線の接続ノイズが発生している可能性があります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞いて、電話回線の音質を確認します。ノイズが聞こえる場合は、「エラー補正モード」 (ECM) をオフにして、ファクスを再実行します。詳細については、エラー補正モードの使用を参照してください。問題を解決できない場合は、電話会社にお問い合わせください。
- DSL サービスを利用している場合は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。接続されていない場合、ファクスは使用できません。DSL フィルタは、このデジタル信号を除去し、HP all-in-one が正常に通信できるようにします。DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。DSL フィルタがある場合は、それが正しく接続されていることを確認します。詳細については、ケース B：DSL 用の HP all-in-one のセットアップを参照してください。
- HP all-in-one が、デジタル電話用にセットアップされた壁側のモジュラー ジャックに接続されていないことを確認します。電話回線がデジタルかどうかを確認するには、通常のアナログ電話を回線に接続し、発信音を聞いてください。発信音が通常とは異なる場合、デジタル電話用にセットアップされた電話回線の可能性があります。

- 構内電話交換システム (PBX) または統合サービス デジタル通信網 (ISDN) コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、HP all-in-one がファクスおよび電話用のポートに接続されていることを確認してください。また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。
  ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ファクス/電話ポートに接続しているときに問題が発生し続ける場合は、多目的用のポート (「多用途」と書かれている場合があります) を使用してください。HP all-in-one を PBX 電話システム用にセットアップする詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。
- HP all-in-one が DSL サービスと同じ電話回線を使用している場合、DSL モデムは正しく接地されていない可能性があります。DSL モデムが正しく接地されていない場合は、電話回線にノイズが発生する場合があります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞いて、電話回線の音質を確認できます。ノイズが聞こえたら、DSL モデムの電源をオフにして、最低でも 15 分は電源を完全に取り外します。DSL モデムの電源を再びオンにして、ダイヤル トーンを再び聞きます。

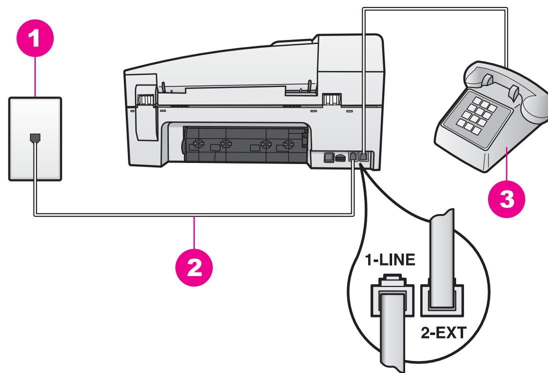
  注記　将来、電話回線に再び静的ノイズが発生する可能性があります。HP all-in-one がファクスの送受信を中止した場合は、この手順を繰り返します。

  電話回線のノイズが消えない場合、または DSL モデムの電源をオフにする詳細については、DSL プロバイダのサポートにお問い合わせください。または、電話会社に問い合わせることもできます。
- 電話スプリッターを使用している場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。

HP all-in-one で手動によるファクスの送信がうまくできない

解決方法

- ファクスを実行するために使用する電話機が直接 HP all-in-one に接続されていることを確認してください。ファクスを手動で送信するには、下図のように、HP all-in-one の後部にある「2-EXT」と書かれたポートに電話機を直接接続してください。ファクスの手動送信については、電話からのファクスの手動送信を参照してください。



1	壁側のモジュラージャック
2	HP all-in-one に付属の電話コード
3	電話機

- HP all-in-one に接続している電話機から手動でファクスを送信する場合、電話機のキーパッドを使用してファクスを送信する必要があります。HP all-in-one のコントロール パネルのキーパッドは使用できません。

HP all-in-one でファクスの受信ができない

解決方法

- 着信識別サービスを使用していない場合は、HP all-in-one の 「応答呼出し音のパターン」 機能が 「すべての呼び出し」 に設定されていることを確認してください。詳細については、応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)を参照してください。
- 「自動応答」 を 「オフ」 に設定すると、手動でファクスを受信する必要があります。それ以外の場合、HP all-in-one はファクスを受信できません。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。
- ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動ではなく手動で受信する必要があります。この場合、ファクスの受信時にユーザー自身が本製品を操作できる場所にいる必要があります。ボイス メール サービスを利用している場合に HP all-in-one をセットアップする詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信を参照してください。
- HP all-in-one と同じ電話回線で PC モデムを使用している場合は、PC モデムのソフトウェアがファクスを自動受信するような設定になっていないことを確認してください。モデムのファクス自動受信機能がオンになっていると、送信されたファクスをモデムが受信します。そのため、HP all-in-one は、ファクスを受信することができません。

- HP all-in-one と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、次のいずれかの問題が発生している可能性があります。
  - 留守番電話が HP all-in-one 用に正しくセットアップされていない。
  - 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために HP all-in-one がファクス トーンを検出できず、それが原因で呼び出し側のファクス機が切断される。
  - ファクス時に、メッセージを録音しようとしている者を留守番電話が検出しない場合、留守番電話が送信メッセージの再生直後に切れたことによって、HP all-in-one がファクス トーンを検出できなかった。この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

  次に、これらの問題の解決方法を説明します。
  - ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ファクスのセットアップで示すように、留守番電話を直接 HP all-in-one に接続してください。
  - ファクスを自動受信するように HP all-in-one が設定されていることを確認します。HP all-in-one がファクスを自動受信するようにセットアップする詳細については、ファクスを受信するように HP all-in-one を設定するを参照してください。
  - 「応答呼び出し回数」 設定が適切であることを確認します。留守番電話を 4 回に設定し、HP all-in-one を、デバイスでサポートされている最大呼び出し数に設定します (最大呼び出し回数は、お住まいの国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP all-in-one が電話回線を監視します。
    HP all-in-one は、ファクス トーンを検出するとファクスを受信します。着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。応答するまでの呼出し回数の設定は、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。
  - 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信します。留守番電話なしにファクスを受信できた場合は、留守番電話が原因である可能性があります。
  - 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。メッセージはできるだけ短くし (10 秒以下)、録音時はゆっくりとお話ください。メッセージの最後に、4 ～ 5 秒の無音部分を残してください。もう一度ファクスを受信してください。

    注記 デジタル留守番電話によっては、メッセージの最後の無音部分を録音しないものもあります。メッセージを再生して確認してください。

- HP all-in-one が、留守番電話や PC モデム、マルチポート スイッチボックスなど、その他のタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが減衰することがあります。

信号レベルの減衰により、ファクス受信時に問題が発生することがあります。
その他の機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、HP all-in-one 以外のすべての機器を電話回線から取り外して、ファクスを受信してください。ファクスの受信に成功した場合は、取り外した機器のいずれかに原因があります。問題の原因となっている機器がわかるまで、機器を 1 つずつ取り付け、ファクスを受信してください。

- ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、HP all-in-one の「応答呼出し音のパターン」 機能がそれに合致するように設定されていることを確認してください。たとえば、電話会社からファクス番号に 2 回の呼び出し音パターンが割り当てられている場合は、「応答呼出し音のパターン」 設定として 「呼び出し 2 回」 が選択されていることを確認します。この設定の変更の詳細については、応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)を参照してください。

注記　短い呼び出し音パターンと長い呼び出し音パターンが交互になっている場合など、HP all-in-one では一部の呼び出し音パターンを認識することができません。このようなタイプの呼び出し音パターンを使っているときに問題がある場合は、電話会社に、交互型でない呼び出し音パターンを割り当てを依頼してください。

ファクス トーンが留守番電話に録音されている

解決方法

- ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ファクスのセットアップで示すように、留守番電話を直接 HP all-in-one に接続してください。推奨されている方法で留守番電話を接続していない場合、ファクス トーンが留守番電話に録音される可能性もあります。
- ファクスを自動受信するように HP all-in-one が設定されていることを確認します。手動でファクスを受信するようにセットアップしている場合、HP all-in-one はファクス受信に応答しません。受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP all-in-one はファクスを受信せず、留守番電話がファクス トーンを録音してしまいます。HP all-in-one がファクスを自動受信するようにセットアップする詳細については、ファクスを受信するように HP all-in-one を設定するを参照してください。
- 「応答呼び出し回数」 設定が適切であることを確認します。HP all-in-one の [応答呼び出し回数] を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。留守番電話と HP all-in-one の応答するまでの呼び出し回数が同じ回数に設定されていると、電話とファクス

の両方が着信に応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。
留守番電話を例えば 4 回以下に設定し、HP all-in-one を、デバイスでサポートされている最大呼び出し数に設定します (最大呼び出し回数は、お住まいの国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP all-in-one が電話回線を監視します。HP all-in-one は、ファクス トーンを検出するとファクスを受信します。着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。応答するまでの呼出し回数の設定は、応答までの呼出し回数を設定するを参照してください。

HP all-in-one を接続したあと、電話回線上で静的ノイズが聞こえる

解決方法

注記　この解決策が適用するのは、2 線式電話コードが HP all-in-one に同梱されている次のような国または地域のみです。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

- HP all-in-one に付属の 2 線式コードを HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートと壁側のモジュラー ジャックに接続しなかった場合は、電話回線に静的ノイズが発生し、正常にファクスを実行できない可能性があります。このコードは専用の 2 線式電話コードです。自宅やオフィスで一般的に見られる 4 線式電話コードとは異なります。
- 電話スプリッターを使用している場合は、電話回線に静的ノイズが発生する可能性があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。
- HP all-in-one の接続に、適切な電源コンセントを使用していない場合にも、電話回線に静的ノイズが発生することがあります。別の電源コンセントに接続してください。

HP all-in-one に付属の電話コードが短い

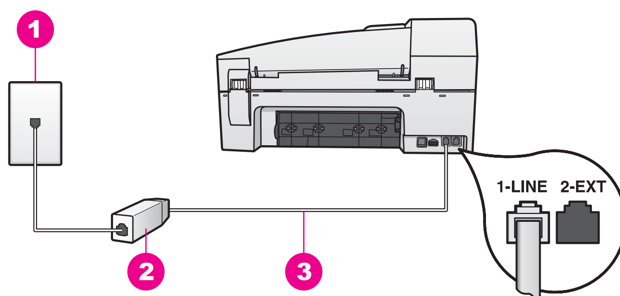
解決方法

HP all-in-one に付属の電話コードが短い場合は、カプラーを使用してコードを延長できます。カプラーは、電話機の付属品を取り扱う電機店で購入できます。また、自宅やオフィスで一般的に見られる標準的な 4 線式電話コードも必要となります。

ヒント　HP all-in-one に 2 線式電話コード アダプタが付属している場合は、4 線式電話コードを使用して延長できます。2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください (日本では付属しておりません)。

電話コードを延長するには

1　HP all-in-one に付属の電話コードにカプラーの一方の端を接続し、もう一方の端を HP all-in-one の後部の「1-LINE」ポートに接続します。
2　下の図のように、別の電話コードをカプラーの空きポートと壁側のモジュラージャックに接続します。



1	壁側のモジュラージャック
2	カプラー
3	HP all-in-one に付属の電話コード

インターネット経由のファクスで問題が発生する

解決方法

次の項目を確認してください。

- HP all-in-one が高速 (33600bps) でファクスを送受信している場合、FoIP サービスは正常に機能しない可能性があります。ファクスの送受信に問題が発生した場合は、ファクス速度を低速にしてください。これには、「ファクス速度」 の設定を 「はやい」 (デフォルト) から 「標準」 に変更します。この設定の変更の詳細については、ファクス速度の設定を参照してください。
- ファクスを送受信できるのは、HP all-in-one の「1-LINE」ポートに電話コードを接続した場合のみです。Ethernet ポートは利用できません。つまり、インターネットには、ファクス接続用に標準的なアナログ電話ジャックを提供するコンバータ ボックスまたは電話会社を介して接続する必要があります。
- また、電話会社に問い合わせて、インターネット電話サービスでファクスがサポートされていることを確認する必要があります。ファクスがサポートされていない場合は、インターネット経由でファクスを送受信することはできません。

動作に関するトラブルシューティング

ここでは、用紙、プリント カートリッジ、およびファクスのトラブルシューティングについて説明します。

「**HP Image Zone ヘルプ**」 のトラブルシューティングに関する項目には、HP all-in-one に関連する最も一般的な問題のトラブルシューティングのヒントが記載されています。

Windows コンピュータでトラブルシューティング情報にアクセスするには、「**HP ディレクタ**」 で 「**ヘルプ**」 をクリックして、次に 「**トラブルシューティングとサポート**」 を選択します。トラブルシューティング情報は、一部のエラー メッセージに表示される [ヘルプ] ボタンを使っても表示できます。

Macintosh OS X v10.1.5 以降でトラブルシューティング情報にアクセスするには、ドックの 「**HP Image Zone**」 アイコンをクリックして、メニュー バーから 「**ヘルプ**」 を選択します。次に、「**ヘルプ**」 メニューから 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を選択し、ヘルプ ビューアで 「**6200 series トラブルシューティング**」 を選択します。

インターネットにアクセス可能な場合は、HP Web サイト www.hp.com/support からヘルプ情報を入手することができます。この Web サイトには、よく寄せられる質問に対する回答も掲載されています。

用紙のトラブルシューティング

紙詰まりを防止するために、HP all-in-one での使用が推奨されている種類の用紙のみを使用してください。推奨される用紙の一覧については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 または www.hp.com/support を参照してください。

波打ったり、しわが寄ったりしている用紙や端が曲がったり、破れたりしている用紙は、給紙トレイにセットしないでください。詳細については、紙詰まりの防止を参照してください。

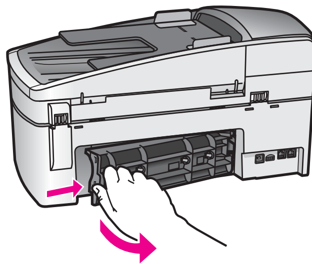
本体に紙が詰まった場合、次の手順に従って、紙詰まりを解消してください。

HP all-in-one に紙が詰まった

解決方法

1 後部アクセス ドアの左側にあるタブを押し込んで、このカバーを取り外します。HP all-in-one からカバーを引いて取り外します。

トラブルシューティング



注意　HP all-in-one の正面から詰まった紙を取り除くと、本体が損傷する場合があります。必ず、後部アクセス ドアを開けて、詰まった紙を後部から取り除いてください。

2　詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

警告　ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。HP all-in-one に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

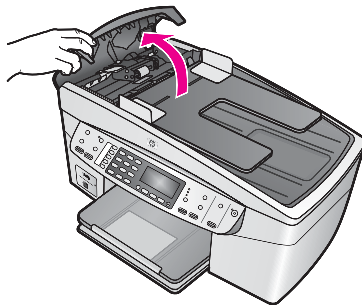
3　後部アクセス ドアを取り付けます。パチンと音がするまでカバーをゆっくり押し込みます。

4　現在のジョブを続行するには、「**OK**」 を押します。

自動ドキュメント フィーダ内で用紙が紙詰まりを起こした

解決方法

1　自動ドキュメント フィーダのカバーを上げます。



2　詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。



警告　ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合、ローラーとホイールを点検して、自動ドキュメント フィーダの中に紙切れが残っていないか確認してください。HP all-in-one に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3　自動ドキュメント フィーダのカバーを閉めます。

自動ドキュメント フィーダから一度に複数ページが給紙されてしまうか、まったく給紙されない

原因

自動ドキュメント フィーダ内のセパレータ パッドまたはローラーをクリーニングする必要があります。長い間使用している場合、または手書きの原稿や多量のインクを使った原稿をコピーした場合に、鉛筆の芯部分、ワックス、インクなどがローラーとセパレータ パッドに付着することがあります。

- 自動ドキュメント フィーダからまったく給紙されない場合は、フィーダ内のローラーをクリーニングする必要があります。
- 自動ドキュメント フィーダから一度に 1 ページではなく複数ページが給紙される場合は、自動ドキュメント フィーダ内のセパレータ パッドをクリーニングする必要があります。

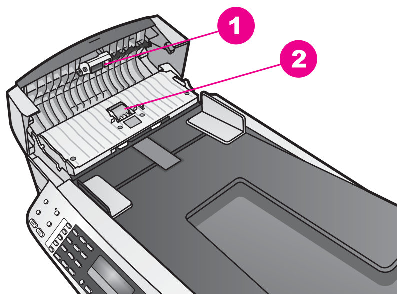
解決方法

未使用の白の普通紙を 1 枚か 2 枚、ドキュメント フィーダ トレイにセットし、「**コピー スタート - モノクロ**」 を押して、自動ドキュメント フィーダから給紙します。普通紙が給紙され、ローラーおよびセパレータ パッドに付着した汚れがその用紙に吸い取られます。

問題が解決しない場合、またはセットした普通紙が給紙されない場合は、ローラーとセパレータ パッドを手動でクリーニングできます。

ローラーとセパレータ パッドをクリーニングするには

1　自動ドキュメント フィーダのカバーを上げます。
　下の図に、ローラーとセパレータ パッドを示します。



1	ローラー
2	セパレータ パッド

2　きれいな糸くずのでない布を蒸留水で軽く湿らせ、布を絞って余分な水分をなくします。
3　ローラーまたはセパレータ パッドの汚れを拭き取ります。
4　蒸留水でも汚れが取れない場合は、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用してください。
5　自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

プリント カートリッジのトラブルシューティング

印刷エラーが発生した場合は、プリント カートリッジに問題がある可能性があります。

1. プリント カートリッジを取り外し、保護テープが完全に取り除かれていることを確認します。
2. もう一度プリント カートリッジを挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。
3. 問題が続く場合は、セルフテスト レポートを印刷して、プリント カートリッジに問題がないか確認します。
   このレポートには、ステータス情報など、プリント カートリッジに関する情報が印刷されます。
4. セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。
5. 問題が解決しない場合は、プリント カートリッジの銅色の接触部をクリーニングしてください。
6. 印刷に問題がある場合、どのプリント カートリッジに問題があるか確認し、そのプリント カートリッジを交換してください。

この項目の詳細については、HP all-in-one のメンテナンスを参照してください。

「HP Image Zone」 のトラブルシューティング

USB ケーブルでコンピュータに接続している HP all-in-one をHP JetDirect によるネットワーク接続に切り替える場合、コンピュータからは印刷またはスキャン (Web スキャンの使用による) のみが可能になります。「**HP Image**

Zone」 ソフトウェアで、画像のスキャン、ドキュメント スキャン、ファクス送信、およびコピーの作成などの機能を実行すると、HP all-in-one の接続が外れていることを示すエラー メッセージが表示されます。

[画像のスキャン] を選択すると、エラー メッセージが表示される

解決方法

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアで、画像のスキャン機能を実行すると、HP all-in-one の接続が外れていることを示すエラー メッセージが表示されます。

→ エラー メッセージを閉じて、Web スキャンでスキャンを実行します。
Web スキャンの詳細については、Web スキャンの使用を参照してください。

[ドキュメント スキャン] を選択すると、エラー メッセージが表示される

解決方法

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアで、ドキュメント スキャン機能を実行すると、HP all-in-one の接続が外れていることを示すエラー メッセージが表示されます。

→ エラー メッセージを閉じて、Web スキャンでスキャンを実行します。
Web スキャンの詳細については、Web スキャンの使用を参照してください。

[コピーの作成] を選択すると、エラー メッセージが表示される

解決方法

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアで、コピーの作成機能を実行すると、HP all-in-one の接続が外れていることを示すエラー メッセージが表示されます。

→ エラー メッセージを閉じて、HP all-in-one のコントロール パネルでコピーを作成します。
コントロール パネルからコピーを作成する方法については、コピー機能の使用を参照してください。

[ファクス送信] を選択すると、エラー メッセージが表示される

解決方法

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアで、ファクス送信機能を実行すると、HP all-in-one の接続が外れていることを示すエラー メッセージが表示されます。

→ エラー メッセージを閉じて、HP all-in-one のコントロール パネルでファクスを送信します。
コントロール パネルからファクスを送信する方法については、ファクス機能の使用を参照してください。

デバイスの更新

HP all-in-one を更新するには、いくつかの方法があります。

- HP カスタマ サポートからのアドバイスにより、HP サポート Web サイトにアクセスして、ご使用のプリンタに該当する更新を入手する場合があります。
- HP all-in-one コントロール パネル ディスプレイに、デバイスを更新するためのダイアログが表示されます。

注記　Windows ユーザーの場合、HP サポート Web サイトを指定した周期で自動的に検索してデバイスの更新を探すように、「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティ (コンピュータにインストールされている「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの一部) を設定することができます。「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティの詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

デバイスの更新 (Windows)

次のいずれかを実行して、デバイスの更新を入手してください。

- Web ブラウザを使用して、www.hp.com/support から HP all-in-one に該当する更新をダウンロードします。このファイルは、拡張子が .exe の自己解凍型の実行ファイルです。この .exe ファイルをダブルクリックすると、コンピュータに 「**プリンタ更新ウィザード**」 が表示されます。
- 「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティを使用し、HP サポート Web サイトを指定の周期で自動的に検索してデバイスの更新を探します。

注記　ご使用のコンピュータに 「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティをインストールすると、デバイスの更新が検索されます。インストール時に最新バージョンの 「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティを使用していない場合、更新を促すダイアログが画面に表示されます。更新に同意してください。

デバイスの更新 (Macintosh)

デバイス更新インストーラにより、HP all-in-one に更新を適用する方法が提供されます。次の手順に従ってください。

1. Web ブラウザを使用して、www.hp.com/support から HP all-in-one に該当する更新をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
   インストーラがコンピュータに表示されます。
3. 画面の指示に従って、更新を HP all-in-one にインストールします。
4. HP all-in-one を再起動して、インストール作業を完了します。

トラブルシューティング

16 HP サポートの利用

弊社では、ご使用の HP all-in-one のサポートをインターネットおよび電話で提供しております。

ここでは、インターネットからのサポートの利用、HP カスタマ サポートへの問い合わせ、シリアル番号とサービス ID の確認、他国サポートへの問い合わせ、および HP all-in-one の発送準備について説明します。

製品に付属する印刷マニュアルまたはオンスクリーン マニュアルで必要な答えが見つからない場合は、以下のページに記載されている HP サポート サービスに問い合わせることができます。一部のサポート サービスは米国とカナダでしか利用できませんが、その他のサポート サービスは世界中の多くの国/地域で利用できます。お住まいの国/地域のサポート サービスの電話番号が記載されていない場合は、最寄りの HP 正規代理店までお問い合わせください。

インターネットからのサポートの利用およびその他の情報の入手

インターネットにアクセス可能な場合は、以下の HP Web サイトからヘルプ情報を入手することができます。

www.hp.com/jp/hho

この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。

HP カスタマ サポート

HP all-in-one には、他社のソフトウェア プログラムが付属している場合があります。このようなプログラムで問題が発生した場合は、そのメーカーの担当技術者にお問い合わせになると最適な技術サポートが受けられます。

HP カスタマ サポートに問い合わせる必要がある場合は、連絡の前に以下の作業を行ってください。

1. 以下の事項を確認します。
   a. HP all-in-one が接続され、電源がオンになっていること。
   b. 指定のプリント カートリッジが正しく取り付けられていること。
   c. 推奨されている用紙が給紙トレイに正しくセットされていること。
2. 以下の手順に従って HP all-in-one をリセットします。
   a. 「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源をオフにします。
   b. 電源コードを HP all-in-one の後部から取り外します。
   c. 電源コードを HP all-in-one にもう一度差し込みます。
   d. 「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源を入れます。
3. 詳細については、www.hp.com/support を参照してください。
   この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。
4. 上記の作業を行っても問題が解決されず、HP カスタマ サポート担当に問い合わせる必要がある場合は、以下の作業を行います。
   a. 本体のコントロール パネルに明記されている HP all-in-one のモデル名をメモします。

b セルフテスト レポートを印刷します。セルフテスト レポートの印刷方法については、セルフテスト レポートの印刷を参照してください。
c サンプル出力として利用できるカラー コピーを作成します。
d 発生した問題を詳しく説明できるように準備します。
e シリアル番号とサービス ID をメモします。シリアル番号とサービス ID を確認する方法については、シリアル番号とサービス ID の確認を参照してください。

5 HP カスタマ サポートに連絡します。連絡するときは、HP all-in-one の近くで行ってください。

シリアル番号とサービス ID の確認

HP all-in-one の 「情報メニュー」 を使用すると、重要な情報を確認できます。

注記 HP all-in-one の電源がオンになっていない場合は、後部に付いているラベルでシリアル番号を確認できます。シリアル番号は、ラベルの左上隅にある 10 桁のコードです。

シリアル番号とサービス ID を確認するには

1 「**OK**」 ボタンを押し続けます。「**OK**」 ボタンを押しながら 「**4**」 を押してください。「情報メニュー」 が表示されます。
2 「モデル番号」 が表示されるまで ▶ を押し、それから 「**OK**」 ボタンを押します。サービス ID が表示されます。
表示されたサービス ID を省略せずにメモしてください。
3 「**キャンセル**」 ボタンを押してから、「シリアル番号」 が表示されるまで ▶ を押します。
4 「**OK**」 ボタンを押します。シリアル番号が表示されます。
表示されたシリアル番号を省略せずにメモしてください。
5 「**キャンセル**」 ボタンを押して 「情報メニュー」 を終了します。

他国のサポートへの問い合わせ

以下に記載されている電話番号は、このガイドの発行日の時点での番号です。各国向け HP サポート サービスの最新の電話番号一覧を参照するには、www.hp.com/support にアクセスして、お住まいの国/地域か、言語を選択してください。

以下の国/地域では、HP サポート センターに問い合わせることができます。お住まいの国/地域が一覧にない場合は、お近くの代理店、または最寄りの HP 営業サポート事務所にお問い合わせください。

ヨーロッパについては、国/地域によって電話でのサポート内容や条件が異なります。www.hp.com/support でご確認ください。

あるいは、代理店に問い合わせる、またはこのガイドに記載されている電話番号の HP に連絡することもできます。

当社では、電話サポート サービスを向上させるために絶えず努力しています。定期的に当社の Web サイトを確認して、サービスの機能や提供方法に関する新しい情報を入手することをおすすめします。

国/地域	HP 技術サポート	国/地域	HP 技術サポート
アイルランド	+353 1890 923 902	ドイツ (0.12 ユーロ/分)	+49 (0) 180 5652 180
アメリカ合衆国	1-800-474-6836 (1-800-HP invent)	ドミニカ共和国	1-800-711-2884
アラブ首長国連邦	800 4520	ナイジェリア	+234 1 3204 999
アルジェリア[1]	+213 61 56 45 43	ニュージーランド	0800 441 147
アルゼンチン	(54)11-4778-8380, 0-810-555-5520	ノルウェー[2]	+47 815 62 070
イエメン	+971 4 883 8454	ハンガリー	+36 1 382 1111
イギリス	+44 (0) 870 010 4320	バングラデシュ	ファクス : +65-6275-6707
イスラエル	+972 (0) 9 830 4848	バーレーン	800 171
イタリア	+39 848 800 871	パキスタン	ファクス : +65-6275-6707
インド	91-80-8526900	パナマ	001-800-711-2884
インド (通話料無料)	1600-4477 37	パレスチナ	+971 4 883 8454
インドネシア	62-21-350-3408	フィリピン	632-867-3551
ウクライナ、キエフ	+7 (380 44) 4903520	フィンランド	+358 (0) 203 66 767
エクアドル (Andinatel)	999119 +1-800-7112884	フランス (0.34 ユーロ/分)	+33 (0)892 69 60 22
エクアドル (Pacifitel)	1-800-225528 +1-800-7112884	ブラジル (その他の地域)	0800-157751
エジプト	+20 2 532 5222	ブラジル (サンパウロ大都市圏)	(11) 3747-7799
オマーン	+971 4 883 8454	ブルネイ	ファクス : +65-6275-6707
オランダ (0.10 ユーロ/分)	0900 2020 165	プエルトリコ	1-877-232-0589
オーストラリア (保証期間内)	131047	ベトナム	84-8-823-4530
オーストラリア (保証期間後、1 回ごとに料金が発生)	1902 910 910	ベネズエラ	0-800-474-6836 (0-800-HP invent)

(続き)

国/地域	HP 技術サポート	国/地域	HP 技術サポート
オーストリア	+43 1 86332 1000	ベネズエラ (カラカス)	(502) 207-8488
カタール	+971 4 883 8454	ベルギー (オランダ語)	+32 070 300 005
カナダ (保証期間内)	(905) 206 4663	ベルギー (フランス語)	+32 070 300 004
カナダ (保証期間後、1 回ごとに料金が発生)	1-877-621-4722	ペルー	0-800-10111
カリブおよび中央アメリカ	1-800-711-2884	ボリビア	800-100247
カンボジア	ファクス：+65-6275-6707	ポルトガル	+351 808 201 492
ギリシャ (キプロスからアテネ、通話料無料)	800 9 2649	ポーランド	+48 22 5666 000
ギリシャ (国内向け)	801 11 22 55 47	マレーシア	1-800-805405
ギリシャ (国外向け)	+30 210 6073603	メキシコ	01-800-472-6684
クウェート	+971 4 883 8454	メキシコ (メキシコ市)	(55) 5258-9922
グアテマラ	1800-999-5105	モロッコ[1]	+212 22 404747
コスタリカ	0-800-011-4114, 1-800-711-2884	ヨルダン	+971 4 883 8454
コロンビア	01-800-51-474-6836 (01-800-51-HP invent)	ルクセンブルグ (ドイツ語)	900 40 007
サウジアラビア	800 897 1444	ルクセンブルグ (フランス語)	900 40 006
シンガポール	65 - 62725300	ルーマニア	+40 (21) 315 4442
ジャマイカ	1-800-711-2884	レバノン	+971 4 883 8454
スイス[3]	+41 0848 672 672	ロシア連邦、サンクトペテルブルグ	+7 812 3467997
スウェーデン	+46 (0)77 120 4765	ロシア連邦、モスクワ	+7 095 7973520
スペイン	+34 902 010 059	中国本土	86-21-38814518, 8008206616

国/地域	HP 技術サポート	国/地域	HP 技術サポート
スリランカ	ファクス： +65-6275-6707	中東	+971 4 366 2020
スロバキア	+421 2 50222444	南アフリカ (RSA)	086 0001030
タイ	0-2353-9000	南アフリカ、共和国以外	+27 11 2589301
チェコ共和国	+420 261307310	台湾	+886 (2) 8722-8000, 0800 010 055
チュニジア[1]	+216 71 89 12 22	日本	+81-3-3335-9800
チリ	800-360-999	英語 (国外向け)	+44 (0) 207 512 5202
デンマーク	+45 70 202 845	西アフリカ	+351 213 17 63 80
トリニダード トバゴ	1-800-711-2884	韓国	+82 1588 3003
トルコ	+90 216 579 71 71	香港特別行政区	+(852) 2802 4098

1 モロッコ、チュニジア、アルジェリアのコール センターでは、フランス語を使用するユーザーをサポートしています。

2 1 回のコールにかかるお金は、0.55 ノルウェー クローネ (0.08 ユーロ)です。1 分間にお客様が支払う料金は、0.39 ノルウェー クローネ (0.05 ユーロ)です。

3 このコール センターでは、スイス国内のドイツ語、フランス語、およびイタリア語を使用するユーザーをサポートしています (ピーク時は 0.08 CHF/分、非ピーク時は 0.04 CHF/分)。

Call in Australia post-warranty

If your product is not under warranty, call 131047. A per-incident, out-of-warranty support fee will be charged to your credit card.

You can also call 1902 910 910. A per-incident, out-of-warranty support fee will be charged to your phone bill.

Call HP Korea customer support

HP 한국 고객 지원 문의

*고객 지원 센터 대표 전화
1588−3003

*제품가격 및 구입처 정보 문의 전화
080−703−0700

* 전화 상담 가능 시간 :
평　일 09:00~18:00
토요일 09:00~13:00
(일요일,공휴일 제외)

日本 HP カスタマ サポートへの問い合わせ

カスタマー･ケア･センター

TEL : 0570-000-511（ナビダイヤル）

03-3335-9800（ナビダイヤルをご利用いただけない場合）

FAX : 03-3335-8338

月～金 **9:00 ～ 17:00**

土･日　　**10:00 ～ 17:00**（祝祭日、**1/1～3** を除く）

FAX によるお問い合わせは、ご質問内容とともに、ご連絡先、

弊社製品名、接続コンピュータ名をご記入ください。

HP Quick Exchange Service

製品に問題がある場合は以下に記載されている電話番号に連絡してください。製品が故障している、または欠陥があると判断された場合、HP Quick Exchange Serviceがこの製品を正常品と交換し、故障した製品を回収します。保証期間中は、修理代と配送料は無料です。また、お住まいの地域にも依りますが、プリンタを次の日までに交換することも可能です。

電話番号： 0570-000511 （自動応答）
:03-3335-9800（自動応答システムが使用できない場合）
サポート時間**:** 平日の午前 9:00 から午後 5:00 まで
土日の午前 10:00 から午後 5:00 まで。
祝祭日および1月1日から 3日は除きます。

サービスの条件

- サポートの提供は、カスタマケアセンターを通してのみ行われます。
- カスタマケアセンターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。
  ご注意: ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保証期間中あっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

その他の制限

- 運送の時間はお住まいの地域によって異なります。　詳しくは、カスタマケアターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者が行います。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告なしに変更することがあります。

17 保証に関する情報

この章では、HP all-in-one に付加されている限定保証について説明します。また、保証サービスの取得方法についても説明します。
ここでは、HP all-in-one に対する限定保証の期間、保証によるサービス、修理のための HP all-in-one の返送について説明し、さらに、Hewlett-Packard グローバル限定保証の告示について説明します。

限定保証の期間

限定保証の期間 (ハードウェア) - 1 年

限定保証の期間 (CD メディア) - 90 日

限定保証の期間 (プリンタ カートリッジ) - 純正 HP カートリッジのインクが消耗した当日の日付、またはカートリッジに記載されている「保証期限」の日付のうち、どちらか早い方の日付。この保証は、詰め替え、再生、刷新、誤用、改造のいずれかを受けた HP インク製品には適用されません。

保証サービス

HP リペア サービスを利用するには、まず HP サービス オフィスに連絡するか、HP カスタマ サポート センターに連絡して、基本的なトラブルシューティングを行っていただく必要があります。カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、HP カスタマ サポートを参照してください。

お使いの HP all-in-one でユーザーによる作業が可能な部品交換が必要になった場合、HP では発送料、関税、および税金を先払いし、部品の交換に際して電話によるサポートを行います。 この他、HP で返送を依頼した部品については、発送料、関税、および税金をお支払いします。これ以外の場合、HP カスタマ サポート センターでは、ユーザーに HP 認定の指定サービス業者を紹介して、製品のサービスを行います。

注記　この情報は日本のユーザーには適用されません。日本のユーザーを対象にしたサービス オプションについては、HP Quick Exchange Service を参照してください。

修理のための HP all-in-one の返送

修理等のサービスを受ける際、HP all-in-one を返送する前に、HP カスタマ サポートに連絡してください。カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、HP カスタマ サポートを参照してください。

注記　この情報は日本のユーザーには適用されません。日本のユーザーを対象にしたサービス オプションについては、HP Quick Exchange Service を参照してください。

Hewlett-Packard グローバル限定保証の告示

次に HP グローバル限定保証について説明します。

限定保証の範囲

Hewlett-Packard (以下、「HP」という) はエンドユーザー (以下、「ユーザー」という) に対し、関連ソフトウェア、アクセサリ、メディア、およびサプライ品を含め、お買い上げ日から一定の期間にわたり、それぞれの HP Officejet 6200 series all-in-one 製品 (以下、「本製品」という) に材料および製品上の瑕疵がないことを保証します。

本製品の各ハードウェアを対象とする HP の限定保証の期間は、部品および保守作業については 1 年とします。製品のハードウェア以外を対象とする HP の限定保証の期間は、部品および保守作業については 90 日とします。

本製品の各ソフトウェアを対象とする HP の限定保証は、プログラムの命令を実行できない場合にのみ適用されます。HP は、本製品の動作が停止しないことまたは誤動作しないことを保証しません。

HP の限定保証は、本製品を正しく使用した結果として発生した瑕疵のみを対象とするものであり、(a) 不適切な保守または改造、(b) HP によってサポートされていないソフトウェア、アクセサリ、メディア、またはサプライ品、あるいは (c) 本製品の仕様外の動作に起因する問題を含め、その他のあらゆる問題は保証の対象になりません。

本製品の各ハードウェアについては、HP 以外のインク カートリッジまたは詰め替え用のインク カートリッジを使用しても、ユーザーに対する保証またはユーザーとの HP のサポート契約には影響しません。ただし、本製品の障害または損傷が HP 以外のインク カートリッジまたは詰め替え用のインク カートリッジを使用したことに起因する場合は、HP は本製品の障害または損傷を修理するための標準の作業費および材料費を請求するものとします。

保証の適用期間内に、HP が本製品の瑕疵の報告を受けた場合は、HP はその裁量により、瑕疵のある本製品を修理または交換するものとします。保守作業費が HP の限定保証の対象とならない場合、修理は HP の標準の保守作業費で行われるものとします。

HP の保証の対象である瑕疵のある本製品を、修理または交換することが不可能な場合は、瑕疵があることが通知されてから妥当な期間内に本製品の購入費用を払い戻しいたします。

HP は、ユーザーが瑕疵のある本製品を HP に返却するまでは修理、交換、または払い戻しを行う義務はないものとします。

交換用の製品は、新品または新品同様のものとします。ただし、交換される本製品と同等以上の機能を持つものとします。

本製品を含め、HP 製品には、性能が新品と同等の再生部品、再生装置、または再生材料が使用されていることがあります。

本製品に対する HP の限定保証は、HP が本製品の販売を行っているあらゆる国/地域で有効です。HP または正規代理店が本製品の販売を行っている国/地域では、HP 認定のサービス業者に出張修理サービスなどの追加保証サービスについて問い合わせることができます。

保証の制限

現地の法律によって許可される範囲において、HP および第三者の供給業者のいずれも、対象の HP 製品に関して、明示または黙示に関係なく他のいかなる種類の保証または条件も制定しません。 また、市場性、十分な品質、および特定目的への適合性の保証または条件について責任を否認します。

責任の制限

現地の法律によって許可される範囲において、この限定保証の告知で提供される補償は、ユーザーの独占的および排他的な補償です。

現地の法律によって許可される範囲において、この限定保証の告知に明記された義務を除き、HP または第三者の供給業者は、直接的、間接的、特殊、付随的、または結果的な損害に対しては、契約、不法行為、またはその他のいかなる合法的見解に基づくものであるかどうかを問わず、また上記の損害の可能性を通知したかどうかを問わず、その責任を負わないものとします。

現地法

この限定保証の告示により、ユーザーには法律上の特定の権利が付与されます。また、ユーザーは、その他の権利も有しますが、この権利は米国およびカナダでは州によって異なり、世界的な見地でも国/地域によって異なります。

この限定保証の告示が現地の法律と矛盾する場合に限り、この告示はその現地の法律と矛盾しないように修正されているとみなされるものとします。上記の現地の法律の下では、この告示の特定の免責条項および制限がユーザーに適用されないことがあります。たとえば、米国の一部の州の他、米国以外の一部の政府では (カナダの州を含め)、以下の事例が発生することがあります。

この告示の免責条項および制限で、法律によって定められたユーザーの権利を制限することができなくなることがあります (イギリスなど)。

あるいは、上記の免責条項または制限条項をメーカーが実施できないように制限されることがあります。

また、別の保証の権利をユーザーに付与したり、メーカーが否認できない黙示的な保証期間を指定したりするほか、黙示的な保証期間への制限を許可しないことがあります。

オーストラリアおよびニュージーランドでの消費者の取り引きにおいては、この限定保証の告示の条項は、合法的に許可された場合を除き、対象の HP 製品の当該消費者への販売に適用可能な、法律によって定められた必須の権利を除外、制限、または修正しません。

EU 諸国/地域に対する限定保証情報

EU 諸国/地域で HP の限定保証 (メーカー保証) を付与できる HP 企業の会社名と所在地を以下に示します。

このメーカー保証の他にも、購買契約に基づいて売り手に対抗できる法的特権がユーザーには与えられます。この特権は、メーカー保証によって制限されません。

ベルギー/ルクセンブルグ Hewlett-Packard Belgium SA/NV Woluwedal 100 Boulevard de la Woluwe B-1200 Brussels	アイルランド Hewlett-Packard Ireland Ltd. 30 Herbert Street IRL-Dublin 2
デンマーク Hewlett-Packard A/S Kongevejen 25 DK-3460 Birkeroed	オランダ Hewlett-Packard Nederland BV Startbaan 16 1187 XR Amstelveen NL

(続き)

フランス Hewlett-Packard France 1 Avenue du Canada Zone d'Activite de Courtaboeuf F-91947 Les Ulis Cedex	ポルトガル Hewlett-Packard Portugal - Sistemas de Informática e de Medida S.A. Edificio D. Sancho I Quinta da Fonte Porto Salvo 2780-730 Paco de Arcos P-Oeiras
ドイツ Hewlett-Packard GmbH Herrenberger Straße 110-140 D-71034 Böblingen	Österreich Hewlett-Packard Ges.m.b.H. Lieblgasse 1 A-1222 Wien
スペイン Hewlett-Packard Española S.A. Carretera Nacional VI km 16.500 28230 Las Rozas E-Madrid	フィンランド Hewlett-Packard Oy Piispankalliontie 17 FIN-02200 Espoo
ギリシャ Hewlett-Packard Hellas 265, Mesogion Avenue 15451 N. Psychiko Athens	スウェーデン Hewlett-Packard Sverige AB Skalholtsgatan 9S-164 97 Kista
イタリア Hewlett-Packard Italiana S.p.A Via G. Di Vittorio 9 20063 Cernusco sul Naviglio I-Milano	イギリス Hewlett-Packard Ltd Cain Road Bracknell GB-Berks RG12 1HN

18 技術情報

この章では、HP all-in-one の技術仕様および国際的な規制について説明します。

システム要件

ソフトウェアのシステム要件は Readme ファイルに記載されています。Readme ファイルの参照については、Readme ファイルの表示 を参照してください。

用紙の仕様

ここには、用紙トレイの収容枚数、用紙サイズ、印刷余白の仕様に関する情報が記載されています。

用紙トレイの収容枚数

種類	用紙の重さ	給紙トレイ[1]	排紙トレイ[2]
普通紙	16 ～ 24 lb.(60 ～ 90 gsm)	100 (20 lb. の用紙)	50 (20 lb. の用紙)
リーガル用紙	20 ～ 24 lb.(75 ～ 90 gsm)	100 (20 lb. の用紙)	50 (20 lb. の用紙)
カード	110 lb. はがき大まで (200 gsm)	40	10
封筒	20 ～ 24 lb.(75 ～ 90 gsm)	15	10
OHP フィルム	N/A	25	25 枚以下
ラベル	N/A	20	20
L 判のフォト用紙	145 lb. (236 gsm)	30	30
A4/8.5 x 11 インチのフォト用紙	N/A	20	20

1　最大収容枚数

2　排紙トレイの収容枚数は、用紙の種類および使用するインクの量の影響を受けます。排紙トレイは頻繁に空にしてください。

注記　ドキュメント フィーダ トレイには、レター、リーガル、A4 サイズ (16 ～ 24 lb.) の用紙を 20 枚セットできます。

技術情報

用紙サイズ

種類	サイズ
用紙	レター：216 x 280 mm A4：210 x 297 mm A5：148 x 210 mm エグゼクティブ：184.2 x 266.7 mm リーガル：216 x 356 mm
封筒	U.S. #10：105 x 241 mm U.S. #9：98 x 225 mm A2：111 x 146 mm DL：110 x 220 mm C6：114 x 162 mm
OHP フィルム	レター：216 x 279 mm A4：210 x 297 mm
フォト用紙	102 x 152 mm 10 x 15 cm 127 x 178 mm レター：216 x 280 mm A4：210 x 297 mm
カード	76 x 127 mm インデックス カード：101 x 152 mm 127 x 178 mm A6：105 x 148.5 mm はがき：100 x 148 mm
ラベル	レター：216 x 279 mm A4：210 x 297 mm
カスタム	76 x 127 mm ～ 216 x 356 mm

印刷余白の仕様

	上 (先端)	下 (後端) [1]	左右の余白
U.S. (レター、リーガル、エグゼクティブ)	1.8 mm	6.7 mm	1.5 mm
ISO (A4、A5) および JIS (B5)	1.8 mm	6.7 mm	1.5 mm

技術情報

(続き)

	上 (先端)	下 (後端)[1]	左右の余白
封筒	1.8 mm	6.7 mm	1.5 mm
カード	1.8 mm	6.7 mm	1.5 mm

1 この余白は該当しませんが、合計の印刷領域は該当します。印刷領域は、中心から 5.4 mm (0.21 インチ) オフセットされています。このため、上と下の余白は同じではありません。

印刷の仕様

- 1200 x 1200 dpi モノクロ
- 4800 dpi 最適化 dpi カラー、4800 dpi 6 色インク
- 方法：オンデマンド型サーマル インクジェット
- 言語：HP PCL レベル 3、PCL3 GUI または PCL 10
- 最大 23 枚/分のモノクロ コピー、最大 18 枚/分のカラー コピー (モデルによって異なります)
- 印刷速度は、文書の複雑さによって異なります。

モード	解像度 (dpi)
最大 dpi	最大 4800 x 1200 最適化 dpi (1200 レンダー化 dpi を使用)
高画質	最大 1200 x 1200
きれい	最大 600 x 600
はやい (最速)	最大 300 x 300

コピーの仕様

- デジタル画像処理
- 原稿からのコピーは 99 枚まで (モデルによって異なります)
- 25 ～ 400% のデジタル ズーム (モデルによって異なります)
- [ページに合わせる]、プレスキャン
- 最大 23 枚/分のモノクロ コピー、最大 18 枚/分のカラー コピー (モデルによって異なります)
- コピーの速度は、文書の複雑さによって異なります。

モード	印刷の解像度 (dpi)	スキャンの解像度 (dpi)[1]
高画質	最大 4800 x 1200 最適化 dpi (1200 スキャン dpi を使用)	最大 1200 x 1200
きれい	最大 600 x 600	最大 300 x 300
はやい	最大 300 x 300	最大 300 x 300

1 400% 倍率時の最大値

ファクスの仕様

- ボタン 1 つでモノクロ ファクスとカラー ファクスを切り替えられる機能
- 最大で 60 個の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)
- 最大で 60 ページをメモリーに保存 (モデルによって異なります。標準解像度による ITU-T テスト イメージ #1 の場合)。複雑なページまたは高解像度の場合は、ファクスにかかる時間もメモリも多くなります。
- 複数ページの手動ファクス
- 最大で 5 回の自動ビジー リダイヤル (モデルによって異なります)
- 1 回の自動応答なしリダイヤル (モデルによって異なります)
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート
- CCITT/ITU G3 ファクス (エラー補正モード付き)
- 33.6 Kbps 送信
- 33.6 Kbps の速度で 1 ページ当たり 3 秒 (標準解像度による ITU-T テスト イメージ #1 の場合)。複雑なページまたは高解像度の場合は、ファクスにかかる時間もメモリも多くなります。
- 呼び出し音検出 (自動でファクスと留守番電話を切り替え)

	フォト (dpi)	超高画質 (dpi)	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
モノクロ	196 x 196 (8 ビット グレースケール)	300 x 300	196 x 196	98 x 98
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200	200 x 200

スキャンの仕様

- イメージ エディタ付属
- 統合された OCR ソフトウェアによって、スキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換 (Windows のみ)
- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります。
- Twain 対応インタフェース
- 解像度：1200 x 2400 ppi (光学)、最大 19,200 dpi (補間解像度)
- カラー：RGB カラー当たり 16 ビット、合計 48 ビット
- ガラス板での最大スキャン サイズ：216 x 297 mm

物理的仕様

- 高さ：23.4 cm
- 幅：45 cm
- 奥行き：38.4 cm
- 重量：6.8 kg

電気的仕様

- 消費電力：最大 80 W
- 入力電圧：AC 100 ～ 240 V、1 A、50 -60 Hz, アース済み
- 出力電圧：DC 32Vdc===1100 mA、16V dc===1600 mA

環境仕様

- 推奨される動作時の温度範囲：15 ～ 32º C (59 ～ 90º F)
- 許容される動作時の温度範囲：-15 ～ 35º C (5 ～ 104º F)
- 湿度：15% ～ 85% RH (結露なきこと)
- 非動作時 (保管時) の温度範囲：–4 ～ 60º C (–40 ～ 140º F)
- 強い電磁気が発生している場所では、HP all-in-one の印刷結果に多少の歪みが出るおそれがあります。
- 強い電磁気が原因で発生するインクジェットのノイズを最小化するために、使用する USB ケーブルは長さが 3 m 以下のものとしてください。

その他の仕様

メモリ：32 MB または 64 MB DRAM (モデルによって異なります)

インターネットにアクセス可能な場合は、騒音に関する情報を次の HP Web サイトから入手することができます。www.hp.com/support を参照してください。

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

ここでは、環境の保護、オゾン生成、エネルギー消費、化学物質安全性データシート、リサイクル プログラムについて説明します。

ここには、環境基準に関する情報が含まれています。

環境の保護

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品は、私たちの環境への影響を最も少なくする特性を備えるように設計されています。

詳細については、以下の HP の「環境保護」の Web サイトにアクセスしてください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

オゾンの生成

この製品では、検出可能なオゾン ガス (O3) は生成されません。

Energy consumption

Energy usage drops significantly while in ENERGY STAR® mode, which saves natural resources, and saves money without affecting the high performance of this product. This product qualifies for ENERGY STAR, which is a voluntary program established to encourage the development of energy-efficient office products.



ENERGY STAR is a U.S. registered service mark of the U.S. EPA. As an ENERGY STAR partner, HP has determined that this product meets ENERGY STAR guidelines for energy efficiency.

For more information on ENERGY STAR guidelines, go to the following website: www.energystar.gov

用紙の使用

この製品は、DIN 19309 に準拠したリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラムを超えるプラスチック部品は、製品が役目を終えたときにリサイクルするため、プラスチックを識別しやすくする国際規格に従って記号が付けられています。

化学物質安全性データシート

化学物質安全性データシート™ については次のサイトを参照してください。

www.hp.com/go/msds

インターネットにアクセスできないユーザーは、最寄りの HP カスタマ ケア センターにお問い合わせください。

リサイクル プログラム

HP では、より多くの製品を返却してもらえるよう、リサイクル プログラムを多くの国で展開しているほか、世界で最大の電子機器リサイクル センターのいくつかと協力しています。また、HP では最も広く使用されている製品のいくつかを再生し、再度販売することによって、資源を保護しています。

本 HP 製品には、製品が役目を終えたときに特別な取り扱いが必要な物質が含まれています。

- 水銀 (スキャナの蛍光灯内、2 mg 未満)
- 鉛 (はんだ内)

HP インクジェット消耗品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、以下の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

規制に関する告知

HP all-in-one は、お住まいの国/地域の規制当局が設定している製品要件を満たしています。

ここには、ワイヤレス機能には適用されない規制項目が含まれています。

規制モデルの ID 番号

規制の識別を目的として、ご使用の製品には規制モデル番号が割り当てられています。ご使用の製品の規制モデル番号は、SDGOB-0402 です。この規制番号を、市販名 (HP Officejet 6200 series all-in-one) や製品番号 (Q5800A) と混同しないでください。

Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent Number (REN) for this equipment. If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant. This equipment

connects to the telephone network through the following standard network interface jack: USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called. Too many devices on one line may result in failure to ring in response to an incoming call. In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company may discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC. Your telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service.

If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information. Your telephone company may ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company. Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability. When programming and/or making test calls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

Note The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided may not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.) In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

Declaration of Conformity: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including

interference that may cause undesired operation. Class B limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For more information, contact the Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, San Diego, (858) 655-4100.

The user may find the following booklet prepared by the Federal Communications Commission helpful: How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems. This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington DC, 20402. Stock No. 004-000-00345-4.



Caution Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett-Packard Company may cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

Exposure to radio frequency radiation



Caution The radiated output power of this device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. This product and any attached external antenna, if supported, shall be placed in such a manner to minimize the potential for human contact during normal operation. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20 cm (8 inches) during normal operation.

Note à l’attention des utilisateurs du réseau téléphonique Canadien/ notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d’Industrie Canada. Le numéro d’enregistrement atteste de la conformité de l’appareil. L’abréviation IC qui précède le numéro d’enregistrement indique que l’enregistrement a été effectué dans le cadre d’une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d’Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l’appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s’assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d’alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d’alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés

à une interface téléphonique. La terminaison d'une interface peut se composer de n'importe quelle combinaison d'appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.2B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.

Note The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.2B, based on FCC Part 68 test results.

Notice to users in the European Economic Area



This product is designed to be connected to the analog Switched Telecommunication Networks (PSTN) of the European Economic Area (EEA) countries/regions.

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

Notice to users of the German telephone network

This HP fax product is designed to connect only to the analogue public-switched telephone network (PSTN). Please connect the TAE N telephone connector plug, provided with the HP all-in-one into the wall socket (TAE 6) code N. This HP fax product can be used as a single device and/or in combination (in serial connection) with other approved terminal equipment.

Geräuschemission

LpA < 70 dB am Arbeitsplatz im Normalbetrieb nach DIN 45635 T. 19

日本のユーザーに対する告知 (VCCI-2)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。
取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

Notice to users in Korea

사용자 안내문(B급 기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파 적합 등록을 받은 기기로서,
주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

Declaration of conformity

This section contains the HP Officejet 6200 series all-in-one Declaration of conformity, and information about it for the Euopean Economic Area.

Declaration of conformity (European Economic Area)

The Declaration of Conformity in this document complies with ISO/IEC Guide 22 and EN 45014. It identifies the product, manufacturer’s name and address, and applicable specifications recognized in the European community.

HP Officejet 6200 series all-in-one Declaration of conformity



DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name:	Hewlett-Packard Company
Manufacturer's Address:	16399 West Bernardo Drive San Diego CA 92127, USA

declares, that the product

Regulatory Model Number:	SDGOB-0402
Product Name:	OfficeJet 6200 Series (Q5800A, Q5802A, Q5810A)
Model Number(s):	OJ 6210 (Q5801A/B), OJ 6213 (Q5808C), OJ 6210xi (Q5802A), OJ 6210v (Q5803A), OJ 6200 (Q5804A/B), OJ 6203 (Q5807A), OJ 6205 (Q5805A), OJ 6215 (Q5806B) OJ 6210 (Q5801A/C), OJ 6200 (Q5804A), OJ 6208 (Q5809D)
Power Adapter(s) HP part#:	0950-4491 (international)

conforms to the following Product Specifications:

Safety:	IEC 60950-1: 2001 EN 60950-1: 2002 IEC 60825-1 Edition 1.2: 2001 / EN 60825-1+A11+A2+A1: 2002 Class 1(Laser/Led) UL 60950-1: 2003 CAN/CSA-22.2 No. 60950-1-03 NOM 019-SFCI-1993, AS/NZS 60950: 2000, GB4943: 2001
EMC:	CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 Class B CISPR 24:1997 / EN 55024:1998 IEC 61000-3-2: 2000 / EN 61000-3-2: 2000 IEC 61000-3-3/A1: 2001 / EN 61000-3-3/ A1: 2001 CNS13438:1998, VCCI-2 FCC Part 15-Class B/ICES-003, Issue 2 GB9254: 1998
Telecom:	TBR 21:1998, AS/ACIF S002:2001, FCC Part 68

Supplementary Information:

The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EC, the EMC Directive 89/336/EC and with the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) and carries the CE-marking accordingly. The product was tested in a typical configuration.

16 April 2004
Date

Steven H. Smith
Steve Smith, Hardware Test & Regs MGR.

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, D-71034 Böblingen Germany. (FAX +49-7031-14-3143

技術情報

索引





この印刷物には、50%以上の再生パルプと
10%以上の再生紙を使用しています。

Electronic Edition

www.hp.com



Q5800-90154